

参考資料

○各種調査結果の詳細

■住民アンケート

1) 調査概要

① 調査時期

- ・令和4年(2022年)9月20日(火)から郵送にて配布開始
- ・アンケート回収締め切り:令和4年(2022年)10月12日(水)

② 調査方法

- ・住民基本台帳から16歳以上を対象にした無作為抽出により2,000人を抽出し、郵送による配布及び回収を実施(WE Bによる回答も可能とした)。

③ 設問項目及び設問意図

調査項目	設問内容の概要	設問意図及び計画における分析の視点	
問1. 個人属性	・ 郵便番号/性別/年齢/職業/免許の有無/家庭における自動車の有無	・ 以後の設問における、個人属性ごとのクロス集計分析等に活用	
問2. 日常生活の移動(通勤・通学)	・ 通勤通学の有無	・ 通勤通学の有無の確認及び、左記が無い方の回答負担軽減	
	・ 通勤・通学先	・ 目的地の把握(市外含む)	
	・ 移動時間(出発/帰宅)	・ 移動時間帯の把握	
	・ 移動手段 (バス鉄道利用者は乗車駅・停留所まで) (送迎移動者は送迎先まで)	・ 移動手段の把握	
	(電車・バス非移動者) ・ 電車・バスを利用しない理由	・ 鉄道・バスの改善すべき点の把握	
問3. 日常生活の移動(買物、通院等)	・ 定期的な移動(買物、通院等)の有無	・ 定期的な移動の有無の確認及び、左記が無い方の回答負担軽減	
	・ 定期的な移動(買物、通院、その他)先	・ 目的地の把握(市外含む)	
	・ 移動時間(出発/帰宅)	・ 移動時間帯の把握	
	・ 移動手段 (バス鉄道利用者は乗車駅・停留所まで)	・ 移動手段の把握	
	(電車・バス非移動者) ・ 電車・バスを利用しない理由	・ 鉄道・バスの改善すべき点の把握	
	(問2、3と併せて、顕在化している需要だけでなく潜在的な移動需要も把握し、公共交通網も検討に活用)		
問4. 公共交通(市内を通る公共交通)の利用状況について	機関別 (あいの風、地鉄、地鉄バス、コミュニティバス、タクシー)	・ 利用頻度 ・ 利用満足度	・ 各機関別の、全体的な利用頻度、満足度、改善点の把握 ・ 前回計画策定との比較により、フォローアップ(利用頻度や満足度が上昇したかどうかの確認)に活用
問5. 公共交通への利用切り替え意向について	・ 公共交通に必要な改善点	・ 上記改善がなされた場合に、切り替える場合に可能な利用頻度/切り替え先	・ 公共交通への改善要望と併せて切り替え可能性(頻度・機関)を直接うかがうことで、潜在的な需要を把握
	・ 自家用車の今後の運転意向		・ 将来的な公共交通への転換意向を確認し、将来の潜在需要を把握
	・ 現在の「のる my car」の必要性		・ 交通手段としての必要性の合意(公共交通非利用者も含む)
問7~12. のる my car のあり方について	・ 「自由乗降」の試験運用の認知度及び評価	・ オンデマンド方式の運行に対する考え	・ 「のる my car」のあり方について、新たな方式(オンデマンド、住民による輸送)に対する考え(受容度合)を把握
	・ オンデマンド方式の運行に対する考え		・ 上記導入に乘継が発生する場合に許容できる条件の把握
	・ 地域住民等による新しい運行方式に対する考え		
	・ 乗継に対する考え		
問13. 自由意見	・ その他公共交通に対する自由意見		・ 上記設問内では当てはまらない要望等の把握

④ アンケート調査票

公共交通に関する市民アンケートへの協力をお願い

利用しやすい公共交通をみんなで考えましょう！

市民の皆様のご意見をお聞かせください

現在、滑川市では、あいの風とやま鉄道、富山地方鉄道（電車・バス）、コミュニティバス『のる my car』などの公共交通が運行され、皆様の日常生活の移動手段としてご利用いただいています。

今回、日常生活の移動手段や公共交通に関するご意見を把握し、より良い公共交通を実現するため、アンケート調査を実施させていただきます。いただいたご意見すべてにおこたえすることはできませんが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートは、令和4年8月1日現在で滑川市にお住まいの16歳以上の方の中から無作為に2,000人を抽出し、送付しております。ご回答いただいた内容については、統計処理のためのみに使用し、他では一切使用しないことを申し添えます。

令和4年9月 滑川市地域公共交通会議

【アンケートのご記入方法について】

1. 回答は、該当する番号を○で囲んでください。また、質問ごとに、選択する○の数や、場所を直接記入するなど、回答方法が指定されていますのでご注意ください。
2. 回答後は、同封の返信用封筒に入れ、**令和4年10月12日（水）**までに、郵便ポストに投かん（切手は不要）してください。
3. **WEBによる回答もできます。**
右記の二次元コードをスマートフォンなどで読み取り、回答してください。
なお、WEBで回答された場合は、この調査票の提出は不要です。

URL : <https://logoform.jp/f/xBYtI>

（最後は英字大文字でアイ）



調査票No.

【お問い合わせ】

滑川市地域公共交通会議事務局
〒936-8601 滑川市寺家町104
滑川市役所生活環境課内
TEL : 076-475-2111（内線335）
FAX : 076-475-6299
E-MAIL : seikatsu@city.namerikawa.lg.jp

滑川市の公共交通に対する
多くのご意見をお待ちしております！



問3. 普段の移動（買物、通院等）についてお聞きします。

3-1. 通勤・通学以外で、普段、よく行く移動先（買物、通院等）はありますか（1つだけ○）。

1. ある ⇒下表へ	2. ない ⇒問4へ
------------	------------

↓「1」を選択された方は詳しい移動の内容をお聞かせください。

3-2	普段の移動 での 主な目的地	1. 買物（店名：_____） 2. 通院（病院・診療所名：_____） 3. その他（施設名等：_____） ※目的地の店名、病院・診療所名、施設名等についても必ずご記入ください。		
3-3	出発時刻 <small>（代表的な場合を1つ）</small>	3-4	帰宅時刻 <small>（代表的な場合を1つ）</small>	出発：（ ）時（ ）分頃 到着：（ ）時（ ）分頃
3-5	市内での 移動手段 <small>（複数の交通手段を乗り継ぎ される方は全てに○）</small>	1. 自家用車 2. 原付/バイク 3. 家族等による送迎 4. 施設等の送迎 5. あいの風とやま鉄道 6. 富山地方鉄道（電車） 7. 富山地方鉄道（バス） 8. のる my car 9. タクシー 10. 徒歩 11. 自転車 12. その他（ ） （上記で3を選んだ方のみ）送迎先を1つ選んでください 1. 駅・バス停まで（_____駅・バス停） 2. 目的地まで		
3-6	普段の移動で 電車、バスを 利用していますか	1. 電車を利用 2. バスを利用 3. どちらも利用していない （上記で3を選んだ方のみ）その主な理由を2つまで選んでください 1. 自宅近くに駅・バス停がない 2. 目的地へ向かう路線がない 3. 乗り換えが不便 4. 出発・帰宅に合う時間に運行していない 5. 運行本数が少ない 6. 運賃が高い 7. 荷物が多く使いにくい 8. その他（ ）		

Ⅲ. 市内の公共交通（電車、バス等）の利用状況について

問4. 市内の公共交通（電車、バス、タクシー）の利用状況についてお聞きします。

4-1. 最近1年間で、市内の公共交通をどのくらい利用しましたか（各項目1つだけ○）。

あいの風 とやま鉄道	1. 週5日以上	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日
	4. 月に1～3日	5. 年に数回	6. 利用していない
富山地方鉄道 （電車）	1. 週5日以上	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日
	4. 月に1～3日	5. 年に数回	6. 利用していない
富山地方鉄道 （バス）	1. 週5日以上	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日
	4. 月に1～3日	5. 年に数回	6. 利用していない
のる my car （コミュニティバス）	1. 週5日以上	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日
	4. 月に1～3日	5. 年に数回	6. 利用していない
タクシー	1. 週5日以上	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日
	4. 月に1～3日	5. 年に数回	6. 利用していない

4-2. 公共交通に対する満足度を教えてください（各項目1つだけ○）。

あいの風 とやま鉄道	1. 満足している 3. やや不満を感じる	2. まあまあ満足している 4. 不満を感じる	5. わからない
富山地方鉄道 (電車)	1. 満足している 3. やや不満を感じる	2. まあまあ満足している 4. 不満を感じる	5. わからない
富山地方鉄道 (バス)	1. 満足している 3. やや不満を感じる	2. まあまあ満足している 4. 不満を感じる	5. わからない
のる my car (コミュニティバス)	1. 満足している 3. やや不満を感じる	2. まあまあ満足している 4. 不満を感じる	5. わからない
タクシー	1. 満足している 3. やや不満を感じる	2. まあまあ満足している 4. 不満を感じる	5. わからない

問5. 公共交通（電車、バス）への利用意向についてお聞きします。

5-1. 公共交通（電車、バス）を利用するにあたって改善が必要と思われる事項について、3つまで○をつけてください。

1. 今よりも自宅や目的地の近くで公共交通に乗り降りできること	
2. 目的地へ向かうバス路線の新たな設置 →（バスで新たに行ければ良い目的地（具体的に）：	）
3. 乗り降りしやすい車両の導入	
4. 利用しやすい時間帯のバスの運行→（具体的な時間帯：	）
5. 駅でのバスや電車への乗り継ぎ時間の短縮	
6. バス停や駅での待合環境（待合室、ベンチ等）の整備	
7. 時刻表通りの運行	
8. その他（	）

5-2. 上記の改善がなされた場合に、今後、通勤・通学や通院、買物などの移動を公共交通に切り替えることは可能ですか（1～6のうち1つだけ○）。

1. 毎日、公共交通に切り替えることができる、既に利用している	} ⇒5-3 へ
2. 週に1度くらいなら、公共交通に切り替えることができる	
3. 月に1度くらいなら、公共交通に切り替えることができる	
4. 半年に1度くらいなら、公共交通に切り替えることができる	
5. 年に数回くらいなら、公共交通に切り替えることができる	
6. 公共交通を利用することは全く考えられない	⇒問6 へ

5-3. 5-2で、1～5のいずれかに○を付けられた方（公共交通に切り替えることができる方）にお聞きします。どの公共交通に切り替えることができますか（該当するもの全てに○）。

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1. あいの風とやま鉄道 | 2. 富山地方鉄道（電車） |
| 3. 富山地方鉄道（バス） | 4. のる my car（コミュニティバス） |

問6. 普段、自家用車で移動されている方にお聞きします。
自家用車の運転を今後も続けたいですか（1つだけ○）。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 近い将来（5年以内くらい）には運転をやめたい |
| 2. 当面運転を続けるが、将来的には運転をやめたい |
| 3. 運転免許の返納支援制度*が充実すれば、免許を返納し運転をやめたい |
| 4. ずっと自家用車の運転を続けたい |

※運転免許が不要になった方、運転に不安を感じるようになった高齢ドライバーの方が、自主的に運転免許証を返納された場合に各自治体や交通事業者による返納支援があります。（公共交通機関利用費用の助成など）

例) 滑川市コミュニティバス『のる my car』の無料乗車券を交付する事業 ・満70歳以上 3年間 ・満65歳以上 5年間

IV. これからの『のる my car』のあり方について

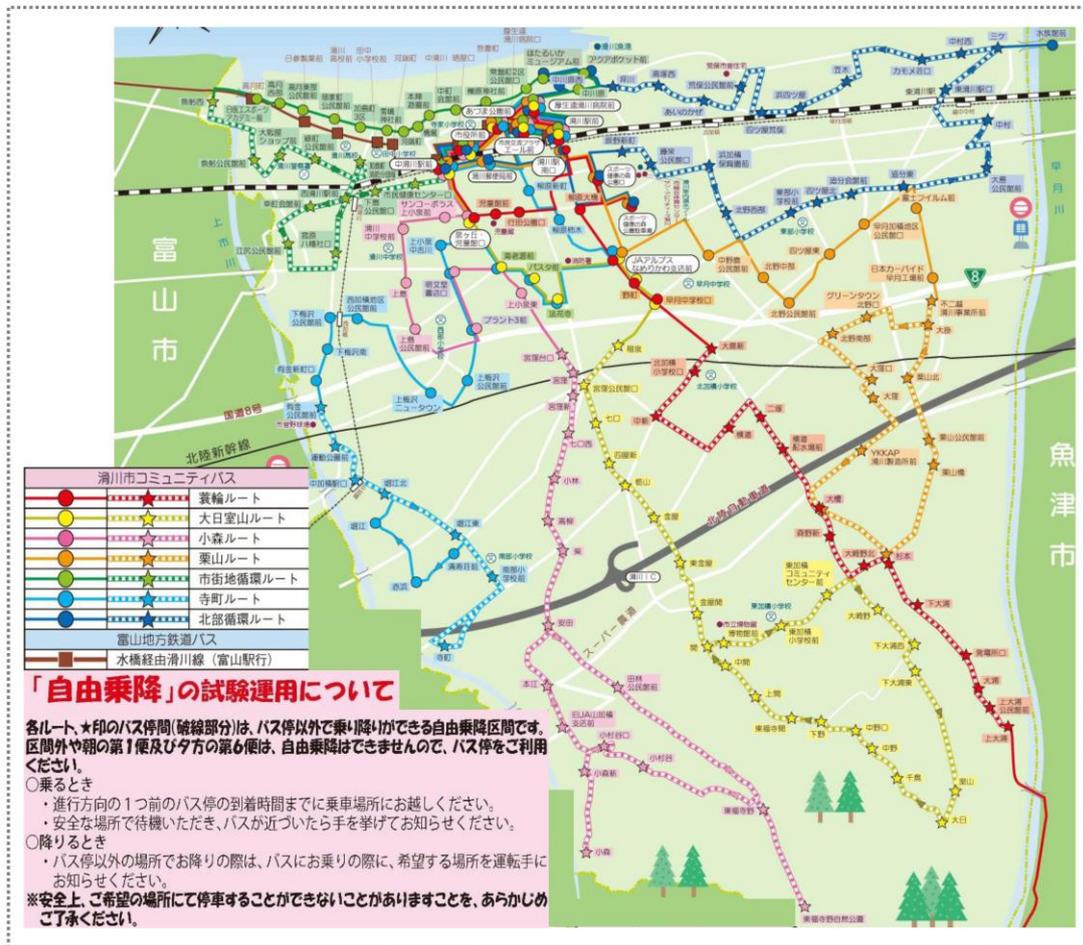
問7. 現在の『のる my car』の必要性について、どのように思いますか（該当するもの全てに○）。

- | |
|---------------------------|
| 1. 自分にとっての交通手段として必要である |
| 2. 地域の交通手段として必要である |
| 3. 将来自分が利用する可能性を考えると必要である |
| 4. 環境への配慮や高齢化社会を考えると必要である |
| 5. 必要ではない |
| 6. その他（) |

問8. 『のる my car』の乗車料金は、乗車1回あたり100円としています。令和3年度では、運行費用総額年間約5,000万円（但し、バス車両購入費を除きます。）のうち、運賃収入は約650万円（約13%）で残りは市や県、国の負担となっていますが、この乗車料金についてどのように思われますか。（1つだけ○）。

- | |
|---|
| 1. 妥当な金額だと思う |
| 2. 乗便数やルートを縮小しても、乗車料金を下げたほうがよい 妥当と思われる金額を教えてください⇒ 円 |
| 3. 利用しやすくなるなら、乗車料金を上げてよい 妥当と思われる金額を教えてください⇒ 円 |
| 4. その他（) |

問9. 『のる my car』では、利便性向上策の一環として、「自由乗降」の試験運用を、令和4年6月より開始しております。すべての時間帯・区間ではありませんが、下の地図の★印のバス停間では、バス停以外でも乗降いただけるようになっています。



9-1. 『のる my car』の「自由乗降」の試験運用について、ご存知でしたか（1つだけ○）。

1. 知っていた
2. 知らなかった

9-2. 「自由乗降」の仕組みについてどのように思いますか（1つだけ○）。

1. よい仕組みだと思うので、今後も続けたらよいと思う
2. あまりよい仕組みではないと思う
(⇒理由：)
3. よくわからない

問 10. 近年、他自治体で導入されている**コミュニティバスのオンデマンド方式**の運行について、下記をご覧になってからご回答ください。

オンデマンド方式とは・・・



① スマートフォンアプリ
または電話で、乗りたい
時間と、出発地・目的
地を予約



② 予約に応じた、時間・ルートで運行
予約時間や経由地が近い場合は、複数人で乗り合わせて運行

【比較表】	オンデマンド方式	路線バス方式(現在の『のる my car』)
待ち時間	乗りたい時間に予約するので待ち時間が少ない(他の事例：待ち時間10分程度)	乗りたい時間に都合のよいバスが運行していない場合、待つ必要がある
運行ルート	あらかじめルートが決まられていない(予約に応じたルートでの運行になる)	あらかじめルートが決められている
乗車時間	予約に応じたルートでの運行で、予約が少ない場合は、乗車時間が短くなる場合がある	あらかじめルートが決められているため、乗車時間が長い場合がある
定時運行	あらかじめ決められた時刻表が無く、予約に応じた出発や到着時間での運行となる。	あらかじめバス停での発車・停車の時間が、決められている
予約	乗車のたびに電話やスマートフォンアプリによる予約が必要	特に予約しなくて乗れる
停留所の設置数	停留所をバスよりきめ細かく設定できる※	決まったルートを走るため停留所の設定場所は限られる

※タクシーのように自宅から直接乗れるわけではありません。

上の表を見て、もし、現在の『のる my car』にオンデマンド方式の運行を導入すると仮定した場合、あなたの現時点での感想に一番近いものをお答えください(1つだけ○)。

1. 便利そうなのでぜひ乗ってみたい
2. 少し不安だが、丁寧な説明があれば乗りたい
3. 手間が増えそうなので、コミュニティバスに乗る機会は減ると思う
4. 現在のコミュニティバスの運行方式以外考えられない
5. わからない
6. その他 ()

問 11. 近年、他自治体では、バスやタクシーではなく、「**地域住民の運転する自家用車に相乗りして移動する新たな公共交通**」を実施している事例が見られます。このような新たな公共交通に対するあなたのお考えに一番近いものをご回答ください(1つだけ○)。

1. 地域住民などの、一般の運転手による運転でも構わない
2. 専門の資格を有する運転手による運転でなければ安心できない
3. 地域住民が運転する自家用車に相乗りすることには、抵抗がある
4. わからない
5. その他 ()

2) 調査結果

注：回答率を集計しているものは、端数処理の関係上合計が100%とならない場合がある（以下同様）

① 回収状況

- 全体で 981 通（無効票・重複回答除く）の回答があり、回収率は 49%と高い水準となっている。
- 各地区別にみると 30 票以上回収されており、地区別の統計的な分析が可能*と考えられる。

※平均値の差の検定が可能な目安が 30 サンプルと言われている。

区域区分	紙面	WEB	総計
滑川東	91	18	109
滑川西	84	13	97
浜加積	98	23	121
早月加積	62	19	81
北加積	120	28	148
東加積	35	5	40
中加積	64	19	83
西加積	199	36	235
山加積	43	9	52
市外・不明等	14	1	15
総計	810	171	981 (回収率:49%)

② 個人属性

※端数処理の関係上、合計が100%とならない場合がある（以下同）

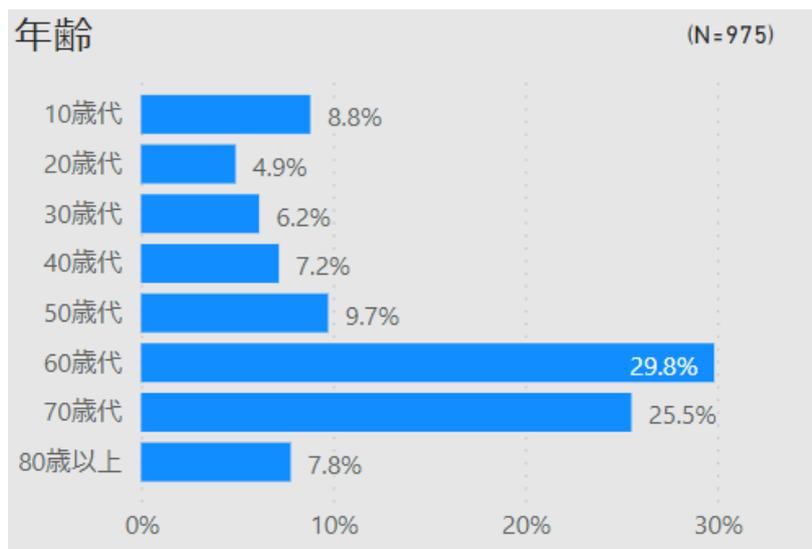
（ア） 性別

- 「女性」が53.9%、「男性」が45.2%となっている。



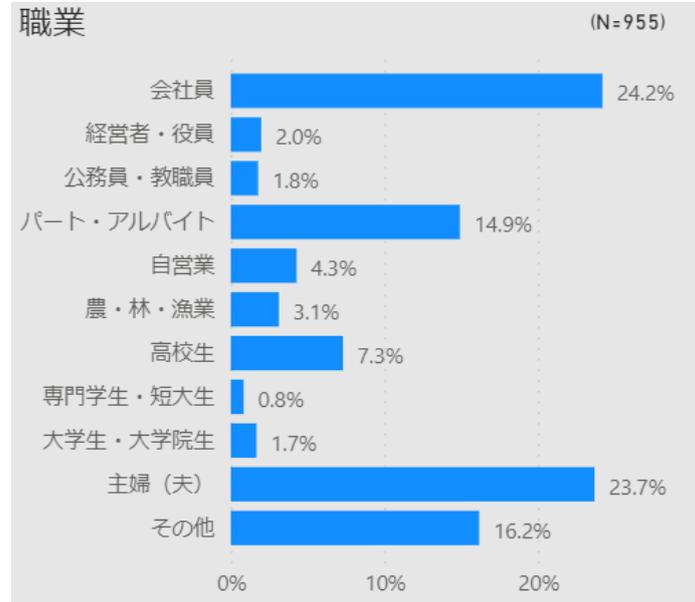
（イ） 年齢

- 「60歳代」が29.8%で最も多く、次いで「70歳代」が25.5%、「50歳代」が9.7%となっている。



(ウ) 職業

- 「会社員」が24.2%で最も多く、次いで「主婦(夫)」が23.7%、「パート・アルバイト」が14.9%となっている。

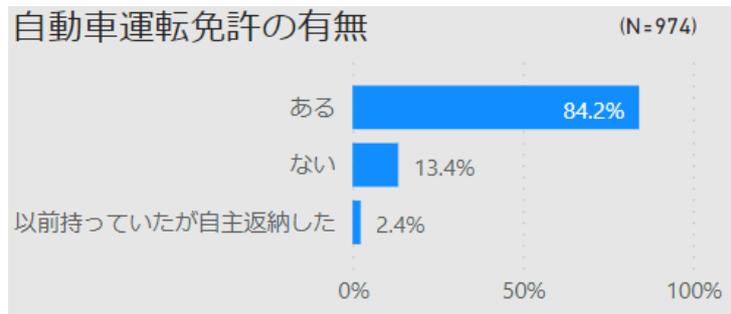


【その他回答】

職業その他内容	回答数
その他	
無職	96
なし。	3
看護師	2
団体職員	2
年金生活者	2
アドバイザー	1
グループホーム	1
シルバー人材の会員	1
家事手伝い	1
介護職	1
公的年金	1
作業所就労支援	1
就労移行支援訓練生	1
塾	1
大学研究員	1
年金自給者	1
年金者	1
派遣	1
無職、家事	1

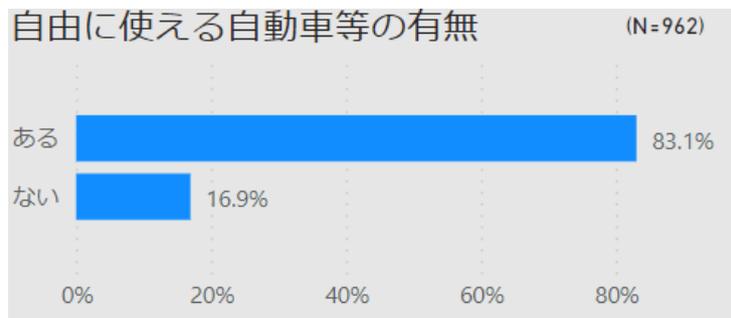
(エ) 自動車運転免許の有無

- 「ある」が84.2%、「ない」が13.4%となっている。



(オ) 自由に使える自動車等の有無

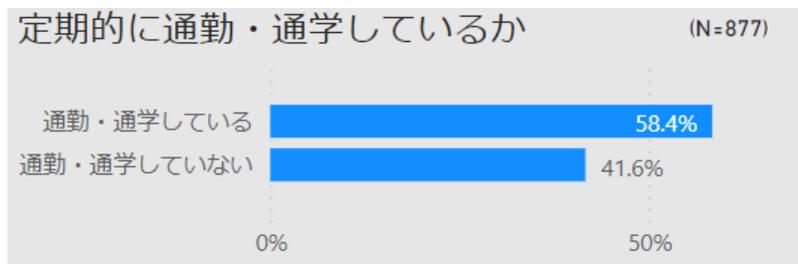
- 「ある」が83.1%、「ない」が16.9%となっている。



③ 通勤・通学移動

(ア) 通勤・通学の有無

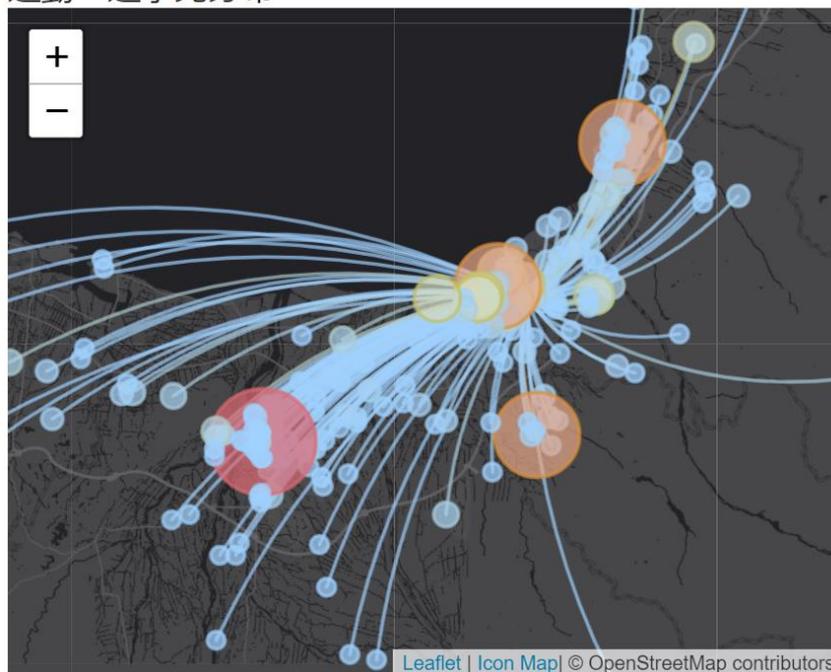
- 「通勤・通学している」が58.4%、「通勤・通学していない」が41.6%となっている。



(イ) 通勤・通学の所在地

- 定期的に通勤・通学をしているという方の移動先は、「滑川市内」が180件で最も多く、次いで「富山市」163件、「魚津市」63件となっている。(総回答数：482件)

通勤・通学先分布

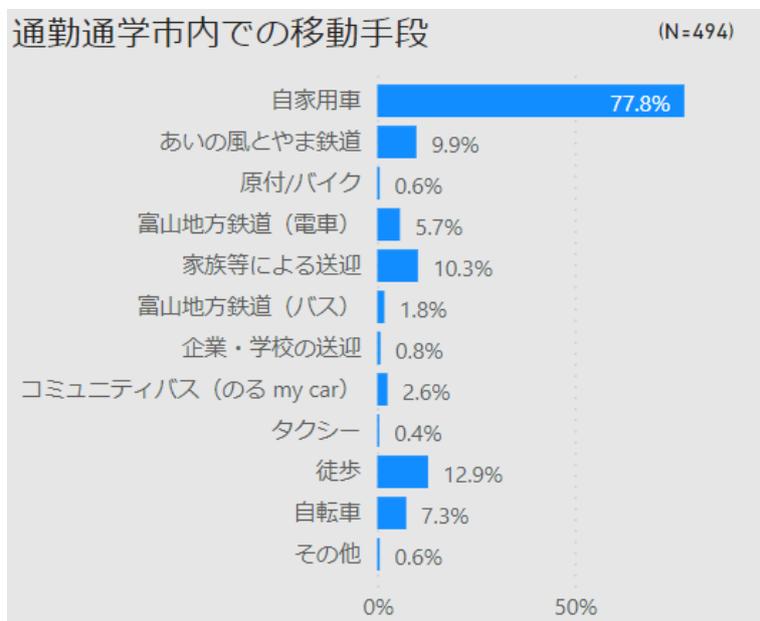


【主な通勤・通学の行き先市町村】

行き先(市町村)	回答数
滑川市	180
富山市	163
魚津市	63
上市町	34
黒部市	15
射水市	12
高岡市	4
立山町	3
舟橋村	3
砺波市	1
その他	4

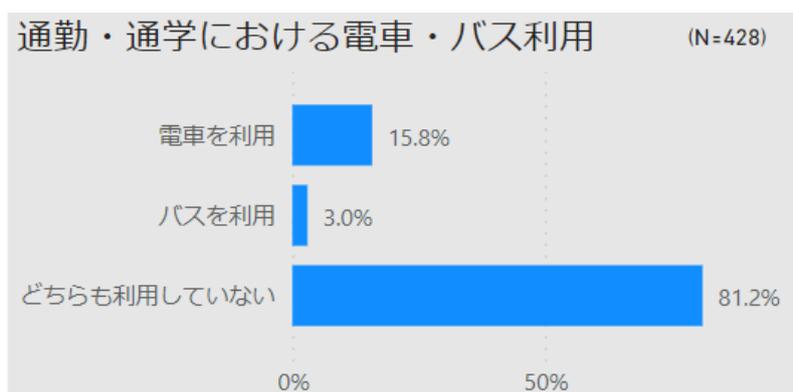
(ウ) 市内での移動手段

- 「自家用車」が77.8%で最も多く、次いで「徒歩」が12.9%、「家族等による送迎」が10.3%となっている。



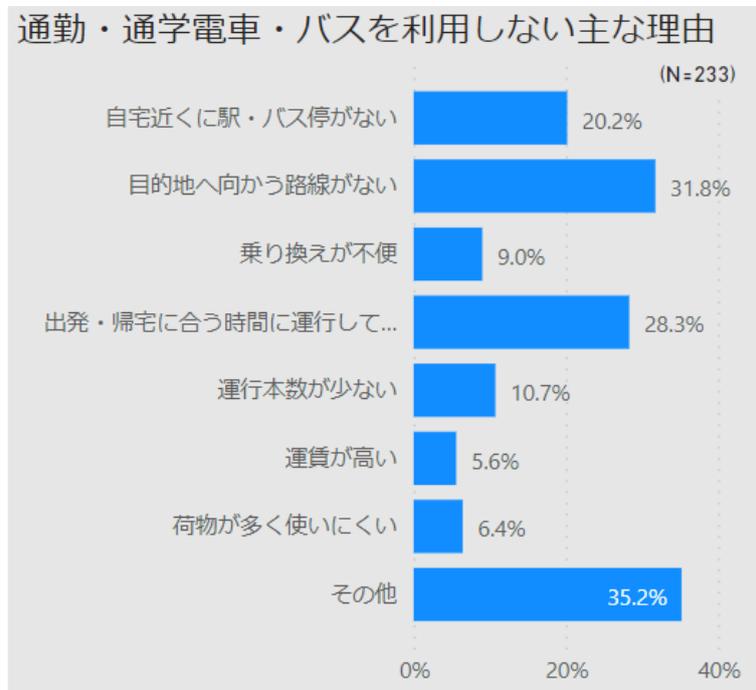
(エ) 通勤・通学における電車・バス利用

- 「どちらも利用していない」が81.2%で最も多く、次いで「電車を利用」が15.8%、「バスを利用」が3.0%となっている。



(オ) 電車・バスを利用しない理由

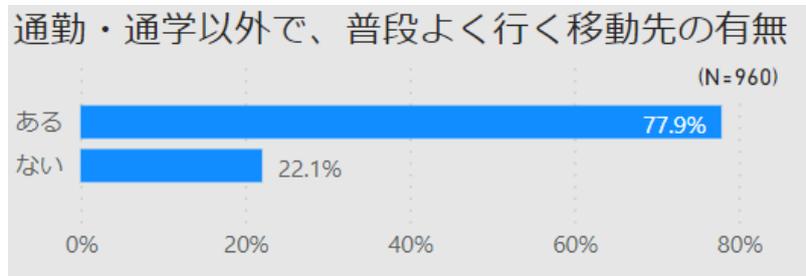
- 「目的地へ向かう路線がない」が31.8%で最も多く、次いで「出発・帰宅に合う時間に運行していない」が28.3%、「自宅近くに駅・バス停がない」が20.2%となっている。



④ その他普段の移動

(ア) 通勤・通学以外で普段よく行く移動先の有無

- 「ある」が77.9%、「ない」が22.1%となっている。



(イ) 目的地の所在地

- PLANT-3 が292件で最も多く、次いで「厚生連滑川病院」「大阪屋ショップ滑川店」「エール」「パスタ」と続いている。

普段の移動先分布

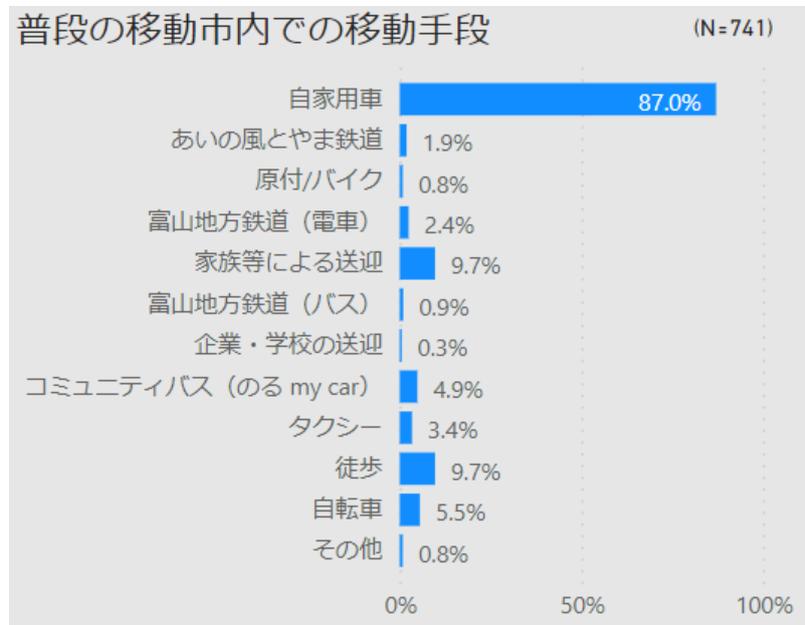


【主な行先（上位10位）】

行先	回答数
PLANT-3 滑川店	292
厚生連 滑川病院	195
大阪屋ショップ 滑川店	181
滑川ショッピングセンター エール	162
滑川ショッピングセンター パスタ	100
スーパーマーケットパロー 滑川店	84
クスリのアオキ滑川店	53
荒川内科クリニック	31
中村内科医院	25
富山県立中央病院	23

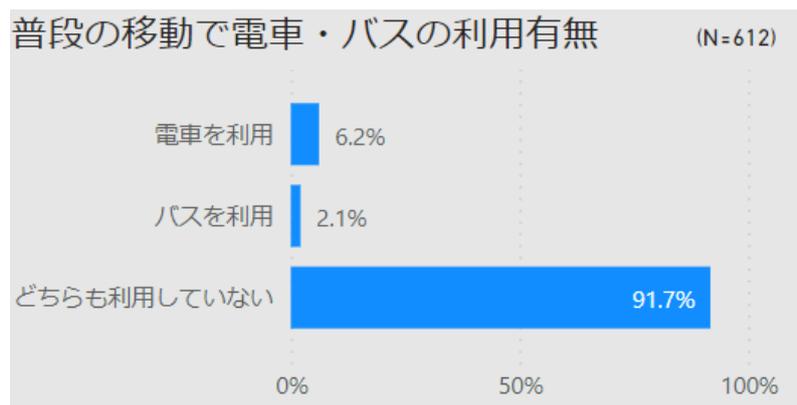
(ウ) 普段の移動における市内での移動手段

- 「自家用車」が87%で最も多く、次いで「家族等による送迎」及び「徒歩」がそれぞれ9.7%となっている。



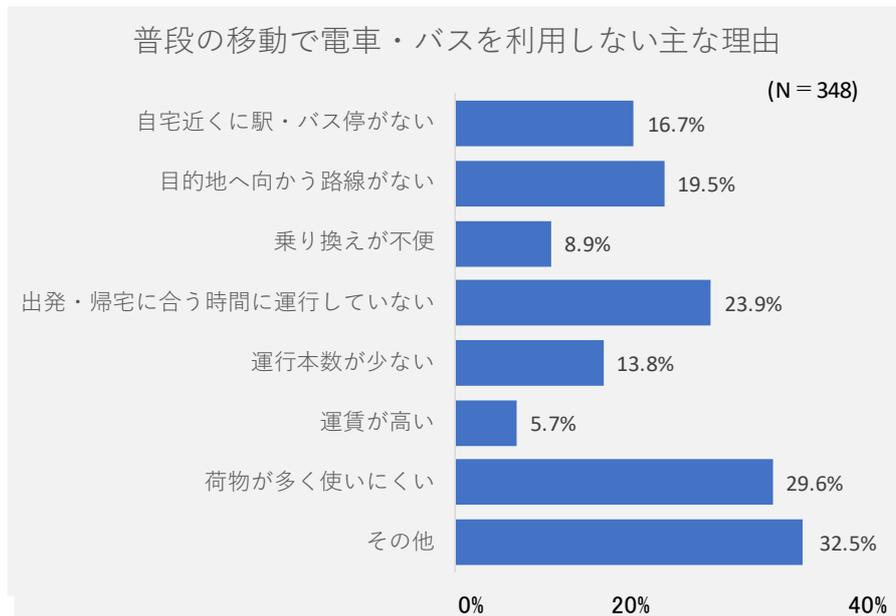
(エ) 普段移動における電車・バス利用

- 「どちらも利用していない」が91.7%で最も多く、次いで「電車を利用」が6.2%、「バスを利用」が2.1%となっている。



(オ) 電車・バスを利用しない理由

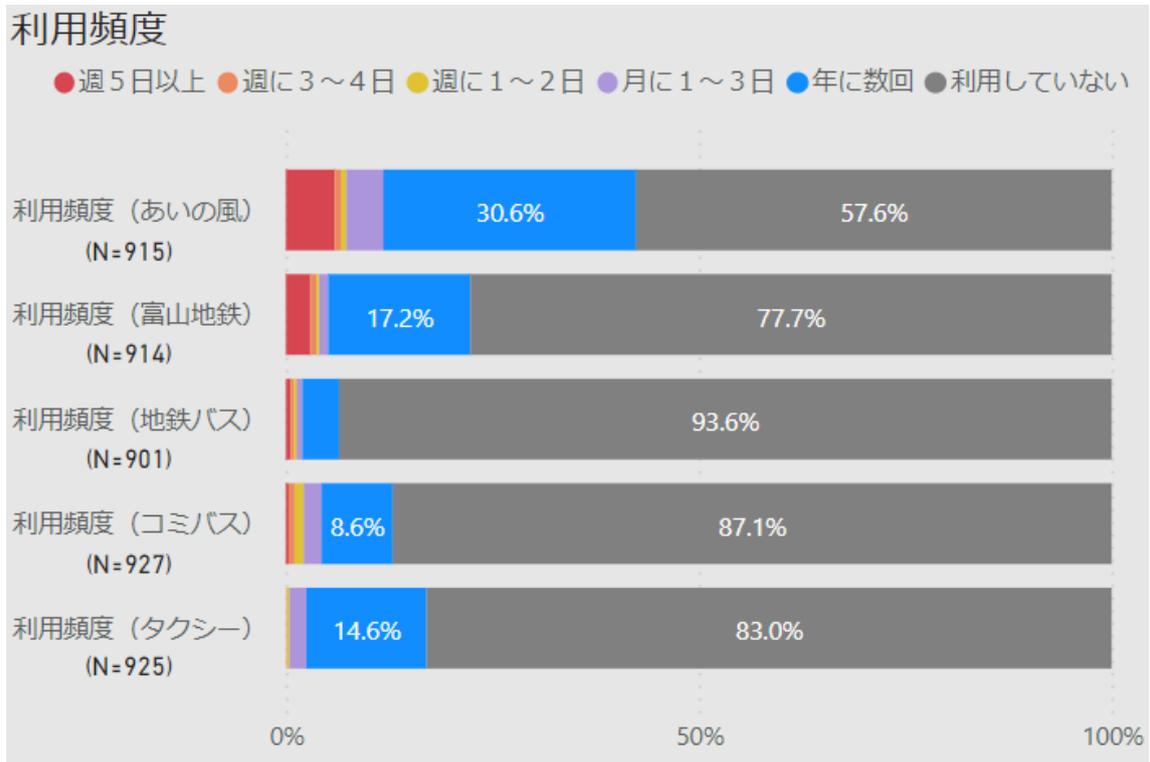
- 「荷物が多く使いにくい」が29.6%で最も多く、次いで「出発・帰宅に合う時間に運行していない」が23.9%、「目的地へ向かう路線がない」が19.5%となっている。



⑤ 利用頻度・満足度

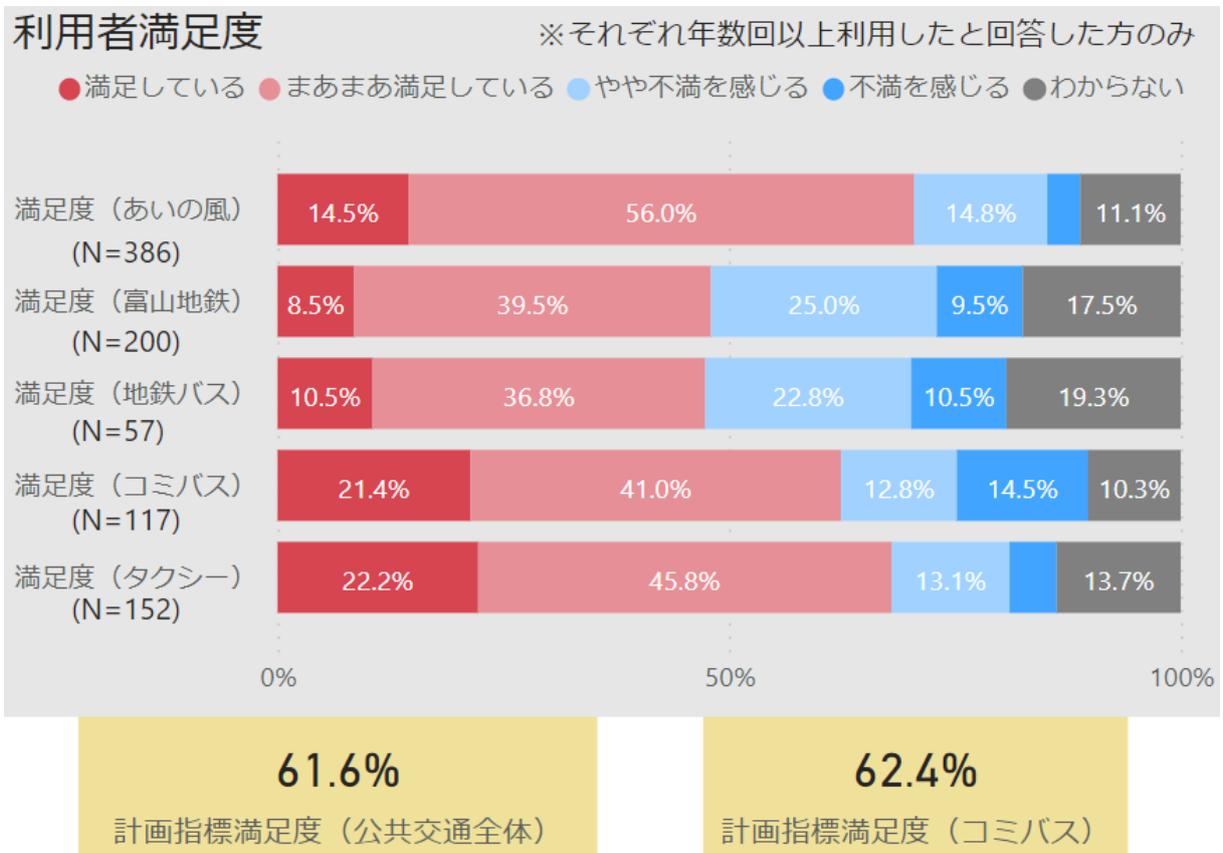
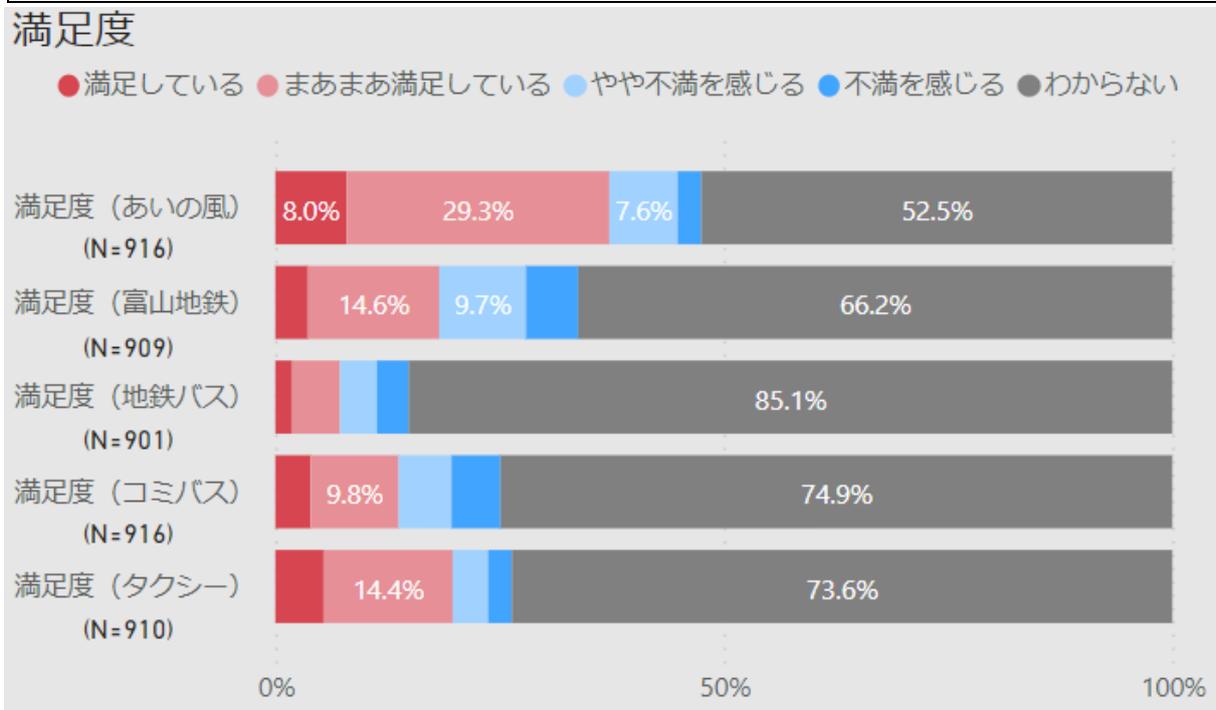
(ア) 利用頻度

- 「利用していない」との回答がいずれの機関でも高い。
- 「年に数回」といった機会利用者も含めれば、あいの風とやま鉄道では42.4%、富山地鉄では22.3%が利用している。



(イ) 満足度

- 全体で集計すると「わからない」との回答が多いが、利用者※それぞれ年数回以上利用したと回答した方のみ¹⁾に絞れば「満足している」「まあまあ満足している」との回答が公共交通全体では 61.6%、コミュニティバスでは 62.4%を占める。



注：計画指標満足度：利用者のうち、「満足している」または「まあまあ満足している」との回答を「満足」と定義した場合の割合。
 (公共交通全体)：「満足」との回答の、全手段(タクシー除く)で集計した場合の回答率

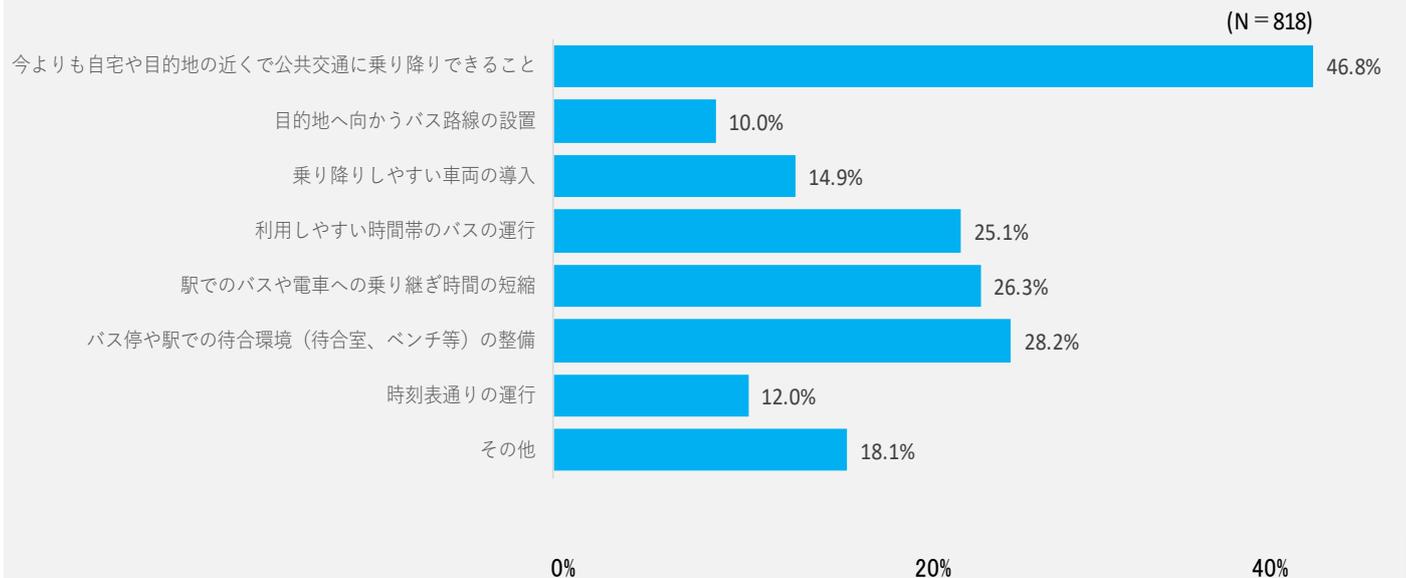
⑥ 公共交通の今後の利用意向

(ア) 公共交通（電車、バス）を利用するにあたって改善が必要と思われる事項

- 「今よりも自宅や目的地の近くで公共交通に乗り降りできること」との回答が46.8%と最も多い

→上記を満たすためには現状より更に停留所を密に設置することが必要であり、そのためには定時定路線運行以外の手法を検討することが必要。

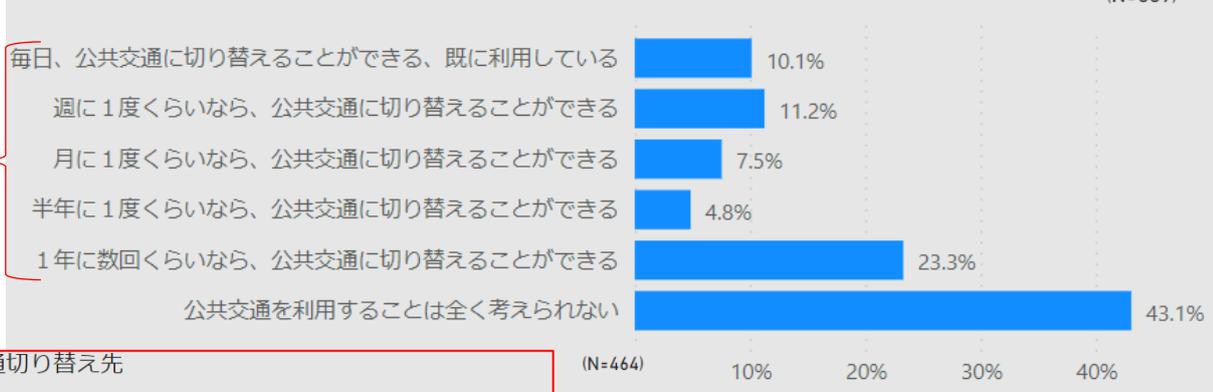
公共交通（電車、バス）を利用するにあたって改善が必要と思われる事項



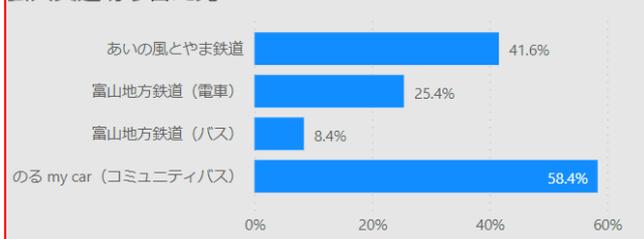
(イ) 改善がなされた場合の公共交通への切り替える可能性

- 「公共交通を利用することは全く考えられない」との回答が43.1%と最も多い。
- 逆に、なんらかの頻度で公共交通を利用するとの回答は56.9%となっており、公共交通の改善がなされた場合には使ってみようと考えている方は一定数いることが見受けられる。その切り替え先としては、のる my car が約6割、と最も期待されている。

改善がなされた場合の公共交通への切り替える可能性

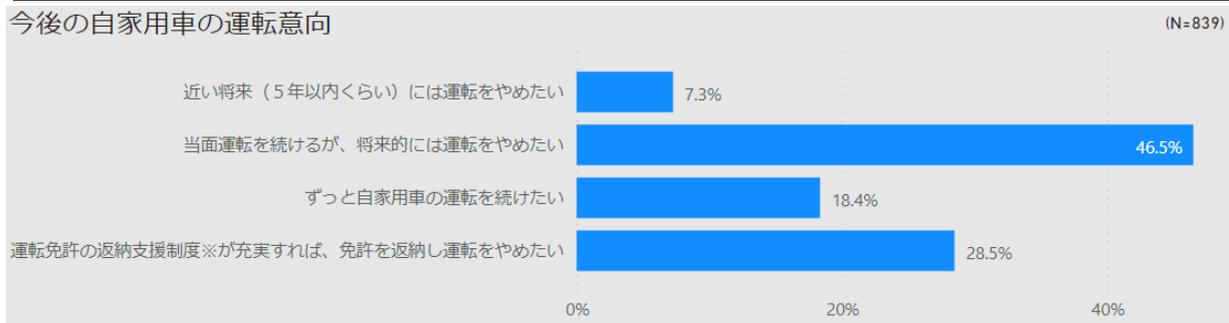


公共交通切り替え先



(ウ) 今後の自家用車の運転意向

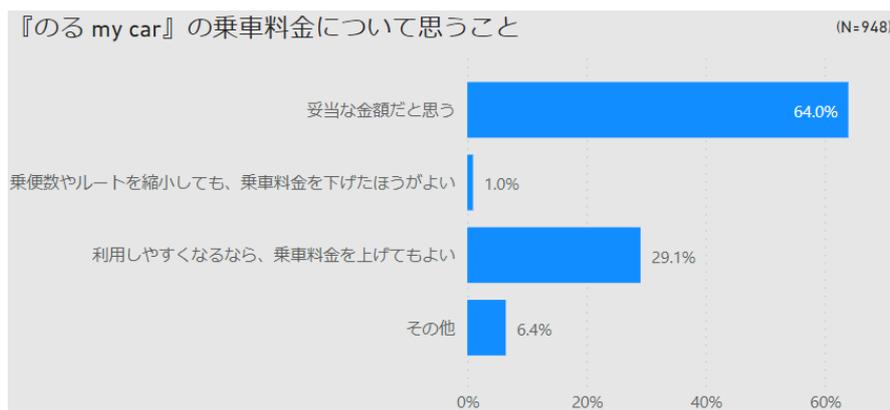
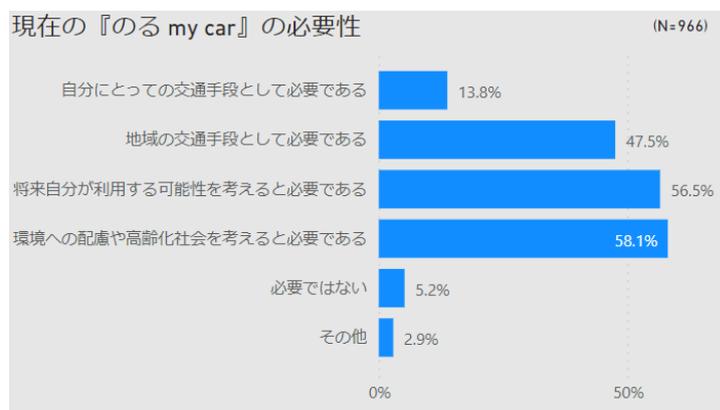
- 当面運転を続けるが、将来的には運転をやめたいとの回答が 46.5%と最も高い。
 - ずっと自家用車の運転を続けたいとの回答は 18.4%であり、それ以外の 81.6%の方はなんらかのタイミングで運転を控えたいと考えている。
- 将来的に自家用車の運転を控えたいとの考えを多くの方がもっていることから、その受け皿となるべき公共交通の利便性向上の必要性は高いと考えられる。



⑦ これからの「のる my car」のあり方について

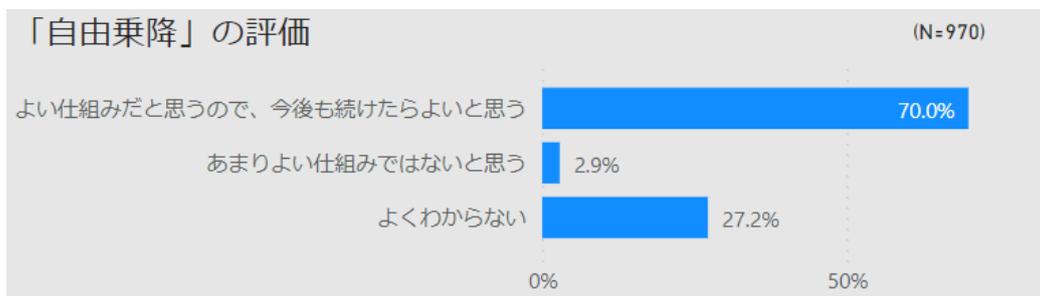
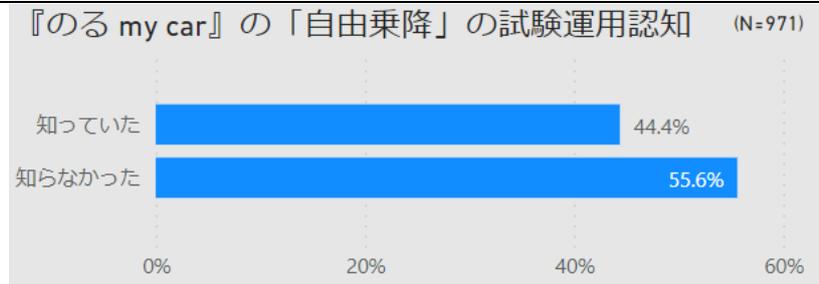
(ア) 現在の「のる my car」について

- 必要ではないとの回答はわずか 5.2%でありほとんどの方は自分、もしくは地域として必要であると認識している。
- 乗車料金については、妥当な金額と思うが 64%と最も多いほか、利用しやすくなるなら乗車料金を上げてよいとの回答が 29%となっており、現状の運賃設定が高いと思っている方は、ほとんどいないと考えられる。



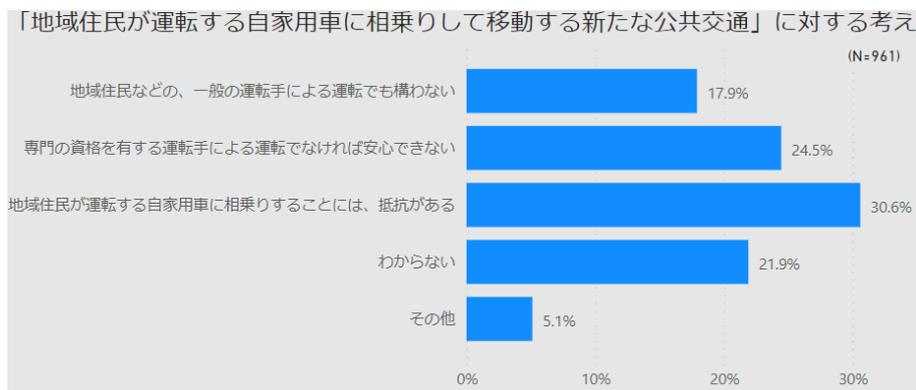
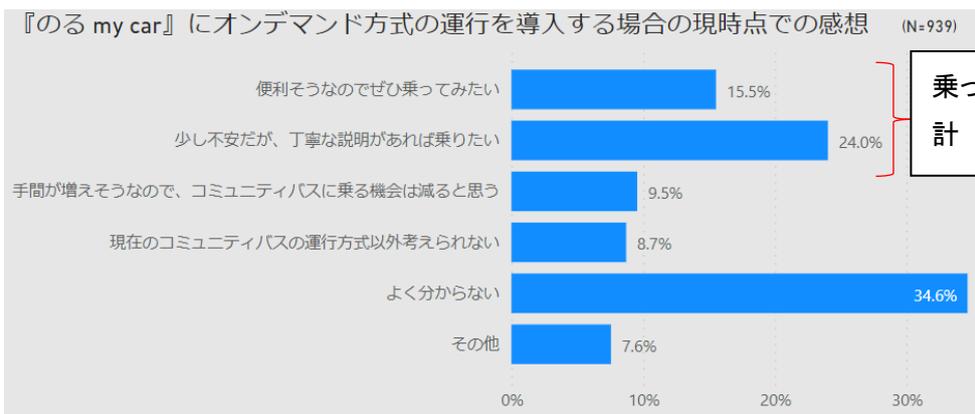
(イ) 「のる my car」の「自由乗降」の試験運用について

- 認知度について、知っていたとの回答が 44.4%と、若干ではあるが半数を下回っている。
- 自由乗降の評価については、良い仕組みだと思うとの回答が 70%となっており、多くの方は取組みを評価していると考えられる。

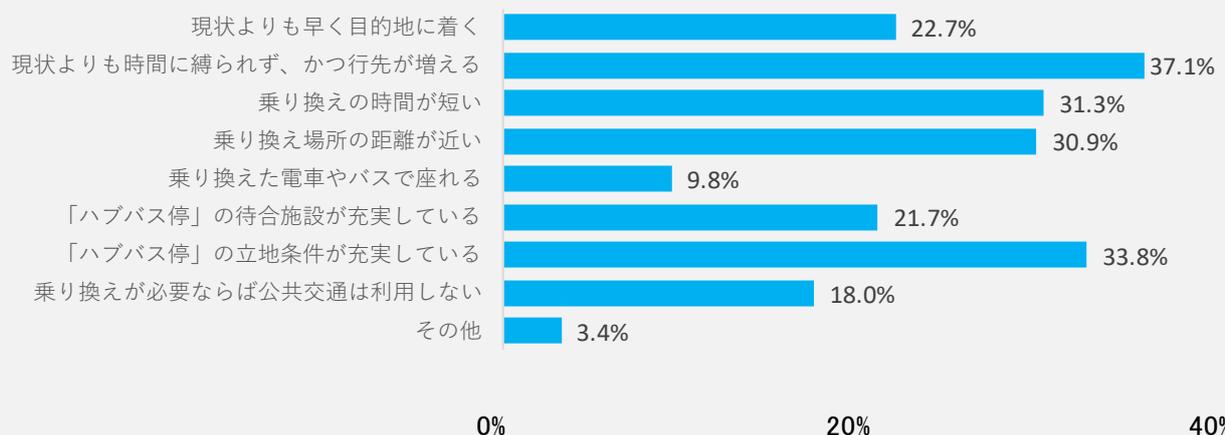


(ウ) 今後の「のる my car」の新たな運行方式について

- 「オンデマンド方式」については、「よく分からない」との回答が34.6%と最も多い。「便利そうなのでぜひ乗ってみたい」「少し不安だが、丁寧な説明があれば乗りたい」を合わせて約4割程度の方は乗ってみたいとの感想を持っている。
- 「地域住民が運転する自家用車に相乗りして移動する新たな公共交通」については、「抵抗がある」との回答が30.6%と最も多い。
- 乗換が必要となったとしても、上記の新しい交通を利用したいと思う条件としては、「現状より時間が縛られず、かつ行先が増えること」との回答が37.1%と最も多い。

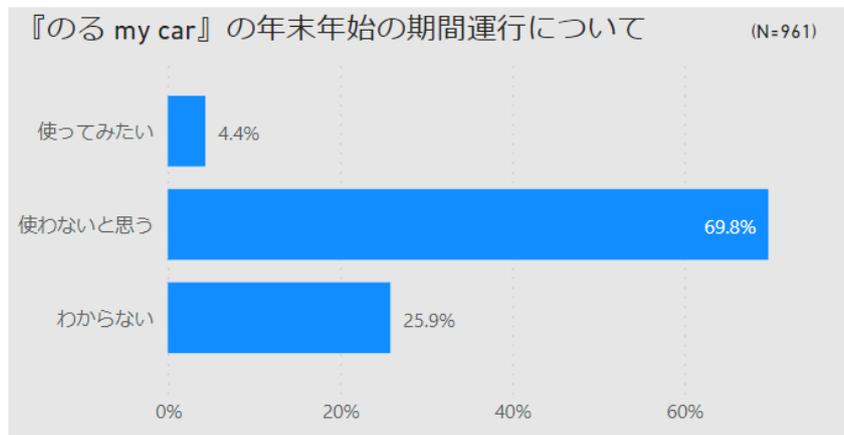


乗り換えが必要になったとしても利用するために必要と思われる事項 (N=905)



(エ) 「のる my car」の年末年始の期間運行について

- 「使わないと思う」との回答が 69.8%と最も多い。
- なお、使ってみたいと回答した方に、想定される行先を伺ったところ、駅への移動に関する回答が多く見られたほか、買物、初詣に関する意見もみられた。



付帯記述	回答数
▲	
あいの風とやま鉄道滑川駅	1
エール、メガドンキホーテ(魚津市)、サンブラザ(魚津市)	1
ショッピングセンター	1
スーパー	2
みのわ温泉や神社、駅。結構時間があるので。	1
駅	1
滑川駅	3
初もうで号で神社めぐりバス。	1
神社、エール、パスタ、プラント3	1
雪が多いかもしれないのに!!子供たちが知り合いにたのむかも!	1

⑧ 自由意見

回答	性別	年齢	居住地
<p>(調査者の家人の回答になります) 今の「のる my car」より、オンデマンド方式の方が賛成です。最初は戸惑うかもしれませんが、やってみる価値はあると思います。今まで「のる my car」において不便で使えないと思っていても、なかなか伝える機会もなかったもので、このような市民の声を伝えられるアンケートは良いと思います。実際に利用するもっと多くの人々の声を聞くには、車内でアンケートに答えるなど(乗車時にアンケート用紙を渡す→下車時に回収箱に入れる等)、できると思います。高齢者の利用については、買い物、病院等だと思えますが、ご近所にも免許を返納された方がいて、便数が少ないのを耳にしました(待ち時間があってほかのバスに乗って魚津の方まで行ってみた等)。我が子は4月より富山市の高校へ通っていますが、入学した当時、「のる my car」を利用しましたが、駅まで行きたいのに、大日室山まで行って下りてくるというルートに時間の無駄を感じ(駅まで車で15分のところ、「のる my car」だと最寄りのバス停から40分もかかるのです)、3日で断念。また、駅前まで行かなくても、駅南を経由できたらと思います。菟輪は駅南→駅前に行ける路線なので、この二つの路線(菟輪⇄大日室山)の重なるところで乗り継げたらありがたいです。また、早月中学に通っていた際も、二つの路線についてうまく機能すればよいなあと考えたことがありました。特に試験期間の時は、学校に残ることもできず、午後からのバスは(14:27、15:05)になるので、自転車以外の子は、皆なにかしら家人の送迎が必要になっているようでした。中学校とも時間を相談していただけただらよいかと思えます。今、わが子は富山駅からは地鉄バス(1時間に1本)を経由して通学しております。終業が早い日であっても、あいの風が滑川に到着するものの、5分前に「のる my car」が出発してしまうのです。バスに乗りたくても乗れない現状にあります(次のバスを待つと2時間半後)。あいの風の時刻が3月に見直されますが、こちらとも合わせてお願いできたらと思います。長々と書いてしまい申し訳ありません。学生を持つ親としての意見ですので、参考にしていただけましたら幸いです。便利に「のる my car」を利用したいです。</p>	男性	10歳代	東加積
<p>「のる my car」で景色の良いところまで行き、ウォーキング、ハイキング等をして帰ってくる企画があればおもしろいと思う。</p>	女性	60歳代	滑川西
<p>「のる my car」のルート(乗車時間)が短くなれば、速く目的地に着き、利用者が増えるかも…。乗車時間が長すぎるらしい…。</p>	女性	50歳代	早月加積
<p>「のる my car」が黒とグレーのバスが走っていますが普通のマイクロバスみたいです。コミュニティバスとしてなんとなくかわいいバスが好きです。派手なので車を運転していてもすぐわかり車の運転に気を付けています。又、子供たちはバスを見て手を振っていたので少し残念です。</p>	女性	60歳代	滑川西
<p>「のる my car」とあいの風とやま鉄道との接続があまり待たなくて乗れば良いと思います。</p>	男性	60歳代	西加積
<p>「のる my car」にどのくらいの方がどの時間に利用されているのか全く分かっていませんが市内でバス内を見かけた時はほとんど利用者が見えませんでした。利用人数が少ないとわかる時間帯などは把握されていると思うのでバス車両の小型化(ワゴン車など)を考えてもいいのかと思います。</p>	女性	50歳代	北加積

回答	性別	年齢	居住地
「のる my car」にも電子決済や定期の利用ができるようにしたらもっと利用者が増えると思う。上りと下りの乗車位置が分かりづらい。雪のとき時間が遅れるのを考慮して出発してほしい。市のカルチャースクールなどの行き帰りに利用できるように増設してほしい。	女性	10 歳代	中加積
「のる my car」の運行ルートで線路を越えて移動したい。	女性	10 歳代	北加積
「のる my car」の行先案内、例えばみのわルートとか言われてもピンと来ないです。このバスは自分の行きたい目的地に着くのか不安になります。みんなが分かりやすい案内にすればいいと思います。	女性	50 歳代	北加積
「のる my car」の停留所が町内の中心になくルートもわずかに町内の端を通っているだけなのでどんなに利便性アップや改善がなされても乗る機会がないと思う。免許返納後はいつか利用すると思うのでもう少し近くにあればいいな！	女性	70 歳代	中加積
「のる my car」の本数が少ないため、待つ時間が長く使う気持ちになれない。本数を増やせば利用者が増えるのではと思う。	男性	80 歳以上	東加積
「のる my car」の本数を 2 本ほど増やしてほしい。	男性	80 歳以上	東加積
「のる my car」は自家用車を保有していない人にはありがたいです。自家用車に依存している人がとても多い印象です。健康維持のためにも徒歩と公共交通での移動を促進すべきです。	女性	60 歳代	滑川東
健康維持のためにも徒歩と公共交通での移動を促進すべきです。1 日かかると公共交通のイメージで目的地に行き帰るのに 1 日かかるのは自家用車を利用している身では利用は考えられません。	女性	60 歳代	中加積
「のる my car」は大きいのもう少し小さい車で市内全体を網羅し本数も増やした方が良く思う。「のる my car」に学生(高校生)も乗れるよう早朝～夜 9 時くらいまで運行したらよいと思います。	女性	20 歳代	西加積
「のる my car」は必要のあるバス停を作って予約したらその回る時間に停めてくれるようにしてほしい。近くにバス停がなくて困っています。	女性	50 歳代	西加積
「のる my car」より他の方式が必要。	男性	70 歳代	西加積
「のる my car」を名前は聞いてて存在は知っていたのですがあまり内容までは知らずに過ごしていたのでこの用紙を機に細かい事などを知れました。乗る機会があるか分からないけれどぜひ機会があれば乗ってみたいと思いました。ありがとうございました。	女性	20 歳代	浜加積
よく使っています。運転手さんが家の前で停めてくれます。親切な運転手さんです。	女性	70 歳代	東加積
「のる my car」全路線の時刻表など見たことがないので電車の時刻表のようにあればいいと思う。すでにあるのであれば配布先？	男性	70 歳代	早月加積
「市街地循環ルート」において、バス停の順番を逆にした時刻表を追加したらよいと思います(6 便のうち半分の 3 便を逆コースにします)今まで遠回りだったのが目的地に近くなる人がおり利用促進されると思います。利便性の平均化(乗車時間が短くなる人がいます)	男性	70 歳代	滑川西

回答	性別	年齢	居住地
『のる my car』を、より便利にしてください。下記は高岡市民のネット書き込みです参照願います。 高岡市長には「コミュニティバス復活」を是非推進していただければと思ってます。「採算が合わない」と言われるかも知れませんが、もっと他にありますって。「削らないといけない事」が。市民の生命線を簡単に削ってはいけませんよ。	男性	60 歳代	東加積
・「のる my car」に乗ったらチケットを当日見せたら消費税5%になるとか乗るとポイントがたまり店の割引になる。 ・例えば青雲閣をシルバーが短時間好きなだけ働ける内職のような場所にしたらシルバーがそこへ行くのに「のる my car」に乗り利用率がアップする。	女性	60 歳代	滑川東
今まで「のる my car」には乗ったことはありませんが、バス停がどこにあるのかどこへ行くのかよくわかりません。オンデマンド方式？よくわかりません。	男性	60 歳代	滑川西
買い物が不便な方のためにコミュニティバスは残すこと。(問14の問いには答えてなくすみません。)・主要なバス停に時計を設置すれば！	男性	70 歳代	滑川東
利用特典や子供も安全に乗車できれば良い。	女性	60 歳代	滑川東
100人いれば100人の意見があると思われるので市で決めればよいのではと思います。コミュニティバス100円ありがたいですが安いと思います。	男性	70 歳代	北加積
10代の家族がもう一人います。大学生なので午前遅めの通学や午後早い時間に帰宅することが多々です。あいの風利用でバス運行がなく徒歩で40分以上かけて帰宅しています。利用回数が市内で少ない時間帯ですが両親が共働き核家族のため家族の負担を軽減し学業に専念するため時間刻みで(8, 9, 10, 11, 12～)運行することを検討してください。	男性	10 歳代	北加積
①ちょっとした楽しさをプラスする。(「のる my car」に市内の店や観光地の写真を貼りまくる)(ネットでTV番組の「路線バスの旅」に似せて「のる my carの旅」を流す。「のる my car」の利便性をPRしたり高齢者やよく利用している方にインタビューしたり店や観光地その他の良いところを紹介したりする) ②「のる my car」が小森終点でUターン待機している場所は我が家の土地です。他に適切な場所がなく今のところこちらの予定もないのでUターン待機をしておられてよいです。今後も安全に気を付け運転してください。	男性	60 歳代	山加積
70歳代前半です。今は自分の車ですが近い将来きっと乗る機会が増えると思います。	女性	70 歳代	中加積
75歳以上の高齢者に月4回(週1回)程度使える市内利用のタクシーチケットの配布(一部の負担、無料は問わず)による利用、これにより「のる my car」が「空気を乗せている」風景はあまり良くない。他の自治体も同じ課題を持っています。滑川独自の公共交通機関の活用を希望。	男性	50 歳代	滑川西
75歳以上は免許を返納した方がいいのでタクシー料金の補助制度があると返納者が増えていいと思う。	男性	50 歳代	浜加積
80歳を過ぎて免許証返納したいのはやまやまだが買い物、通院や所用で出かけるときは車がないと生活できない。市で運営している「のる my car」はまれに利用することがあるが現在のダイヤの頻度ではとても頼れる公共交通とはなっていない。市の財政を考えると無理は言えないと諦めてしまいます。高齢者には交通問題と除雪問題は死活問題となりつつあります。	男性	80 歳以上	北加積

回答	性別	年齢	居住地
EV車のレンタカーを必要台数導入しメンテナンスも効率よく行う。利用状況に応じてレンタカーの台数を増減可能にする。オンデマンド式で予約制にし無駄のない運行にする。時間帯と利用場所をコンパクトにし、利用について学習広報する。	女性	60歳代	北加積
あいの風、地鉄滑川駅に時刻表に連絡しているとよい。例として、朝・昼・夕方・夜などに、待ち時間が20分くらいまでは我慢できると思います。	女性	80歳以上	西加積
あいの風とバスの乗り換えの時間を考えてほしい。	男性	10歳代	中加積
あいの風とやま鉄道について、魚躬あたりに新駅をつくってほしい。	男性	50歳代	西加積
あいの風とやま鉄道の駅が徒歩圏内にあると(私の場合は滑川駅と水橋駅の間)富山に行くのが便利になります。	男性	60歳代	滑川西
あいの風とやま鉄道の滑川駅⇄水橋駅の間、魚躬(北陸富士駐車場海側)に早急に駅を新設(駐車場駐輪場付きの)してほしい。住宅も増えました。大阪屋ショップでの買い物客が多い。滑川高校、スポーツアカデミーがあり運転免許のない人の利用が増える。江尻魚躬高月などこれらの地区近辺の住民は通勤通学時公共交通手段に不便を感じています。	女性	70歳代	西加積
あいの風とやま鉄道は、降雪に強い運行を強く望む。 のる my car は市街地以外は利用しづらい。 旧8号線近辺から終点の滑川駅まで、あちこち巡り時間がかかる。 市街地外からの利用者にしてみれば、目と鼻の先に来て何故あちこち引きずり廻すのか理解し難い。 改善を求める。	男性	70歳代	西加積
あいの風地鉄とのつながりを良くしてほしい。30分に1本もしくは1時間に1本「のる my car」を！	男性	60歳代	北加積
ありません。	男性	80歳以上	滑川西
アンケートの最後に分からなく私には回答ができませんでした。日常生活には大切な公共交通です。	女性	80歳以上	西加積
アンケートの質問内容が悪い→もう少し広い視野でアンケート内容を考え、いろいろな前提を体系づけた上で、現状の課題を抽出し、その問題点を解決する複数の手段を開示し、その上で質問による回答者の意見を伺うぐらいの精査した内容にしてほしい。	男性	70歳代	中加積
いずれ免許を返納せざるを得なくなれば多少不便でもないと思うときが来ると思う。	男性	60歳代	浜加積
いずれ免許を返納せざるを得なくなれば多少不便でもないと思うときが来ると思う。免許返納すればバスを利用すると思いますが料金を130円くらいに上げててもよいのでは？	女性	70歳代	中加積
いずれ利用する側になると思うので高齢者の運転危険度がますにつれ行政が利用しやすいように色々考えて頂ける姿勢に感謝しております。	女性	60歳代	北加積
いつでも利用しやすい運行状態になればいい。	男性	50歳代	滑川西
いつも便利に利用させてもらっています。中学生の下校時間や部活の終わる時間帯にバスが通ると利用する人が増えると思います。(特に冬)	女性	10歳代	山加積

回答	性別	年齢	居住地
エネルギー資源は有限なので公共交通機関等の充実により省エネルギー社会に移行することを検討する時期だと思えます。 現状の利便性も大切ですが、地球環境や次世代の子供たちにもエネルギー資源を有効に消費する社会を目指すためにこれから我々は何をすべきか等の地域社会への働きかけが重要と考えます。	男性	60 歳代	中加積
オンデマンド方式導入大賛成です。予約が1人または数人でも運行するためにワゴン車などの導入もよいのではないのでしょうか。例えばバス1台で広範囲に回るよりワゴン2台で動けば待ち時間乗車時間も短くなり便利さが実感できると思えます。	女性	60 歳代	西加積
がんばって下さい。	男性	30 歳代	北加積
こういうアンケート取るなら、何か謝礼があった方が回答率も高くなると思えますよ	男性	10 歳代	滑川東
このアンケート、質問の設定がレベルが高くて普通の老人はよほど考えないと答えられない。もっと中学生レベルの質問にしてほしい。市役所の職員の優秀な頭脳について行けない感じがします。オンデマンドはいいがなるべく自宅に来てほしい。老人には使い方の丁寧な説明を。	男性	80 歳以上	早月加積
この先運転免許を返納する人が増えると思えます。手軽に利用できる交通手段として高齢者が利用しやすい事が必要です。バスを利用して外へ出るきっかけがあるといいですね。	女性	60 歳代	西加積
コミュニティバス「のる my car」は絶対廃止しないでほしい。	男性	70 歳代	北加積
コミュニティバスが通常のバスの大きさなので旧町部では道路運行が大変とおっていました。(車体の割に乗車人数が少ないので)但しコロナ禍の現状では乗っている人が安心感を持っているのではと感じています。	女性	70 歳代	滑川東
コミュニティバスについて(寺町ルート)往路は9時過ぎ、復路は交流プラザ前で16	女性	70 歳代	中加積
コミュニティバスのオンデマンド方式とても良いです。通勤通学で決まった時間にいつも乗る人が使う定期のものがあればよい。本当は富山駅まで電車で行きたい。自宅からバス→電車の本数をもっと増え遅い時間まで利用できれば休日の遊びに利用したい。富山の方は移動にマイカーを使うので徒歩で移動する機会が少ない。健康の為に歩きたいのでマイカーに頼らない生活スタイルにしたい。電車も色々なタイプのものであるので乗っての楽しみたいと思っている。これからの時代公共交通が大切だと思う。	女性	40 歳代	早月加積
コミュニティバスのルートが分かりにくい。広報などでマップは見ていたが、ごちゃごちゃした印象で、自宅近くの路線が駅までどのようなルートを通るのか分からず、子供も乗りたがらない。山間部等のルートは病院や駅に直結させて、市内循環ルートで乗り換えて目的地に向かっても良いのではないか。乗車時間が長いと、高齢者には身体的負担になってくると思う。	女性	40 歳代	北加積
コミュニティバスのルートに隣接していないために自動車免許を返納できない高齢者がいる。オンデマンドの応用で各戸前まで回れるようになれば追加運賃を支払うとしても利用させたい。	男性	60 歳代	滑川東
コミュニティバスの運賃収入は費用の13%とのことですが、環境保全や高齢社会を考えると当然のコストとして一般の税で負担することはやむを得ないと思えます。100円の料金はぜひ続けてほしい。又ハブバス停が整備され、乗換えることでどの方面でも行けるようになれば。「1乗車100円」又は「1日200円で乗り放題」の2種のチケットから選択できるようにすれば良いと思えます。	男性	70 歳代	滑川西

回答	性別	年齢	居住地
コミュニティバスは手軽なので使ってみたいが自家用車があるので使用頻度は少ないと思います。ただ旅行で電車や飛行機を利用する際に駅まで行く交通手段としてほしい。あいの風富山鉄道行きのバスが欲しい！	男性	30 歳代	早月加積
コミュニティバスは収益を上げるためのものでなく他に色々な目的があると考える。それぞれ目的がひとつでも達成できればいいのではないか。	男性	70 歳代	東加積
コミュニティバスは足のない老人の為の必要不可欠な施策だと認識しているが、一方であいの風の無駄な駅(新富山口)の設置など放漫な税の使い方、富山市の異常な開発など夢見心地の愚策も目立つ。恐らく、市の買っているバスとあいの風や富山市の開発は主体も予算の出どころも違うと思うが富山県という単位で無駄をなくし本当に困っている人々の生活を支えるべきである。	男性	20 歳代	滑川東
これから先ますます高齢化が進み車の免許返納者が増えることと思います。(車の維持も年金の身になると大変でもあるし)ずっと存続してほしいと思います。「のる my car」など。	女性	50 歳代	中加積
ご近所の年配の方が定期的に「のる my car」を利用しておられるのをお見かけします。生活の一部になっておられるのだなと思います。	女性	50 歳代	浜加積
ショッピングモール駐車場への「のる my car」乗り入れ、荷物を持ってすぐ乗れたら…と思います。	女性	60 歳代	滑川東
スクールバスがない小学校では 2 km を超えて歩いて通学しています。遠い児童は 4 km 近くになります。できれば夏期冬期の通学するのが厳しい時期に利用可能な時間帯の運行があればいいなと思います。	女性	50 歳代	浜加積
スマートフォンのアプリのオンデマンド方式は非常に便利かと思いますが高齢者はスマホや携帯を使いこなせないのではどの世代にも使いやすく乗りやすい利便性の良い公共交通になることを願います。	女性	50 歳代	北加積
タクシー利用が一番よい。相乗りは嫌。料金無料がありがたい(年に何回まで無料とか…)	男性	80 歳以上	滑川東
どうかお年寄りに住みやすい町を作ってください。近年の年寄りの事故多発にて免許返納の事件が多いと思います。その方の足になって頂けるよう配慮願います。	女性	40 歳代	西加積
どこへ行くにも車を運転することが好きで外で飲酒した場合以外で地元の公共交通を利用したことはありません。田舎で自由に行動できる手段はやはり車であり、それ以外は現在のところ考えられません。	男性	60 歳代	西加積
とにかく早く年末年始の 3 日間も走って毎日走行してほしい。赤字黒字ではなく責任として毎日走るのは当然のこと。地鉄バスも赤字黒字ではなく責任として毎日走っている。地鉄バスを手本としてとにかくすぐ動いてほしい。	男性	50 歳代	北加積
どの年齢層にも合う利便性が良いものは難しいと思います。10 代は駅(通学遊び)に行くためにバスを利用したいと思いました。通学通勤時間帯は本数が増え、昼は乗り合いのような新しい方法だと良いのではないかと思います。	女性	40 歳代	西加積
どの目的地でも自由で待たずに早くつけばいいだけです。その交通手段として自動車を使っています。バスでもタクシーでもいいので、その時行きたい目的地まで待たずに早くつけばそちらを使います。	男性	50 歳代	滑川東
なし。	女性	10 歳代	北加積
なし。	男性	60 歳代	西加積
なし。	男性	70 歳代	北加積

回答	性別	年齢	居住地
のる my car の夜間の運行があれば利用しやすいと思う	男性	40 歳代	北加積
のる my car は停留所が近くになく、本当に不便。免許証を返納しても、タクシーは料金が高いし、足腰が衰えてきて駅まで 2 キロ近く歩くのは遠すぎてメリットが全くない。相乗り出来る公共交通の整備を早くして欲しい。	女性	80 歳以上	早月加積
はじめて、バスを利用すると何もわからないので利用方法をバスに乗ったときにわかるようにして欲しい	男性	50 歳代	西加積
バス=高齢の方のためのものというイメージがあるが子供が気軽にバスを利用できるイベントのようなものがあるといいと思った。児童館や子ども図書館や公園などを母娘や祖父母と乗って回することで親しみを感じられたり、親世代や祖父母世代も「のる my car」について知るきっかけになると思う。	男性	30 歳代	西加積
バスだけでなく、その他の交通手段（タクシーを含む）と組み合わせ、自家用車利用に準ずる利便性を確保しないと、利用促進は難しいのではないのでしょうか。自家用車利用のトータルコストより下がれば、利用も増えると思いますので、サービスにみあう対価で考えればいかがですか。	男性	60 歳代	滑川東
バスでエールへ行くのでも中加積～西加積へと回り道するので 30～40 分かかります。大変だと思えますが 1 つの地域だけ回ることができないのでしょうか？	女性	70 歳代	中加積
バスで乳母車を持って乗られた人が座席の間の通路で詰まってしまっていて困っておられたのを見て何かいい方法がないのだろうかと思いました。	女性	70 歳代	滑川西
バスの運賃 100 円は安いと思いますが安いにもかかわらず利用客が増えないのは何か問題があるのだと思う。通勤通学の場合駅に直接行くこと(町の中をぐるぐる回らない)を考え駅裏にバス停があればよいと思う。	女性	50 歳代	東加積
バスの利用時刻を増やしてほしい。毎日が無理であれば週の○曜日を決めて時刻を増やすと利用できる、利用したい。(週 2, 3 回の運行、1 時間に 1 本)	女性	60 歳代	北加積
バスもラッピングされとてもかわくなりました。しかし孫を連れて乗りたいと思いますか？行きはいいが帰りのバスが上手く時間が合わないため諦めています。オンデマンド方式は当日予約が取れるのでしょうか？ハブバス停の存在がどこにあるのか分からないのが現状です。	女性	60 歳代	早月加積
バスを利用して滑川市内の徒歩だとツライ飲み屋さんをハシゴできるようになったら嬉しいです	女性	30 歳代	北加積
バス時間まで長いとよく聞きます。吹雪や夏の暑いとき待合室大変そう。	女性	50 歳代	早月加積
バス走行ルートが限られているのでバス停以外の乗降には限界がある。その点を改善できれば利便性がかなり向上すると思います。	男性	60 歳代	浜加積
バス単体、あいの風とやま鉄道/地鉄単体での運用体系に疑問を感じる 乗り継ぎ時間、乗り継ぎ場所、時刻、運賃それぞれで連携が必要と考える 全体の交通ネットワークとして考えるべきでは、そのためには IC カードやインターネットサービスなどで、地域全体を一つとして考える時代ではないか。 また、単体での黒字/赤字などは考えるべきでないと思う。	男性	50 歳代	早月加積
バス停が近い事、雨宿りできるところ。	女性	70 歳代	東加積
バス路線を見直してほしい。主要幹線道路にバス停を移動するとか利用しやすい機関にしてほしいです。	女性	50 歳代	西加積

回答	性別	年齢	居住地
マイカーしか利用しないので、まだ実感は無いが、いずれ免許返納したり、町内の方がバスを待てられるのを見て、本数が増えたり行き先の商業施設や病院が増えれば有難いと思う。 大島は滑川の端なので病院スーパー等に遠く、この先もっと高齢者が増えると思うので、より便利になると嬉しいです。	女性	50 歳代	早月加積
のるマイカーは回り道が多く自分の行きたいところへは時間が多くかかりすぎです！	男性	70 歳代	中加積
まず一度乗って頂くため機会があれば PR し慣れてもらう(初回は無料とする)	男性	70 歳代	浜加積
まだ自家用車に乗っていますので考えていませんがいずれ考えると思います。	女性	80 歳以上	中加積
まだ先のことで考えたことなし。	女性	70 歳代	北加積
まだ利用して無く書きようがない。	女性	70 歳代	中加積
まだ利用はしてませんが置いたときの分かりやすい利便性が必要だと思いました。	女性	60 歳代	北加積
もう少しは自分で運転したいのでまだ実感がありません。	女性	70 歳代	滑川東
もう少しわかりやすくしてほしい。バスの回数を増やしてほしい。	男性	60 歳代	北加積
やがて車の免許返納した時今の「のる my car」で満足な運行だし利用すると思う。	女性	70 歳代	東加積
よく知らないのですが、市外のコミュニティバスと、市内のバスは連絡が取れているのでしょうか？	男性	60 歳代	西加積
ルートが決まっているとそのルートしか行けないので途中に乗り換え地点があったらいいのでは。	女性	60 歳代	浜加積
以前市のバスに乗った時にバスを下車するときに学生や女の方が「ありがとうございました」と運転手さんに言って降りておられるときに運転手さんが知らん顔でおられたので決まりで運転に集中されているとは思いますが一声あればなあと思いました。	男性	70 歳代	北加積
以前利用(病院受診)しましたが運行時間が行き帰りであいてしまい利用しにくいと思ったので(1 人 1 人受診にかかる時間も違うのですが)バスが定期的であればいいと感じました。(今は仕事場で利用する路線もなく大雪の際は 1 時間かけて歩きました。)	女性	60 歳代	西加積
移動手段を公共交通に頼っているのは主に高齢者だと思うので誰もが分かりやすく簡単に利用できる運行方法であってほしいと願います。	女性	60 歳代	浜加積
一度キラリンの書いてないバスを見た時に子どもがさみしがっていました。他のバスと差別化するためにも目立ちやすい見た目は必要だと思います。	女性	30 歳代	北加積
運行数が少ないので不便だと思う。相乗りや 10 人程度のマイクロバスでよいので、もっと運行数を増やすとかしないといけないのでは？	男性	60 歳代	
運行数を増やせばよいと思うが利用状況が悪く採算が合わないと思うのでオンデマンド方式の取入れを早急に検討した方がよいと思う。また相乗り地域運転手も有効と思えるので検討して頂きたいと思う。	男性	60 歳代	北加積
運賃を低く設定する	男性	20 歳代	早月加積
運転が不安になったり嫌になった場合もう少し歳取って免許証を返納したら「のる my car」を使うのではないかと考えていますのでなくならないでほしいです。	女性	70 歳代	早月加積
運転手さんも介護福祉士免許を持ってください。	男性	70 歳代	北加積

回答	性別	年齢	居住地
<p>運転手の方々への再教育。もっと優しく教えてもらいたい。</p> <p>それと、滑川駅のあいの風とやま鉄道への接続時間をあと10分伸ばして欲しい。そうすれば、運転手の方も利用者の方も穏やかに安心してのマイカーを利用できる。</p> <p>もうひとつ、もっと本数を増やして欲しい。</p> <p>今後、大切な乗り物であると確信します。</p>	女性	60歳代	西加積
<p>駅から降りてあまり待たずにバスに乗れてそこからほたるいかミュージアムのような海が見えるレストランなどを増やしてバスに乗る人の人数をふやしたり、スタバなどのドライブスルー形式の店を増やすといいかなと思いました</p>	男性	10歳代	西加積
<p>家からバス停までが遠い。雨の日や炎天下に高齢者が屋根や日陰もないバス停で待たれているのをよく見かけます。大変そうだし、危険なので、安全に利用できるようにして下さい。バスが今どこを走っているのかバス停で分かる表示をしてほしい。冬場に中高生が通学に利用できるようにしてほしい。歩道が除雪されていないこともありますし、自家用車での送迎は危険なので。</p>	女性	40歳代	中加積
<p>家の近くにバス停があればよい。</p>	男性	70歳代	西加積
<p>各自治会に持っておられる公民館などの一部分を待合場所などに利用するのもよいのでは？雨や雪の日の利用を考慮。</p>	男性	70歳代	中加積
<p>各路線の季節毎の乗車状態の統計を取り、その路線に応じたサイズのバス又はマイクロバスに振り分けてはどうか？同じサイズの車両でない方良いと思います。メンテナンス面で、費用がかさむかもしれませんが、今後コミュニティバスは、必ず利用するので、廃止だけは避けていただきたく、よろしくお願いします。</p>	男性	50歳代	北加積
<p>学校が終わっても電車が来るまで1時間あるということがよくあるので、ちょうどいい時間の電車があったらと思う。電車に人がたくさんいて混雑しているときに、4人席にして1人で足を伸ばしながらすまし顔して乗っている年寄りが出てとても迷惑しています。靴は脱いでいるけど汚いです。何とかしてほしい。</p>	女性	10歳代	早月加積
<p>学生に合わせた時間帯、お年寄りに合わせた時間帯などその年代に合わせたやり方を考えていくべきではないかと。でも職員さんに負担のかからない程度に。</p>	女性	40歳代	西加積
<p>滑川「のる my car」の通行道路は雑草が多い。南砺市の方へ行くと花が咲き景色がとってもいい。もっと滑川交通の便のみならず光の町をアピールするなら笑顔溢れる花咲く町になるとバスに乗っていても楽しいと思う。</p>	女性	70歳代	中加積
<p>滑川駅から滑川高校まで行き来できるバスがあると高校生が多く利用するのはないでしょうか？(特に雨や雪の日)</p>	男性	40歳代	滑川東
<p>滑川駅周辺にコンビニエンスストアが徒歩で行ける距離にあれば便利であると思う。オンデマンド方式はすぐにでも利用してみたい。「のる my car」は通学通勤の時間帯に合わせると利便性が向上して利用者が増えると思う。</p>	女性	20歳代	浜加積
<p>滑川市の課題や改善点を把握せずに他市町村のものまね運用ではお金の無駄である。滑川市を発展させるにはどうしたらよいか方向性を明確にしたうえで検討しなければやっただけの行政になってしまう。</p>	男性	60歳代	東加積
<p>滑川市立博物館にはよく行きます。(大日室山ルート)行きは利用できても復路はもうありません。もう少し遅い時間帯にも運行があればよいのですが……。無理ですね。</p>	女性	70歳代	滑川西
<p>観光地以外の利用は自動車ですべて自由に移動可能であり、促進や利便性向上に関して特にありません。</p>	男性	70歳代	西加積

回答	性別	年齢	居住地
急な用事で運転できない場合などいろんなことが起きた場合は公共交通が必要だと思います。			
魚津市や富山市水橋に路線バスで乗り入れスーパーや施設を利用し帰りの便でその市町村の住民を乗せて滑川市で用事を済ませてもらえればよいと思う。	男性	50 歳代	滑川東
共働きで子どもが中学生です。冬のコミュニティバスを利用して帰宅することがありますが本数が少なくなかなか利用できません。中学生や高校生が安全便利に利用できればいいなと思います。	女性	50 歳代	中加積
近い先免許を返納しなければならぬので、現状のアンケートを定期的に行ってもらえると助かります。	女性	80 歳以上	浜加積
近くにスーパーや病院があるのでこれからも使わないと思う。	女性	80 歳以上	滑川東
経費節減のためコンパクトな車両にする、小回りの利くということが利便性に通じると思います。他の町が行っていることを参考に良い点悪い点など検討が必要。実際に利用している人に意見を聞く。	女性	60 歳代	西加積
健常者でもケガや病気などで利用することもあると思うので利便性向上に励んでいただきたいです。	男性	50 歳代	西加積
元々収支が合わないのに運行システムを変更する必要はありません。現行の路線バス方式で充分です。急ぐ人や待てない人はタクシーを利用すべきです。	男性	80 歳以上	北加積
現在、今後も公共交通を利用するのは運転が出来ない高齢者が殆どだと思う。今は自家用車で移動出来るため不便は感じていないが、数年先には必ず必要になってくる。買い物、通院等時間を気にかけてながら生活しないとイケないのはとても不安に感じる。	女性	60 歳代	滑川西
現在「のる my car」を利用している人たちは高齢者が多いと思われます。オンデマンド方式のような新しい方法を取り入れる前に乗り降りしやすくし1人介助してくれるような人をつけシルバーカーでも乗り降りしやすくするなどの工夫をして頂きたいです。	女性	40 歳代	北加積
現在 69 歳ですが満 80 歳超えるころには公共バス「のる my car」を利用することが多くなりそう。その時に利用しやすい公共交通になってほしい。	男性	60 歳代	東加積
現在タクシー以外は利用していませんがやがて、将来のことは今の自分にはわからないし明日どんな自分が(どんな生活が)待っているのか?想像する時間もないのでお役に立てなくてごめんなさい。	女性	60 歳代	東加積
現在はマイカーを利用していますがいずれ運転を辞める時が来ます。今は電動自転車、ウォーキングでカバーをと思っておりますが、それもいずれは終わりが来るでしょう。後は子供たちが頼りでしょう。公共交通は旅行以外は利用しないと思います。最後は救急車でしょうね!	男性	70 歳代	東加積
現在は自家用車を自分で運転して移動しているのでのる my car がどのルートで運行しているのか詳しくわかっていないが将来的には利用したいと思っているので続けてほしいと思います。	女性	60 歳代	滑川東
現在は車での移動がほとんどではあるが、将来的に運転ができなくなった場合公共交通機関のお世話になることも考えらえるので利便性の向上は大変ありがたいです。	女性	40 歳代	滑川西

回答	性別	年齢	居住地
現在は足で自由に動けるが、そうでなくなった場合はと考えると不安です。富山市のように集中すればよいと思うが諸問題諸事情がある。空屋も吾妻町常盤町など目立ち通るのも怖さを感じる。その前は通らなくてよいのでやはり希望制にすると〇。	女性	70 歳代	浜加積
現在一時帰国中で自家用車がない為、主に地方鉄道の電車を利用しているのですが、運行本数や行ける場所に限りがあったり、駅から目的地まで遠かったりするので、のる my car を使ってみたいと思ったのですがいまいち時刻表がわからなかったりしたので、ウェブやアプリなど、わかりやすく見れるサービスがあればよく利用したかもしれません。自身が都内や海外の都市部に居たせいか、まだまだ車がないと不便で、車がない住民としては肩身が狭いと感じてしまっています。私は 20 代なので自転車や徒歩、乗り換えなど自由に行えますが、ご高齢の方にとっては自宅からすぐどこかへ安心して移動できる手段がいつでもあるのは安心できると思いますし、ちょっとでも経済を回すには公共交通機関のしっかりとした完備は必要不可欠かなと思います。自分達の親世代(50 代)が高齢者になる時、安心して、車がなくても肩身の狭い思いをしないしてほしいなと思っています。	女性	20 歳代	西加積
現在公共交通はほぼ利用していませんが自分の年齢からするとあと数年で運転免許証を返納することになります。バス電車がそれまでに便利な利用手段であってほしいものです。お疲れ様です。一緒に頑張りましょう。	女性	60 歳代	中加積
現在自家用車の運転で用事を済ましているので公共交通の利用はありません。	女性	70 歳代	浜加積
現在自家用車利用の為「のる my car」のことはピーンと来ていません。もし乗車することあるのなら自宅の前で降りたいと思います(帰りは荷物多いため)	女性	60 歳代	西加積
現状で良い。滑川市程度の小都市では何をやっても金がかかるためほどほどで良い。	男性	80 歳以上	中加積
現状ののる my car は本数が少ないため、遠回りで時間がかかる上、行きたい所へ行っても帰りのバスがずっと無いなどとても不便?? 本数を増やし、今は人数が少なくても利便性を向上させればおのずと利用者は多くなると思う。	女性	60 歳代	滑川西
個人的に時間に縛られず行き先が増えることに加えハブバス停の立地条件が充実されれば利用者も増えると思う。	男性	60 歳代	浜加積
交通系電子マネーで乗降可能になれば便利だし、試し乗りの敷居が低くなると思います。	男性	40 歳代	浜加積
公共交通の利用促進などに関しては利用したことがないので意見はありません。将来についても子供などがいますのであまり利用しないと思います。今回のアンケートを回答するにあたりあまり意味がない回答でした。次回このようなアンケートを実施されるのであれば学生さんなどご利用されている方に回答して頂いた方が参考になると思います。	女性	60 歳代	西加積
公共交通を利用することがないので何が課題なのかもよくわかりません。山間部に住んでいるので免許返納後のことを想像するとバス停も近くにないですし不安だらけです。いざというときは家まで迎えに来てくれるタクシーを利用しそうです。	女性	50 歳代	山加積

回答	性別	年齢	居住地
公共交通を利用する人が増加すると良いとわかっているにもかかわらず自家用車が利用できる現在それオンリーとなってしまいます。自家用車仕様が無理になったら外出は減り、やむを得ない買い物や通院もタクシーになるのではないかと心配しています。金銭的につらいです。公共の将来の交通についてご尽力頂きありがたく思います。老人が利用しやすい交通状態になると市民も大いに喜んで活用させて頂くことでしょう。財政の問題もあり大変です。よろしくお願い致します。	女性	70 歳代	滑川東
幸い自宅のすぐ近くにバスの停留所があるので、年に数回の利用ではあるが助かっている。冬期間、また利用させてもらおうと思います。	女性	50 歳代	北加積
高校近くの地铁バスは予定時刻に来ることが少ないらしいので改善して頂けると嬉しいです。	女性	10 歳代	滑川東
高校生の自転車マナーが悪い？ので、滑川駅と滑川高校間に「のる my car」を運行したら、いかがでしょうか。雨の日は、車を運転する側も少しは気が楽になりそうです。	女性	50 歳代	
高塚より東部小学校まで約 3km はかなり遠く低学年の児童にはきつくバスが利用出来ればありがたいです。	男性	60 歳代	浜加積
高柳バス停はあるが全くはずれにあるため、住民の方々は不満に思っている。赤浜町内の中まで入っているのに高柳町内の中を通れないか工夫してほしい。	男性	80 歳以上	中加積
高齢で免許証返納後、体も都合悪くなり電車バス等よりもタクシーが多くなると思います。金銭面の問題で少しでも効率よく買い物や病院通いができるようチケットなどで解決できるか？	男性	80 歳以上	滑川東
高齢化、病気になったら免許を返納したい。コミュニティバスを利用。	男性	70 歳代	浜加積
高齢化に伴い乗降場所が近くにあり行き先も多様性がありスムーズに短時間で移動できるなど利便性の高い交通システムを希望。	女性	70 歳代	北加積
高齢化社会においても大変利便性のある交通手段だと思います。実際高齢者の方の使用する姿をよく見かけております。	女性	50 歳代	山加積
高齢者にとって『のる my car』は重要な移動手段だと思います。私の母親も 80 代なので移動手段として時々利用しています。私も将来お世話になるとは思いますが、乗客が少なく現在の運行に無駄が生じているのであれば、オンデマンド方式も仕方がないのかもしれません。でも、絶対に運行廃止だけは避けて欲しいですね。	男性	60 歳代	北加積
高齢者のことを第一に考えるべき。シンプルなシステムやルートなど分かりやすい方向を考えるべき。	男性	60 歳代	浜加積
高齢者の為、子供の為を中心に考えて。その利便性を最優先に考えてほしいです。オンデマンドもいいが、子供や老人が使いこなせるか気軽に使える公共交通機関であることを。	女性	40 歳代	滑川西
高齢者の方には公共交通がさらに必要になってくると思いますが、それ以外の年齢層で自家用車がある方には、あまり必要ないと思います。	男性	40 歳代	滑川西
今のマイクロバスをジャンボタクシー並みに小型化して 1 台当たりのコストを下げる。そして台数を増やすことで利便性が向上しないでしょうか。マイクロバスにたくさんの人が乗っているのを見たことがないです。	男性	60 歳代	滑川西
今はまだ運転できるので利用していないのでわかりません。	女性	60 歳代	東加積

回答	性別	年齢	居住地
今は運転でき「のる my car」の利用は2～3回しかありませんが将来的には必要になると思っているので継続は希望します。料金については先のアンケートにも答えましたが多少の負担が多くなってもタクシーに比べると安いし玄関から玄関ではなく歩くことも大切なのでバス停がありでいいと思います。	男性	60 歳代	浜加積
今は空気を運んでいるケースが多そうなのでオンデマンド方式を基本的に効率があげられると良いと思います。高齢化社会(障害者を含め)を考えると公共の移動手段は必要です。よろしくお願いします。	男性	60 歳代	浜加積
今は公共交通はあまり必要としていませんが今後益々高齢化社会になるとやはり公共交通が必要となります。「のる my car」はありがたいと思います。たくさんの方が利用されて運賃収入が増えていけばよいと思います。	女性	70 歳代	西加積
今は使う必要はないがいずれ免許返納した場合、絶対に使いたいと思っている	女性	50 歳代	滑川東
今は自家用車があるので「のる my car」は利用することはないが、いずれ車を手放すことがあるのでその時は利用すると思います。若い人から高齢者まで住みやすい滑川市であってほしいです。ご苦労様でした。これからも頑張ってください。	女性	50 歳代	中加積
今は自分の運転で自由に出かけていますが将来はきっと「のる my car」のお世話になるだろうと思っています。その時はどうぞよろしくお願いします。	女性	60 歳代	滑川西
今は全く問題ないが自分が高齢になったら公共交通の利用が絶対な立地なので頑張ってお金を貯蓄させてほしいです。よろしくお願いします。	女性	40 歳代	北加積
今は必要ないが70～80歳になるころ一人暮らしなのですべて自分で買い物病院などに行かなければ生きていられないので近くから移動できるように改善してほしい。県道にはバス停がほとんどないです。	女性	50 歳代	早月加積
今は夫の運転で自由にどこへでも送ってもらえますが返納の年齢なのでその後はやはり公共交通が必要になると思いますが出かけるのはいいのですが帰りがなかなかいい時間がないということで短時間で行って来れないのではという不安があります。そこが改善されればよいと思います。	女性	70 歳代	滑川東
今は免許があるのでバスに乗ることがありませんがやがて車の運転ができなくなった時に「のる my car」を利用すると思うので今のよう路線が決まっていどこでも乗れることはありがたいと思いました。公共交通のことを全然知らなかったのでこのアンケートを読んで自分が年寄りになったらバスに乗れなくなると思った。時代が変わっていることを知りました。	女性	60 歳代	浜加積
今は利用していないのでわかりませんがよくバスとすれ違うことがあります。乗客数がいつも少ないと思われまますので小型化してはいいかなものか？	男性	80 歳以上	北加積
今現在どれだけの人が利用しているのか本当にこんなに何本のルートバスが必要なのかを誰もが思っていると思う。もっと考えてバスではなく人の少ないところはタクシーを代用して利用しやすくなると思う。	男性	60 歳代	滑川西
今後、核家族化高齢化が加速していく中、公共交通の役割は大きいと感じます。本数コースを増やし利用促進を図るべき。利用して頂いた方には何か特典を考えたらどうでしょう。	男性	60 歳代	中加積
今後さらに高齢社会が進むことを考えると提案されている「新たな公共交通等」の検討、整備は必要であると考えます。	男性	70 歳代	滑川西

回答	性別	年齢	居住地
今後高齢になると運転免許証を返納しなければならないことを考えた場合、利便性から見てバスというよりタクシーなどの移動手段に頼るところが多いと思いますのでタクシーの割引などを検討して頂きたい。(市内一周ワンコイン 500 円など)	女性	60 歳代	北加積
今後増々高齢者の人数が増え、運転免許の返納も多くなると思う。しかし買い物や医者に行くことも増え、自分はまだ運転して必要な場所へ行けるが免許を返納した時どうなるか不安になるしなかなか返納できないのではないかと思う。もう少し上の年齢の意見などを聞いて今後の利便性の向上につなげてほしい。	女性	60 歳代	浜加積
今住んでいるところは将来子供が小学生になると車で送っていかなくてならないと思うので小学生になるまでに公共交通が整っていると嬉しい。現在娘はバスの見た目が好きなのでたびたび見に行くと言った運転手さんが手を振ってくれます。本当にうれしいと思います。	男性	10 歳代	東加積
今日魚津でバスを利用しました 200 円一律 200 円でした滑川は 100 円で安くて良かったです	男性	70 歳代	西加積
再三言ってきましたが、冬期の登下校にバスが使えたらいいと思う。近隣の自治体は既に実行しています。滑川は何にしても取り組みが遅いと思います。	回答しない	40 歳代	中加積
最大のネックは超高齢化社会。利用者の多くはかつてドライバーであった。マイカーショッピングが不可能になった。交通弱者がますます増えるのは明白。核家族化も遠因。コンパクトシティは当然。スプロール化現象の解消が叫ばれていたが実態は逆。全国的に難問中の難問。試行錯誤するしか。自分たちの足は自分たちで。交通審議会の開催。市長と語る会での要望を踏まえる。公共交通にテーマを絞った議論を進める。交通専門家を招いてシンポジウム。利用目的の把握をする、通勤通学買い物その他。先進地視察を。市議はどう考えているのか。具体的な方策は。	男性	80 歳以上	滑川東
最低一時間に一本の運用を図ってほしい。	男性	50 歳代	東加積
昨年引越してきて、一度だけバスを利用させて頂きました。バスの運転手の方も親切で、安心して利用できる公共交通が家のそばにあることを心強く思っています。今年子どもも生まれたので、将来学校に通う際にも滑川市の公共交通機関が存在してくれているような運用モデルが出来上がることを願っています。	女性	30 歳代	東加積
昨年越してきてあまりよくわからないし歩くのが足腰都合悪く自転車ではなんとか行けるところまで行けるのでバスは利用してません。	女性	70 歳代	滑川東
始発の山あいの停留所から駅へ出て、あいの風に乗りたい場合、あちこちのコースを周り、時間がかかり、すごく大変そうに思います。一度乗りましたが、こんなにいろいろ周らなければならないのか…と思いました。街中のお医者さんまで遠かったですし…。	女性	70 歳代	山加積
市としてどのような公共交通の形をお考えとなっているかが目的と問題も踏まえて少しだけでもどこかで分かるといいなと思いました。(すでにあったらすみません)車社会(富山県滑川市は多分)ということも聞いたことがあるので難しいですが環境のことを思うと心が動くと思うので CO2 の排出量の影響を目に見える形にするとこんな時は車じゃなくしようとかとか自転車も含めて思うと思います。	女性	10 歳代	北加積
市の地形を変える。家の配置を変える。	男性	70 歳代	山加積
市内でのイベントや観光に利用した方が良いと思う。	男性	70 歳代	西加積

回答	性別	年齢	居住地
市内の大きなイベントが開催される場合すべての路線でその場所までの入りと出を考え事前にチラシなどで案内し利用の機会を増やす。また公共バス利用のきっかけを作ることも大事なことではないかと思うが？	男性	70 歳代	北加積
市内の店と提携し、バス運賃の補助の制度を作る。コミュニティバスのコンパクト化し(大型バスでなくてもよいと思う)本数を増やす。病院や市内の主要箇所買い物できるところ駅前などを回る。	女性	30 歳代	西加積
市役所から行田への道にバスを走らせてほしい。老人がいっぱい住んでいます。もちろんバス停も。大通りを走っても、通りまで出るのが大変。老人の沢山住んでいる町、道路にこそバスを走らせればもっと利用するのは。本数も増バス停も増し。	女性	70 歳代	滑川東
施設に入って住民が家にいなく少ないところもマイクロバスが走っている。民生委員を利用してバスに乗る人を半年に一回調べ小型の車を走らせ電話予約方法を考えてみる。小型ワンボックス車数多く走らせることも考える。地元(各地区)で運転者募集	男性	80 歳以上	浜加積
私は駅近くに居住しており、「のる my car」の必要性はほとんどない。駅から遠い人にとっては少なくともあいの風の発着に合わせた便があればある程度の需要はあると考える。	男性	60 歳代	浜加積
私は退職後、市展を見に行ったり、出品したりしていましたので、自家用車がなくなってからはとても不便になりました、市展の期間中に1~2回くらい臨時便が出ればと思います。	女性	80 歳以上	滑川東
私自身、自転車か徒歩でこれまで通学してきた、買い物も母の車で行くことが多く、交通機関を使うようになったのはごく最近で答えられない質問も多かったですが、こうやって住民の意見をアンケートしてくれるのはとてもありがたいです。これからもこういった取り組みを続けてほしいです。より使いやすくなった公共交通機関をどんどん使っていこうと思います。	女性	10 歳代	中加積
寺家町内にも利用できる公共交通があればよい。高齢化が進んでおり買い物が不便。	女性	70 歳代	滑川東
時間が決まっている路線バスなどはなかなか自分のペースに合わない。自家用車だとちょっとの差でも運行できるので使いやすい。富山駅前のマルトが開店した当初はあいの風を利用してみたが祝日ということもあり車輛は少なく3歳の息子も座ることができず立たせていったので、かわいそうだと思ったので利用しにくいと思った。	女性	40 歳代	滑川東
自家用車とあいの風(必要な時)のみの移動手段のため、他はよくわからなかった。	女性	70 歳代	北加積
自宅の目の前にバス停があるのですが、乗降されているのは高齢者のみです。よってバスの待ち時間にばらつきが多くみられます。特に雨や雪の日のバス待ちは見ていてつらいです。そこで、提案としてバス停の上に3色ランプでの各種簡易案内と乗りますボタンの新設ができないものかと考えます。事例として乗りたいときにタイミングが読めず屋根下で待っていて、あたふたして乗り損なう寸前の危険な状況を目撃しているためです。例として、あと10分で来るので緑の点滅、3分で来るので青の点滅、乗りますボタンで赤の点滅などです。例として乗降後は自動又はドライバーによる消灯で対処できないかと考えます。	男性	60 歳代	西加積
自宅近くにバス停はあるが学校から帰宅時に利用したくても乗車バス停まで歩く必要がありとても不便である。	男性	10 歳代	早月加積

回答	性別	年齢	居住地
自宅付近を通過するバスが日に二本しか無く不便です。また、あいの風が駅での待ち時間が20分を超える日が週に何日もあり不便です。あいの風を降りた後に乗るバスとの接続も悪いです。また、中高生が冬場に親に送ってもらわなくても登下校できるようなダイヤでのバスの運行をして頂けたら嬉しいと思います。	女性	20歳代	中加積
自動運転車など、目新しいものが使えるようになると利用する人も増えるのでは?と思う。	男性	70歳代	北加積
自分で運転するのでよくわからない。	女性	40歳代	滑川西
自分はまだ元気なので先のことは分かりません。	女性	70歳代	中加積
自分は今は30代なので運転してますが高齢者の方などのことを考えたら地方なので「のる my car」は存続させた方が良いでしょう。	女性	30歳代	西加積
車イスでも乗れる車	男性	60歳代	西加積
車があるから利用しなかったのですがこの機会に駅へ行きたいときとか車が多く集まる市の行事とかの時利用すればよいですね。	女性	70歳代	浜加積
車の運転をしない方々にはとても便利だと思います。便利に続けてほしいです。	女性	50歳代	滑川西
車を運転できない人のために公共交通は便利に利用できる仕組み作りが大切だと思う。みんなが住みやすい環境を整備するために税金を使ってください。	女性	40歳代	浜加積
車両を小型化して、回れるところを増やすといいと思う。病院方面は大型でもいいと思うけど。	男性	50歳代	
週末とかは鉄道の終電に合わせた時間帯も必要かも。	男性	60歳代	浜加積
将来は免許返納したと思っていますが今の市内の交通手段だと大変不安です。バス電車は駅まで歩くのは大変。もっと短い距離での乗降や予約もしやすく通院や買い物に行ける乗り物があればいいと思います。(乗用車くらいでも)移動販売(日用品食料品)も定期的に来てくれると助かり住みやすい町になることを願っています。	女性	60歳代	中加積
将来マイカー利用ができなくなれば公共交通の利用をするため充実を望む。充実されれば自家用車が使えても使用したい。今は不便である。			
小・中・高の学校。学生が使いやすいと便利だなと思います。	女性	30歳代	北加積
小学校が減少した時、コミュニティバスも利用できるようにしてほしい。	女性	70歳代	滑川西
少子高齢化で人間の数が少なくなるし特に高齢化のために。地球温暖化で化石燃料の車で空気も汚れる。災害時の為にも公共交通は統制、管理しやすい(個々の勝手な行動を)本来ますます大事な役割を担うべきなのに難しいですね。がんばれ!	女性	60歳代	滑川西
少子高齢化の進展、自動車に頼る生活への要因で公共交通の利用者が増えない、したがって公共交通が困難になっている。行政や利用者などで公共交通の利用促進のための便利帳を作成してはどうか。	男性	70歳代	滑川西
障害者の方が利用しやすいシステムを作ってほしい。	男性	60歳代	北加積
乗車率が悪くてももう少し改善の余地があると思います。(一人か二人しか乗っていないときをよく見ますが)	男性	70歳代	早月加積
新興住宅の居住者も高齢化しているのでルート変更時には考慮してみたらどうでしょうか?	女性	60歳代	浜加積
身体が不自由になり運転ができなくなった場合他の集客に迷惑がかからないか不安。乗り降りに時間がかかるとか。乗りやすい車種にしてほしい。将来的に。	女性	60歳代	中加積

回答	性別	年齢	居住地
人口が少ないので回数を増やすのは難しいと思います。路線も限られているので遠回りをしていくので時間が思ったよりもかかると聞いています。でも自分も運転できなくなった時に無くなると困るので存続してほしいです。	女性	60 歳代	山加積
人口も少なく一人一台自家用車を持っているような地域で都会のように本数を増やすようなことは赤字の身で大変だと思います。今の「のる my car」は高齢者の足ともなっており、十分な運用がなされていると思います。鉄道も乗り遅れたら待てますよ。本当に今のままで感謝です。	男性	60 歳代	滑川東
正直「のる my car」には一度も乗ったことがありませんが、自分の老後を考えて必要なシステムだと思います。路線がもっと増えたらよいと思います。	女性	60 歳代	西加積
西加積駅(地鉄)を将来子供が高校生以上になったら利用すると思うのですが自転車置き場や駅自体を広くきれい明るい感じになれば安心して利用できるのに、と毎日横を通りながら思っています。地鉄については子供が電車に乗りたがっているので何回か乗ろうとしたのですが大人料金が高かったりいい時刻がなかったりで、5年以上子供たちと乗っていません。	女性	30 歳代	西加積
設問で3つまで○と最大3つまで○などの表現があるがいくつにつければよいか分かりにくい。内容よりも設問の作り方に工夫が必要では。	男性	60 歳代	浜加積
全国で使える交通 IC サービスを県内の公共交通機関でも使えるようにしたら良い。観光客の利用増加のための対策も考えるべき。	女性	20 歳代	浜加積
全体的に本数を増やして欲しい	男性	10 歳代	中加積
祖父母がのる mycar を利用しているが、行きは便利だが帰りのバス乗車時間がとても長く不便だと言っている。同じルートでも逆の回り方をしているバスがあればいいのにと常に思っている。	男性	20 歳代	滑川東
村部であるためコミュニティバスが無くなったら高齢者であるためやがて困ります。	女性	70 歳代	山加積
他市町村の真似以上に積極的に新しい取り組みを行ってほしい。 高齢者のことばかり考えないでほしい。 現時点で採算が取れないのであれば、無料にして、移住者向けのアピールにした方がプラスになるのでは？ 人口が増加する取り組みを行ってほしい。	男性	50 歳代	滑川西
待合場所にベンチや屋根があるのは、本当にありがたいと思います。村部では、免許を返納すると本当に困るので、公共交通が充実することは必須だと思います。	女性	70 歳代	早月加積
地域住民の相乗りタクシーが今後必要となると思う。まず区間地域を限定し試行してみたらどうか。高齢者の買い物支援が中心で○○地区公民館前⇄プラント3往復など、限定して始めてみたらどうか。	女性	60 歳代	西加積
地方鉄道の時間をもう少し7時台を増やしてほしい。(浜加積～富山方面行きのもの)7:15 ごろ滑川駅到着くらいのものであれば、冬電車で滑川駅まで行って、歩いて職場に行けるので。大雪の時は家から1時間かけて歩いていっているため。	女性	30 歳代	浜加積
中学生や高校の下校時間に合わせたバスがあると利用者が増えると思います。実際私が中学生の時、雪の為「のる my car」を利用していたのですが、待ち時間が長かったりバス停が雪で埋まっていたり本数が少ないと不便に思うこともありました。冬だけでも本数を増やしたらよいと思います。	女性	10 歳代	中加積

回答	性別	年齢	居住地
中学生や高校生などの学生が気軽に乗れるようになるといいなと思いました。また、利用方法など分かりやすく知りたいです。(中学生の時に下校時、大雪の時に乗ろうとバス停で待っていたのに停まってもらえなかった。)	女性	10歳代	滑川東
朝(登校時間)夕(下校時間)帯とスクールバスとして活用とかできないのでしょうか?	女性	50歳代	西加積
朝の時間だけでも、便数を増やせば、学生の利用が増える。山間地に住んでいるが、時間が合わないため、利用していない。時間が合えば、もっと利用したい。バスの大きさが、利用者の数に合っていない。ハイエース位で十分である。	男性	40歳代	早月加積
朝の通勤時間に運行があると利便性が向上するのではないのでしょうか?18時台に走らせると通勤帰りや学生さんが乗るのでは?小森行きが遅くなるので良かったことがありました(富山に日中飲みに行った帰りなど)	男性	40歳代	西加積
朝夕の通学時間帯に小学生中学生も利用できるようダイヤ、コースを考えてみてはどうか。割安の定期導入も加えて。	男性	60歳代	早月加積
町内にも高齢者のお宅が増えていきそうなので公共交通を見直していくことは必要と思います。便利になると免許証の返納も考えて危険な運転も減っていくのではないのでしょうか。	女性	60歳代	東加積
低料金で目的地に行くことができればもっと利用すると思う。	男性	60歳代	浜加積
鉄道駅や公共施設、商業施設はほぼ海側に集中しているので、利用促進はコミュニティバスの利便性次第だと思います。 バスの現在の運行時間帯等は、日中が中心ですし、定期券のないコミュニティバス利用は通勤手当対象外の会社もあるようです。 車運転者が高齢になり体力が落ちてから、免許返納して、今まで乗ったことのないバスを利用する事には抵抗があるようです。 若いうちから幅広い世代で利用して馴染んでおく対策が必要かと思います。 また、地元ドラッグストアやスーパーで午前中にネット注文した商品をバスに乗せて届けるサービス等があれば、便利だと思います。	女性	50歳代	早月加積
天候の悪い時、特に冬場は待合施設のない野ざらしのバス停で待つ身は辛い。外出を控えるかタクシーを利用するのではないか。	女性	70歳代	北加積
天候の良くない日(雨風など)にできるだけしのげる停留所があればよいと思います。	男性	70歳代	中加積
電動自転車、車いすが乗せられればありがたい。(別料金を払ってでも)(前部バス後部トラックの車両があればよいのだが)	男性	80歳以上	山加積
都市のように10分~15分間隔での公共交通の運行を望みます。また、あいの風富山鉄道は天候に左右されやすいので主要な線路をすべて鉄骨で覆ってほしい。	女性	10歳代	西加積
冬の雪のある時にはやはりバスに乗って移動できると良いと思っています(みのわの周辺などですが)宮窪団地ですが、バスが通っていないと思う。	女性	80歳以上	北加積
冬期間自転車での通学が困難であり朝夕のバス時間の増便は可能であれば嬉しいです。	女性	60歳代	山加積
冬場、中学校へ行く際にバスを利用していたが雪がひどいとバスがなかなか来なくて随分と待ったりバスが運行していない日があった。来るのか来ないのか分かりづらい。	男性	10歳代	山加積
特にありません。	女性	10歳代	中加積
特にありません。	男性	20歳代	西加積

回答	性別	年齢	居住地
特にありません。	男性	50 歳代	西加積
特にありません。	男性	60 歳代	滑川西
特にありません。	男性	70 歳代	山加積
特にありませんが、自家用車を持たない方の便利な移動方法として稼働し続けてくださることを願っています。	女性	30 歳代	中加積
特にない。	男性	60 歳代	滑川西
特になし、現状で良いと思う。	男性	70 歳代	西加積
特になし。	女性	10 歳代	西加積
特になし。	男性	10 歳代	山加積
特になし。	女性	60 歳代	北加積
特になし。	男性	60 歳代	北加積
特になし。	女性	70 歳代	滑川東
特になし。	男性	70 歳代	滑川西
特になし。	男性	70 歳代	西加積
特になし。	男性	80 歳以上	浜加積
特になし。現在利用したことがないので内容が分かりません。	男性	60 歳代	早月加積
日常生活の移動手段は今のところ自家用車使用の為正確な回答はできませんでした。	女性	60 歳代	浜加積
日々の本数が少なく、希望する時間帯に行くことができない。	女性	70 歳代	早月加積
年を取ると必要かなと思う。半年年寄りになると面倒なことはできない、やらないので簡単な仕組みが必要です。	男性	60 歳代	西加積
買い物、通院など利用することもあると思うが荷物の持ち運びに最も近くの乗り降りできるハブバス停に興味を持ちました。(商業施設に隣接はとてうれしいと思う。)	男性	70 歳代	滑川東
買い物や通院の足として公共交通を利用せざるを得ない人が増えていくと思う。市民全体で費用をサポートするという考えに立って公共交通機関の利便性を充実させてほしい。	男性	60 歳代	山加積
買い物をするとすると、荷物が多くなるためその目的での公共交通利用はしにくい。	女性	30 歳代	北加積
買い物通院公共施設などの利用指定日、時の運行と IT 化。	男性	70 歳代	西加積
費用がかかっても市バスを続けていくべきと思います。	男性	60 歳代	北加積
富山県民は自家用車がどうしても必要となる地域だと思う。公共交通の必要な方は学生や運転のできなくなった方々かと思います。その方々が利用しやすい仕組みを考えてほしい。また利用者にはメリットがないとなかなか利用者を増やせないのではないか。	女性	60 歳代	早月加積
普段考えたことがないので考えがまとまっていません。今は自家用車を使っていますが運転できなくなったら電動車イスを使いたいと思います。その可動範囲内で生活します。	男性	70 歳代	北加積
母が高齢なので公共交通をよく利用させてもらっています。乗り換えなしで目的地に行けるようになれば嬉しいです。	女性	70 歳代	浜加積

回答	性別	年齢	居住地
防犯の充実性、悪用の予防策設定。	男性	80歳以上	早月加積
北部循環ルートは魚津水族館で魚津とつながるが、富山市、上市町とどこかで接続していればよいと思う。	男性	60歳代	早月加積
本数が増えれば利用促進につながるのでは？	男性	70歳代	西加積
本数の増加が必要では？	女性	60歳代	滑川東
本数を増やす。早朝深夜の運行。	男性	50歳代	北加積
毎日自家用車を使っているので現在「のる my car」を使っていません。このアンケートは免許返納期が来なければ利便性を書けません。申し訳ありません。	女性	60歳代	早月加積
無駄な質問(費用の無駄)	男性	70歳代	西加積
免許返納後は利用していく予定です。ぜひ改善を！	女性	60歳代	東加積
目的地に行く直通の公共交通がない(商業施設)	男性	60歳代	西加積
目的地に比較的近いところに住んでいる人は循環ルートは遠回りになり使いづらい。ハブ方式やデマンドタクシーなどの整備を希望します。	女性	60歳代	
問11のような公共交通だと地域住民のつながりもできて良いと思います。ただし、運転手の方はご高齢じゃない方がいいと思います。	女性	40歳代	北加積
問5で書いたように、現在4本の時間帯です(市内循環ルート)6本にしていただければよいと思っています。	男性	80歳以上	滑川西
問6、入力しないと確認画面に進めなかったので親の意見を聞いて選択しました。	女性	10歳代	西加積
約10年前にはコミュニティバスを利用していました。(10年以上乗っていました)その時はあいの風とやま鉄道・富山地方鉄道と連絡本数が少なく不便さを感じていました。上小泉プラント3前～滑川駅(小森線)を歩いて帰ったり、迎えに来てもらったりしていました。	男性	70歳代	西加積
予約もいいと思いますがもし私が年を取ったら滑川市で買い物補助をしてくださるとうれいですね。無駄に市にお金を使わず町内に声をかけて滑川市全体を助け合えば良いと思いますよ！	女性	60歳代	早月加積
利便性を考えて自家用車を持っているので、移動手段の無い方の意見を聞いたほうが良い。	男性	60歳代	早月加積
利用される時間帯を調べて、利便性を上げるようにしてほしい！！	男性	60歳代	西加積
利用したい気持ちはあるのですが行きたいところがありません。近所は自転車で行ってます。	女性	60歳代	浜加積
利用者の多いデマンドの方が利用しやすいと思う。路線の通っていない方々も利用しやすい。今日の2000人だけでなくもっとたくさん(市民33千人)意見を聞いた方がよい。市外などの成功事例参考するなど。	男性	60歳代	西加積
利用人数の少ない時間帯は今より小型の車を使用したらどうでしょうか？	男性	60歳代	中加積
料金の部分や人手の部分など難しいところもありますが地域の移動手段の大切な足として、少しずつ現実的に、声を形にしていってほしいと思います。公共交通についてのPR活動も力を入れて発信していくのはどうか(関心を高めるためにいいのではないか)と思いました。	女性	30歳代	浜加積
隣接する上市町、魚津市の施設(病院、スーパー、役場)等へ行き易くするルート、時間等を調整して利便性を高めて欲しい。	男性	60歳代	滑川東

回答	性別	年齢	居住地
例えば、滑川駅、エール、市民交流プラザ、図書館など行くのに遠回りしていく必要があるのか、例えば小学校別、田中校下、西部校下とかにしてバスが通ってほしいです。	女性	70 歳代	西加積
老人にも優しくわかりやすい方法があると良いと思う。	男性	10 歳代	早月加積

■利用者アンケート

1) 調査概要

① 調査時期

・令和4年（2022年）9月26日（月）、10月4日（火）、10月6日（木）及び10月7日（金）の4日間

② 調査方法

・コミュニティバスの車内へ乗り込み、利用者にアンケート調査票を基に直接聴き取り調査を行った。

③ 設問項目及び設問意図

※移動中の回答となるため、市民アンケート調査より設問数を厳選した

調査項目	設問内容の概要	設問意図及び計画における分析の視点
問0.利用機関、乗車便等	・ 利用機関、便、乗車・降車・停留所、利用券種	・ 以後の設問における、乗車機関・路線・便や、個人属性ごとのクロス集計分析等に活用
問1. 個人属性	・ 郵便番号／性別／年齢／職業	
問2. 移動の概要	・ 移動目的 ・ 移動先	・ 移動目的(通勤通学、私的利用等)の把握 ・ 目的地の把握(市外含む)
問3. 移動時間	・ 出発・帰宅時間 ・ 出発・帰宅時の移動手段が同一か	・ 現在の運行時間が需要に合っているか確認(特に帰り便が使われているか。)
問4. 乗換移動	・ バス・タクシー・送迎←→鉄道 といった乗り継ぎ移動の把握	・ 乗り継ぎ利用が多い場合、駅前整備やダイヤ接続といった施策を重点的に実施
	(問2、3、4と併せて、顕移動需要も把握し、公共交通網の検討に活用)	
問5. 公共交通の利用頻度	・ 日常の公共交通の利用頻度(平日・土曜・日曜祝日別)	・ 機関別(問0で把握可能)の利用頻度の把握 ・ ヘビーユーザー・ライトユーザーの把握及びこれによる他設問におけるクロス集計に活用
問6. 「自由乗降」の試験運用について	・ 認知度及び利用状況 ・ 使わない理由	・ 認知度、利用状況、使わない理由を分析し、本格運用に向けて課題・改善点を把握
問7. 乗継に対する考え	・ 乗継に対する考え	・ 乗継が発生する場合に許容できる条件の把握
問8. オンデマンド方式の運行に対する考え	・ オンデマンド方式の運行に対する考え	・ 「のる my car」のあり方について、新たな方式(オンデマンド、住民による輸送)に対する考え(受容度合)を把握
問9. 自由意見	・ その他公共交通に対する自由意見	・ 上記設問内では当てはまらない要望等の把握

2) 調査結果

① 回収状況

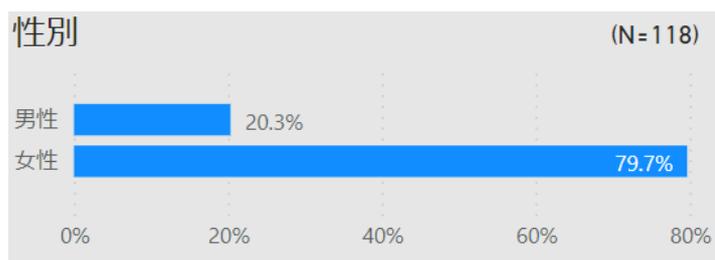
- 全体で 122 通（無効票・重複回答除く）の回答があった。
- ルート別にみると、各ルート 10 票以上程度は回収されている。

路線等	回答数
1. 菟輪ルート	13
2. 大日室山ルート	20
3. 小森ルート	19
4. 栗山ルート	17
5. 市街地循環ルート	10
6. 北部循環ルート	14
7. 寺町ルート	22
未回答・不明	7
総計	122

② 個人属性

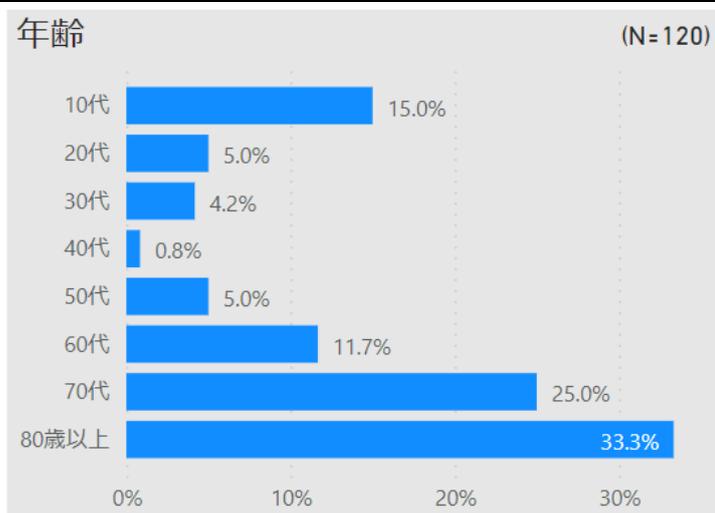
(ア) 性別

- 「女性」が 79.7%、「男性」が 20.3%となっている。



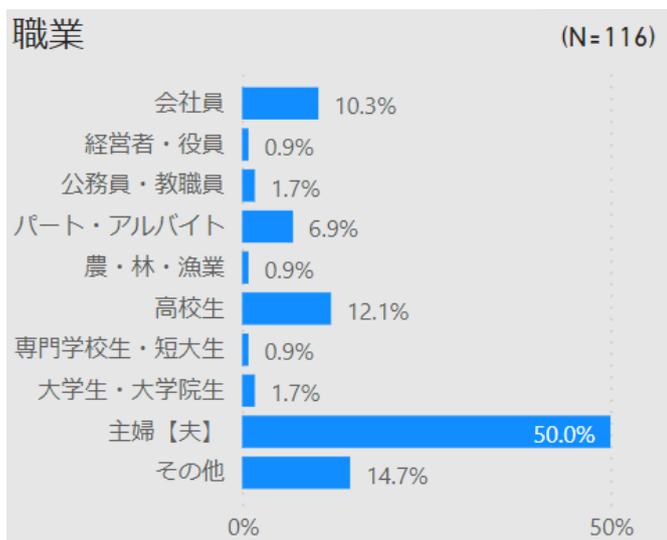
(イ) 年齢

- 「80歳以上」が 33.3%で最も多く、次いで「70代」が 25.0%、「10代」が 15.0%となっている。
- 70歳以上の高齢者（特に女性）及び10代の生徒学生が大きな利用者層となっていると考えられる。



(ウ) 職業

- 「主婦【夫】」が50.0%で最も多く、次いで「高校生」が12.1%、「会社員」が10.3%となっている。



【その他回答】

付帯記述	回答数
▲ 高齢者介護	1
中学生	2
無職	11
合計	14

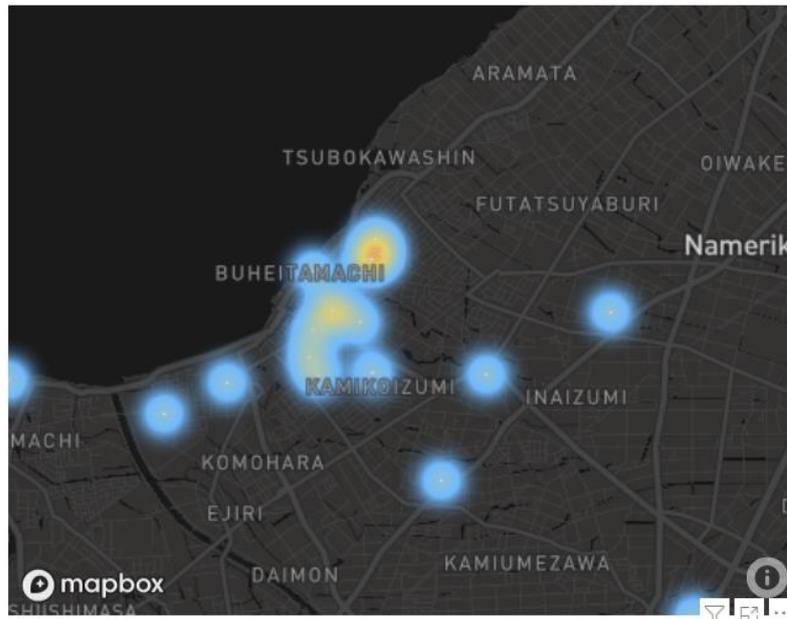
(エ) 居住地

- 「北加積」が21名(19.3%)で最も多く、次いで「西加積」が20名(18.3%)、「早月加積」が17名(15.6%)となっている。

区域区分	1. 糞輪ルート	2. 大日室山ルート	3. 小森ルート	4. 栗山ルート	5. 市街地循環ルート	6. 北部循環ルート	7. 寺町ルート	合計
滑川西			2		5		1	8
滑川東				1	2	2		5
山加積		1	3					4
西加積	1	2	4	1	1		11	20
早月加積		1		8		6	2	17
中加積			6				6	12
東加積	2	10					1	13
浜加積	1			4		4		9
北加積	9	5	3	3		1		21
合計	13	19	18	17	8	13	21	109

(オ) 主な行き先

- 「滑川ショッピングセンター エール」が32件で最も多く、次いで「厚生連 滑川病院」が11件、「滑川市民交流プラザ／あいらぶ湯」が8件、「富山県立滑川高等学校」が5件となっている。
→買い物、通院、娯楽・入浴及び通学が主な利用目的となっていることが考えられる。



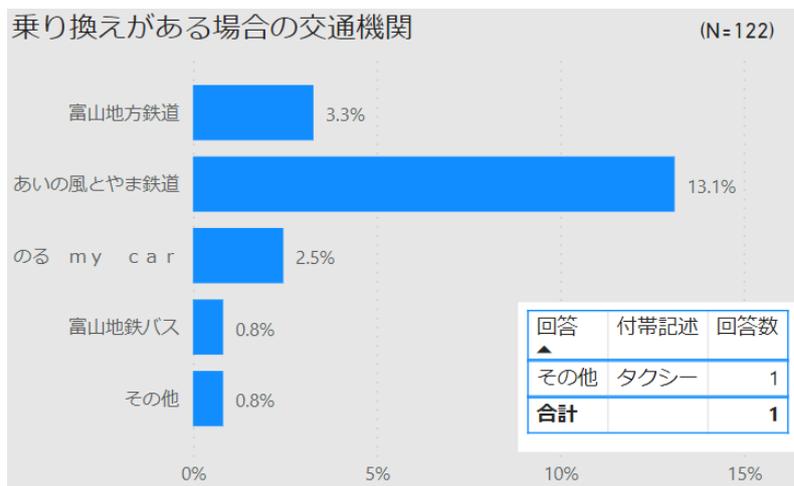
【主な行き先（上位8位）】

施設名	回答数
滑川ショッピングセンターエール	32
厚生連 滑川病院	11
滑川市民交流プラザ／あいらぶ湯	8
富山県立滑川高等学校	5
水橋町	4
PLANT-3 滑川店	3
(株)ロキテクノ北陸事業所 ヒエダ製造部	2
パスタ	2
やまざき歯科	2
滑川市役所	2
東福寺野自然公園	2

③ 公共交通利用状況

(ア) 乗り換えがある場合の利用交通機関

- 「あいの風とやま鉄道」に乗り換えするとの回答が13.1%と最も多く、次いで「富山地方鉄道」が3.3%、「のる my car」が2.5%となっている。
→鉄道線への乗り継ぎが一定数みられることから、引き続きコミュニティバスを鉄道にダイヤ接続することは重要と考えられる。

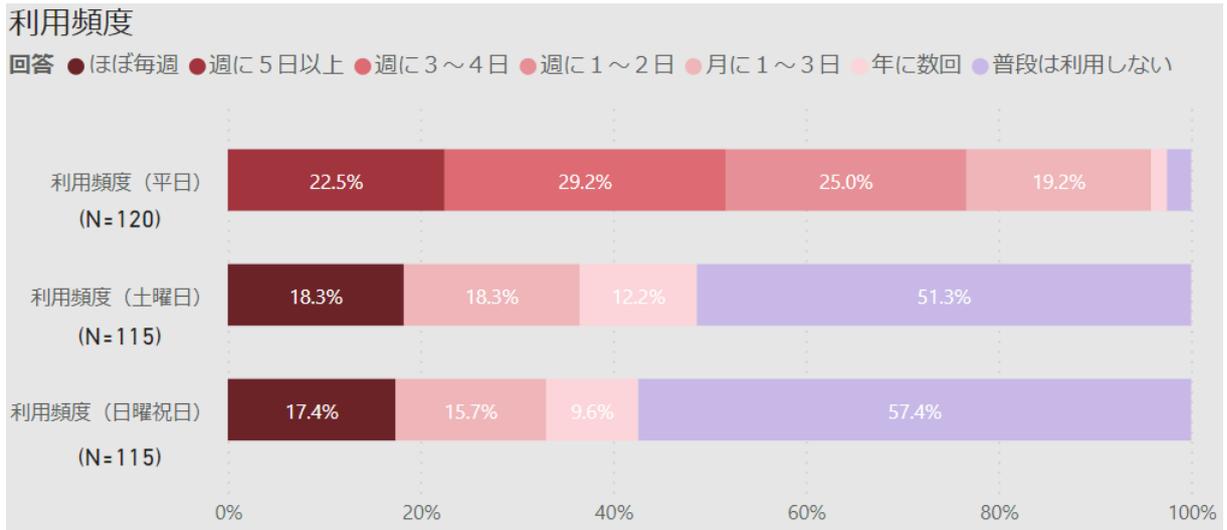


【乗り換え駅名】

回答	回答数
▲	
☐ あいの風とやま鉄道	16
滑川駅	1
滑川駅⇒金沢駅及びJR	1
滑川駅⇒水橋駅	3
滑川駅⇒富山駅	8
滑川駅⇒富山駅,富山地铁路面電車富山駅⇒大学前	1
滑川駅⇒富山駅,富山地铁路面電車富山駅⇒堀川小泉	1
滑川駅⇒富山 駅? 及び地铁電車富山駅⇒小杉駅	1
☐ のる my car	1
北部線 バス停 エール前⇒笠木	1
☐ 富山地铁バス	1
吾妻町⇒水橋	1
☐ 富山地方鉄道	4
滑川⇒越中荏原	1
滑川⇒経田	1
電車中滑川駅⇒越中荏原駅	1
電車中滑川駅⇒富山駅	1
合計	22

(イ) 普段の利用頻度（曜日別）

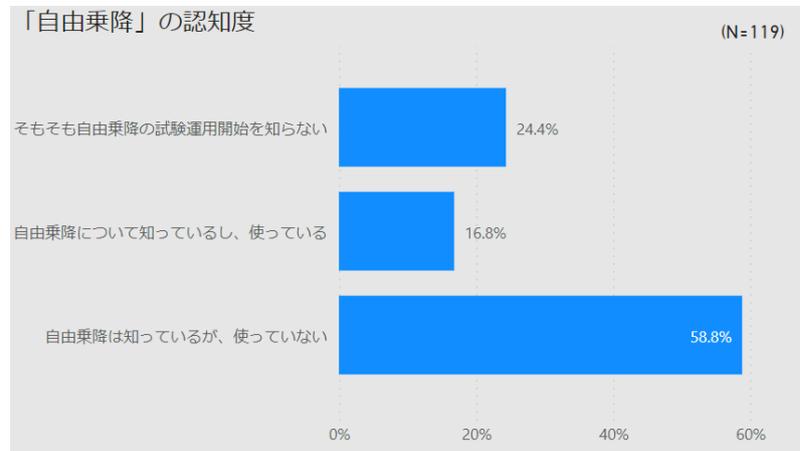
- 平日では「週に3～4日」が29.2%で最も多く、次いで「週に1～2日」が25.0%、「月に1～3日」が22.5%となっている。
 - 土曜日・日曜祝日では「普段は利用しない」が5割以上を占める。
- 週に3日以上利用するヘビーユーザーの方が半数ほど、週に1日以上まで含めれば75%ほどを占めており、定期的にご利用する固定利用者層が多いといえる。



④ 「のる my car」の運行について

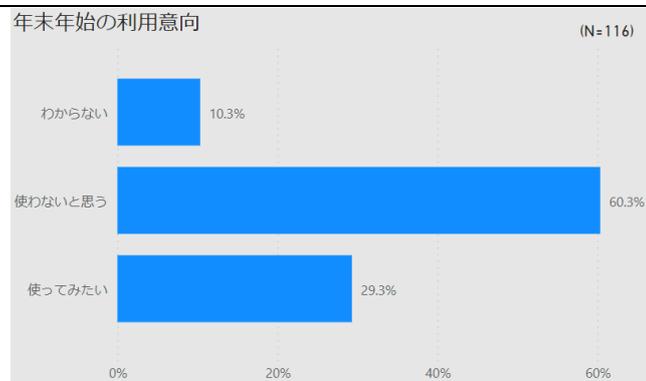
(ア) 「自由乗降」の試験運用の認知度

- 「自由乗降は知っているが、使っていない」が58.8%で最も多く、次いで「そもそも自由乗降の試験運用開始を知らない」が24.4%、「自由乗降について知っているし、使っている」が16.8%となっている。



(イ) 年末年始に運行した場合の利用意向

- 「使わないと思う」が60.3%で最も多く、次いで「使ってみたい」が29.3%、「わからない」が10.3%となっている。



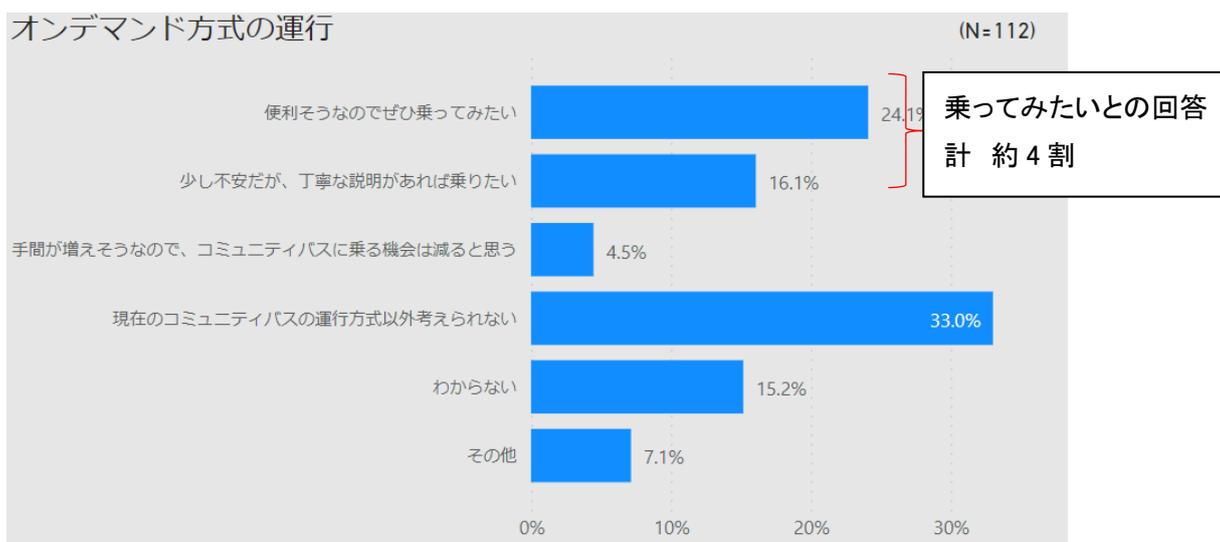
【想定する行先（施設名）】

回答	回答数
<input type="checkbox"/> 使ってみたい	21
エール	5
買い物	4
街へ買物	2
買物	2
あいらぶ湯	1
エール、あいらぶ湯	1
エール・市民交流プラザ	1
駅	1
駅？	1
大浦鮮魚店	1
買物、風呂	1
富山大学勤務先	1
合計	21

⑤ 新たな運行方法について

(ア) オンデマンド形式が導入される場合の感想

- 「現在のコミュニティバスの運行方式以外考えられない」が33.0%で最も多く、次いで「便利そうなのでぜひ乗ってみたい」が24.1%、「少し不安だが、丁寧な説明があれば乗りたい」が16.1%となっている。
- 「便利そうなのでぜひ乗ってみたい」及び「少し不安だが、丁寧な説明があれば乗りたい」をあわせた、「乗ってみたい」との回答は約4割となっている。

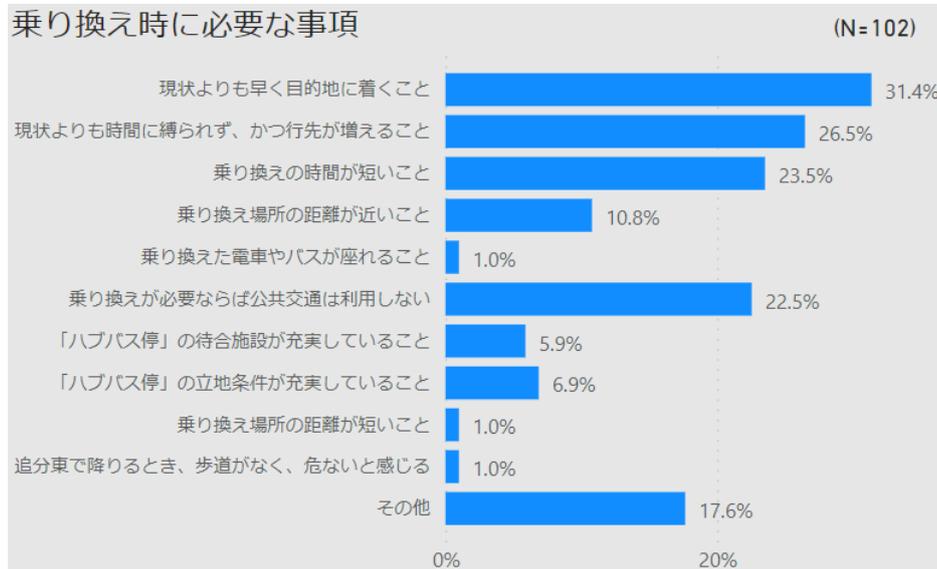


【その他回答】

付帯記述	回答数
あまり使わないと思う	1
スマートフォンを使えないので利用しない	1
タクシーを呼ぶからいいです。	1
今で十分	1
乗らないと思う	1
孫の登下校に運行するバスがあれば	1
他の市からくると使いづらそう	1
本数が増えれば良い。	1
合計	8

(イ) 乗り換えが必要になった場合でも利用してみたい公共交通にするために必要な事項

- 「現状よりも早く目的地に着くこと」が31.4%で最も多く、次いで「現状よりも時間に縛られず、かつ先行が増えること」が26.5%、「乗り換えの時間が短いこと」が23.5%となっている。



【その他回答】

付帯記述	回答数
コンビニ・スーパー・ショッピングモールなどの商業施設に隣接している	7
ベンチ・屋根・トイレ・公衆無線LAN・充電ポートなどが整備されている	6
わからない	2
いつも決まったところしか行かないので、そうしたことが必要でない。	1
バスの便数をもっと多ければ良い。	1
現状のままが良い。	1
行動にあった運行になればよい。	1
今のところ、特に無し。	1
使い方が分かりやすければ使いたい	1
乗り換えが増えたとしても今まで通り利用したい。	1
乗り換えが必要になるのはちょっと.....	1
乗り換えは不便だ。	1
乗り換える必要がないため特に無し	1
乗り替え発生は考えたくない	1
体が不自由になったら使うと思う	1
目的地から次のバスまでの待ち時間が短いこと本数を増やして欲しい。	1
料金が安いこと	1
合計	28

3) 公共交通に対する意見・要望

- 「運行本数を増やしてほしい」という意見が多くなっている。

区域区分	回答	性別	年齢
北加積	バス待ちの時間が長い。	女性	80歳以上
北加積	駅前線路を超えるのが手間。駅周辺の山側でも乗り降りできるようにしてほしい健康の森から東福寺に行けない。	女性	70代
北加積	回数券100円を維持して欲しい。便利で良い。	女性	70代
北加積	自由乗降の範囲、旧国道8号まで	男性	50代
北加積	乗り換えの時間が短いこと	男性	20代
北加積	連絡手段、乗車時間、予約した後、キャンセルできるか不安、みのわショートカットしてほしい。	女性	60代
浜加積	※天候が悪い日のみの利用	女性	10代
浜加積	みのわ温泉から、例えば滑川駅まで行っの「ハブバス化」	女性	80歳以上
浜加積	回数を増やしてほしい。	女性	80歳以上
東加積	もっと本数を増やしてほしい。行きたいところまで時間がかかる。	女性	80歳以上
東加積	現行の運行に満足している。ありがたく使わせていただいている。	女性	70代
東加積	特になし	女性	10代
中加積	バスの本数を増やして欲しい	女性	10代
中加積	子どもが中学生になった時、冬季間中にバスを利用させたいが、始業・就業時間に間に合うようなバスの時間があると便利だと思う。	女性	30代
中加積	小森便にもう少し本数があれば良い。帰り	女性	70代
早月加積	バスの席がせまく、乗りづらい	女性	80歳以上
早月加積	バス運転手に自由乗降場所を伝えたとこ、冷たく「乗車時に言ってください」と伝えられた。冬場の暖房が強すぎるときがある。もっとサービス業として気遣いをするべき!!	女性	70代
早月加積	みのわ温泉への接続		80歳以上
早月加積	乗り換えせずに色々な目的地に行けると助かる	女性	80歳以上
早月加積	地鉄電車は土日の時刻表が異なるため、のるmycarの時刻表もそれに対応したものだありがたい。	男性	30代
早月加積	土日、ルートが混むことがある	女性	30代
早月加積	北部循環ルート第1便と第2便の間にもう1便あると便利	女性	60代
西加積	※冬季は良く乗る。夏はあまり	女性	10代
西加積	もっと海側を回る便が増えてほしい	女性	70代
西加積	高齢のため、今のままでお願いします。	女性	80歳以上
西加積	実家が本江なので、デマンド方式は、本江の地域の方の意見が大事	女性	60代
西加積	車両内で両替できれば良い	女性	10代
西加積	循環ルートに逆コースがあれば良い。	女性	80歳以上
西加積	助かっている	女性	70代
西加積	晴天時は自転車通勤。便を増やして欲しい	女性	20代
西加積	地鉄バスの時刻表やバス停についての情報がほしい。	女性	60代
西加積	電車の時間に合わせて欲しい、朝5時台に滑川駅前に着くのが無い。	男性	50代
滑川東	東部小 川へ落ちそうになる。	女性	70代
滑川西	クスリのアオキあたりにバス停をつくってほしい	女性	80歳以上
滑川西	スマホを使いこなせないかも。不衛生な人が乗ってくるが、あまり乗ってほしくない。	女性	70代
滑川西	今のところ要望は特にない。車を持っていないので、「のる my car」があって助かっている。	女性	70代
滑川西	年末年始の運行を強く要望したい。	女性	70代
	東福寺野ではイベントが多くある。もっとアクセス数があっても良い。イベント時は無料シャトルバスがあっても良いのでは？	男性	50代

■コミュニティバス乗降調査

1) 調査概要

① 調査方法

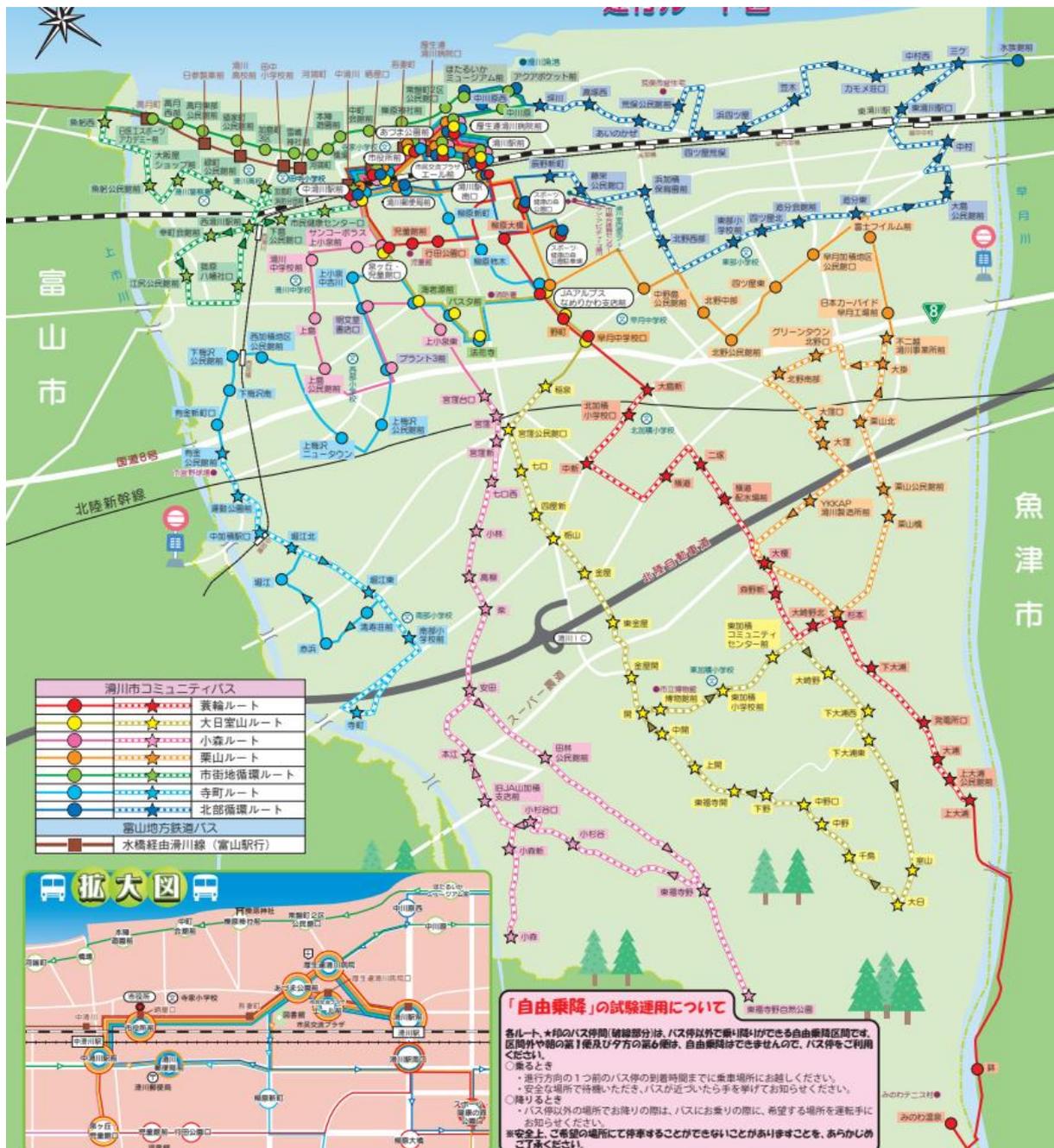
・コミュニティバスの運転士の目視により、便別・バス停別の乗降者数を毎日記録するもの。

② 集計期間

平成 29 年度（2017 年度）～令和 3 年度（2021 年度）

（平成 29 年（2017 年）4 月 1 日～令和 4 年（2022 年）3 月 31 日）

【コミュニティバス路線図】

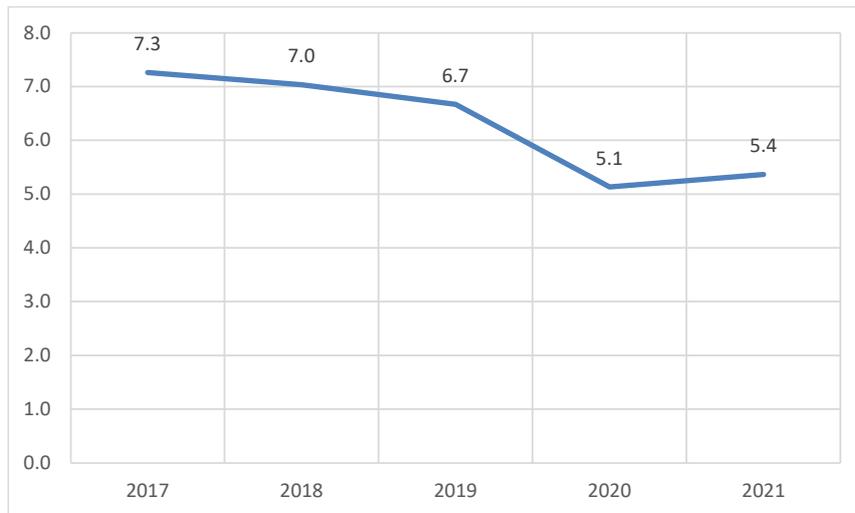


2) 集計・分析結果

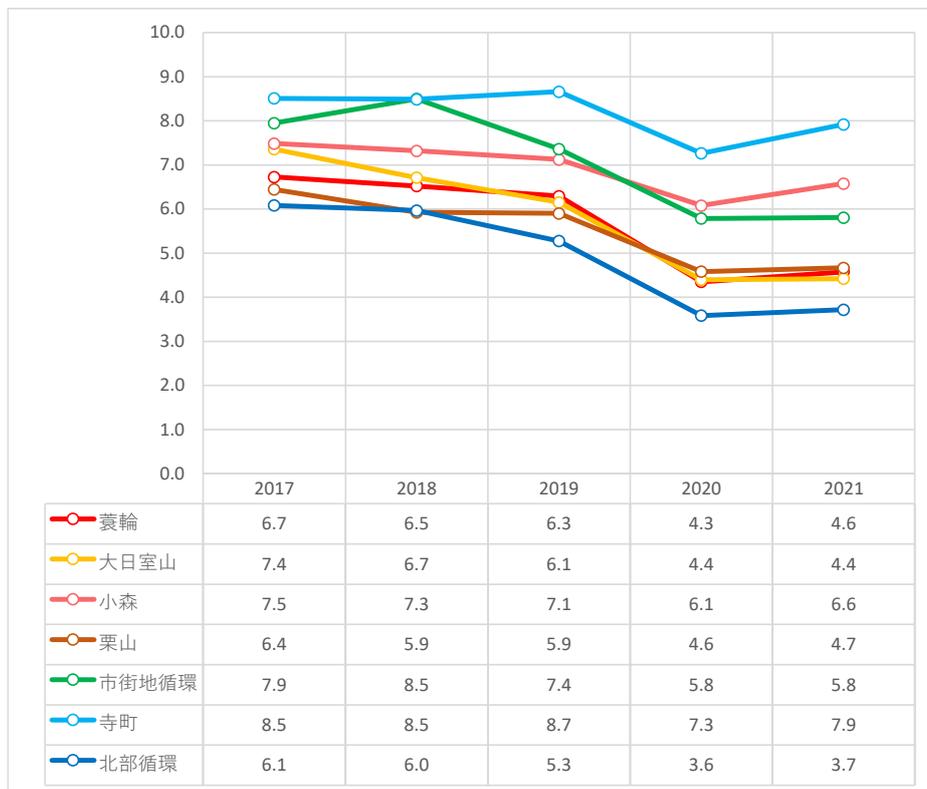
① 便平均利用者数の経年変化

- 平成 29 年度（2017 年度）から令和 3 年度（2021 年度）までの 5 年間の路線全体の推移をみると、減少傾向が続いており、新型コロナウイルス感染症拡大による、外出自粛等により、令和 2 年度（2020 年度）には、大きく落ち込んでいるが、令和 3 年度（2021 年度）にはわずかに回復傾向が見られる。
- 路線別にみると、直近の令和 3 年度（2021 年度）では寺町、小森、市街地循環で便平均利用者数が多く、これらの路線は他の路線よりも強い回復傾向が見られる。

(ア) 路線全体



(イ) 路線別



②最新値（令和3年度（2021年度））に対する詳細分析

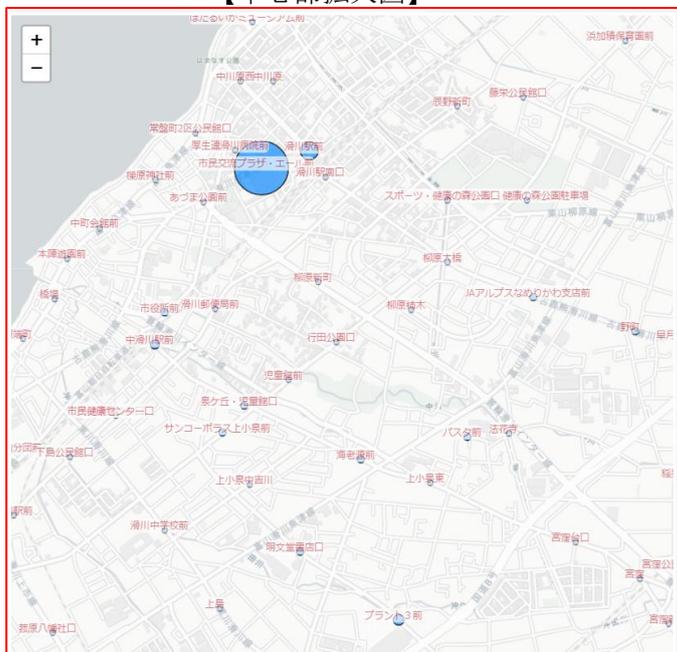
（ウ） バス停別の利用者数

- 市民交流プラザ・エール、滑川駅前といった、多くの路線が停車する市中心部の停留所の利用が多い。
- 市中心部からやや離れるが、プラント3の利用も多い。また、温浴施設であるみのわ温泉の利用も多くみられる。

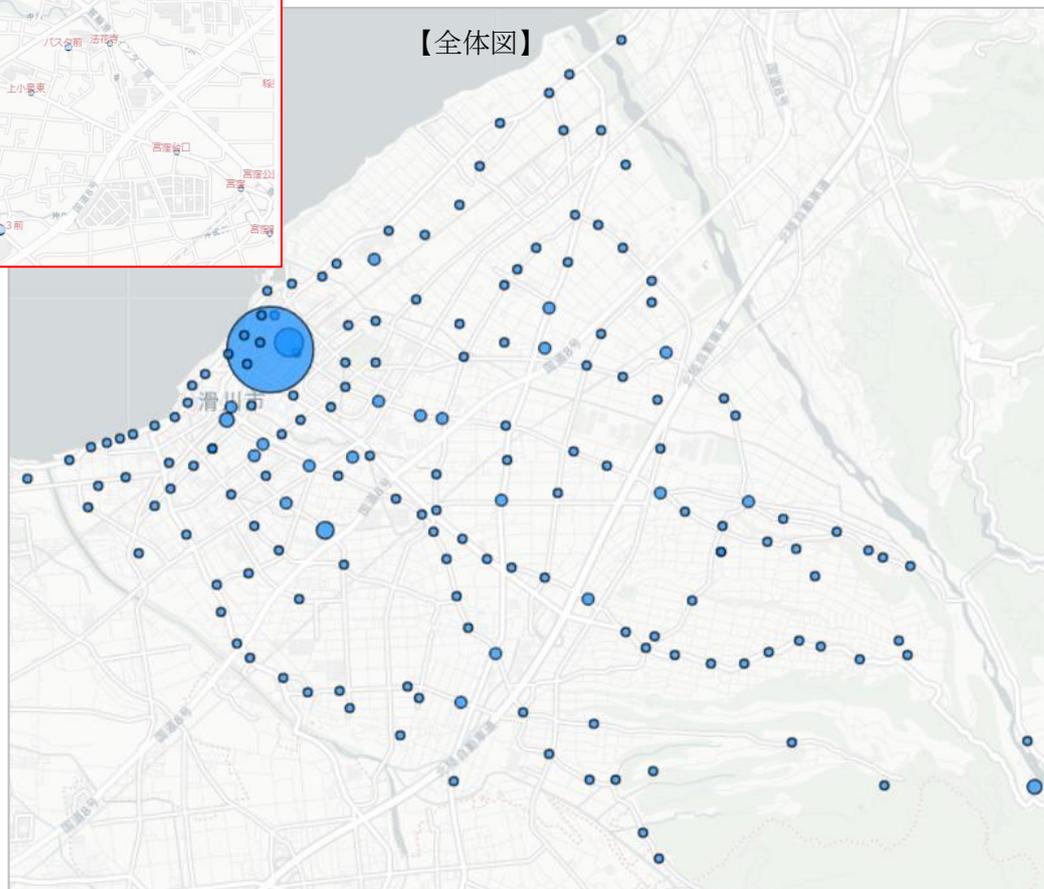
【バス停別利用上位 20】

停留所名	年計		日平均	
	乗車	降車	乗車	降車
1 市民交流プラザ・エール前	19,600	13,077	53.7	35.8
2 滑川駅前	5,374	2,833	14.7	7.8
3 プラント3前	2,139	2,270	5.9	6.2
4 中滑川駅前	1,390	1,756	3.8	4.8
5 明文堂書店口	1,103	1,398	3.0	3.8
6 みのわ温泉	1,041	964	2.9	2.6
7 泉ヶ丘・児童館口	1,018	789	2.8	2.2
8 南部小学校前	1,001	1,007	2.7	2.8
9 サンコーボラス上小泉前	885	1,181	2.4	3.2
10 バスタ前	812	878	2.2	2.4
11 JAアルプスなめりかわ支店前	743	1,138	2.0	3.1
12 市役所前	736	2,102	2.0	5.8
13 栗山北	718	297	2.0	0.8
14 柴	686	569	1.9	1.6
15 杉本	650	737	1.8	2.0
16 北野公民館前	643	477	1.8	1.3
17 大榎	585	884	1.6	2.4
18 加島町3区	551	1,451	1.5	4.0
19 野町	531	503	1.5	1.4
20 滑川郵便局前	505	585	1.4	1.6

【中心部拡大図】



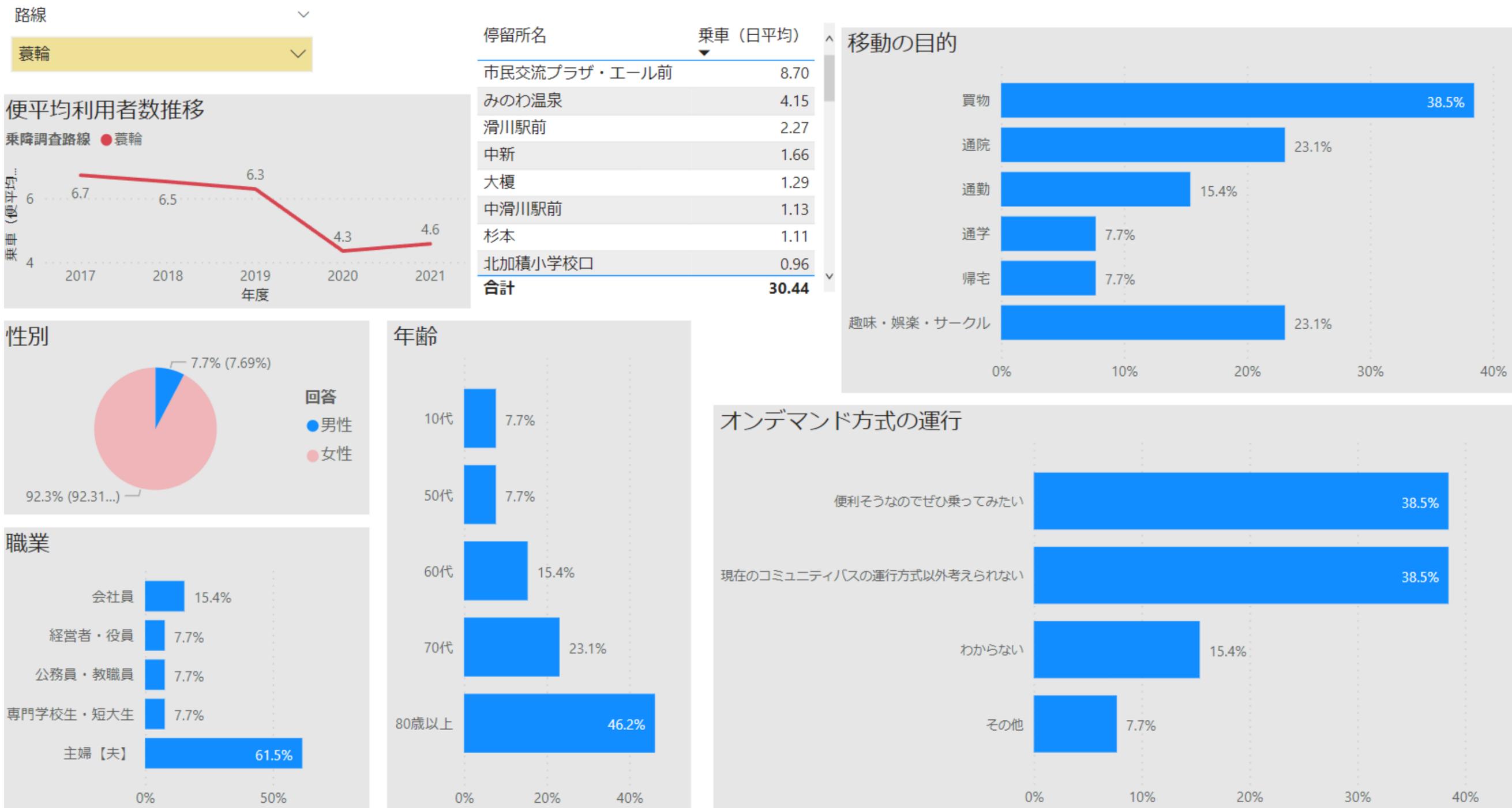
【全体図】



■路線別カルテ

※利用者アンケート及び乗降調査の結果から路線別の主な集計結果を抜粋したものです

<p>【現況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1便あたりの利用者数は平成29年度（2017年度）には6.7人/便だったものが、令和3年度（2021年度）には4.6人/便まで落ち込んでいる。 ・市民交流プラザ・エール前の利用が多いほか、みのわ温泉の利用も多い。 ・80歳以上の利用が46.2%と、利用者層は非常に高齢の方が多くなっている。 ・買物目的が38.5%と最も多い。 	<p>【課題】</p> <p>→利用者が減少しておりかつ高齢化していることから、需要の維持・回復のためには、前期高齢者等の新規需要の獲得が必要。</p>
--	---



【現況】

- ・1便あたりの利用者数は平成29年度（2017年度）には7.4人/便だったものが、令和3年度（2021年度）には4.4人/便まで落ち込んでいる。
- ・市民交流プラザ・エール前の利用が多い。
- ・80歳以上の利用が45.0%と、利用者層は高齢の方が多くなっている。また、10歳代の利用も25.0%みられる。
- ・買物目的が35.0%と最も多く、次いで通学目的（25.0%）の利用も多い。

【課題】

→利用者が減少しておりかつ高齢化していることから、需要の維持・回復のためには、前期高齢者等の新規需要の獲得が必要。

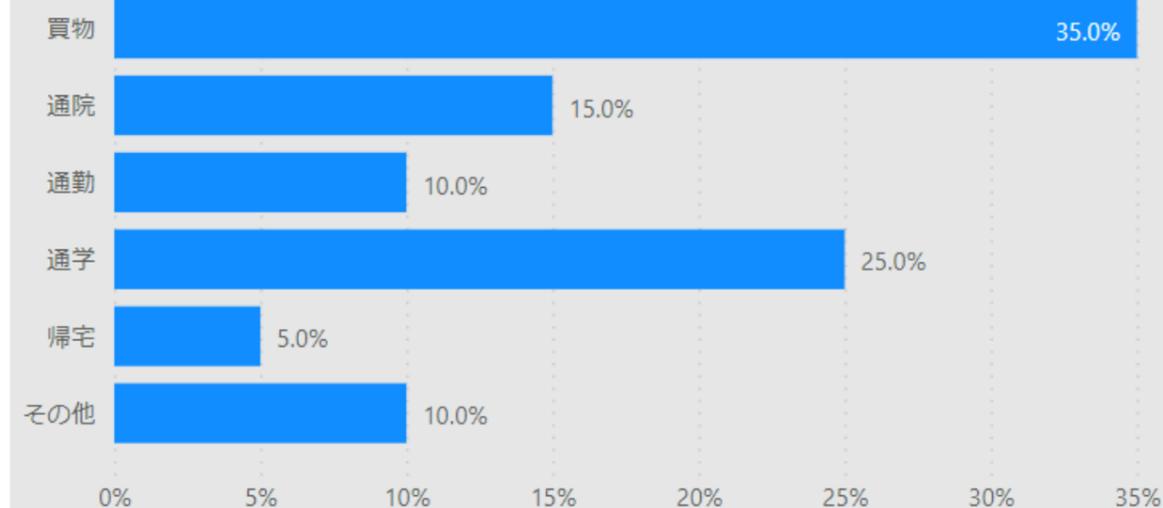
路線

大日室山

停留所名 乗車（日平均）

市民交流プラザ・エール前	9.60
滑川駅前	1.74
パスタ前	1.70
東金屋	1.46
中滑川駅前	1.41
泉ヶ丘・児童館口	1.34
金屋	1.10
東加積小学校前	1.01
合計	31.05

移動の目的

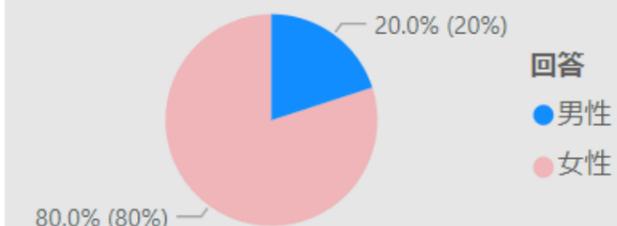


便平均利用者数推移

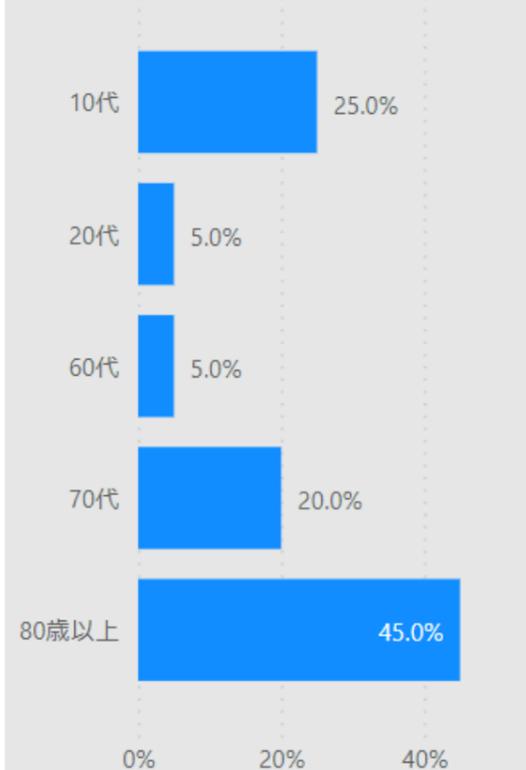
乗降調査路線 ● 大日室山



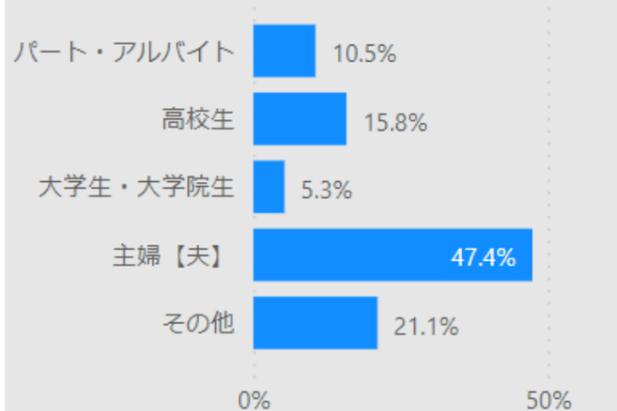
性別



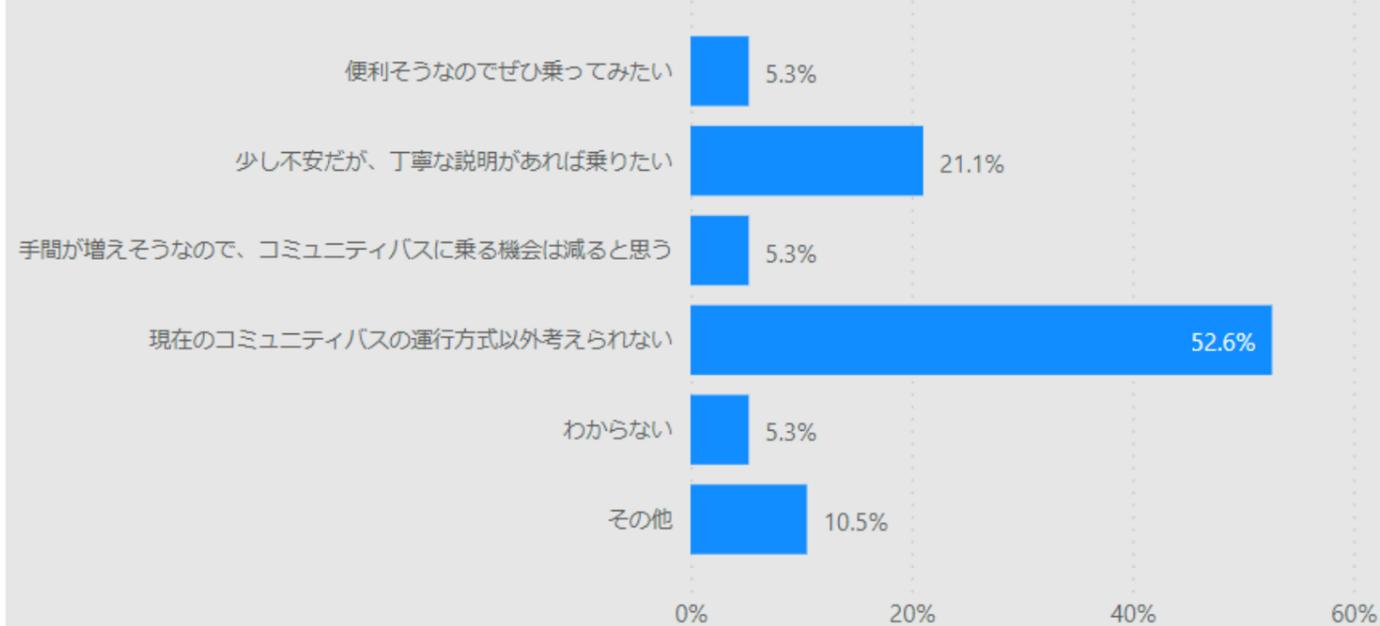
年齢



職業



オンデマンド方式の運行



【現況】

- ・1便あたりの利用者数は平成29年度（2017年度）には7.5人/便だったものが、令和2年度（2020年度）には、6.1人/便まで落ち込んだが、その後令和3年度（2021年度）には6.6人/便まで回復している。
- ・市民交流プラザ・エール前の利用が多いほか。プラント3前の利用も多い。
- ・70歳代・80歳代以上の利用が63.2%と多いが、10歳代の利用も15.8%みられる。
- ・買物目的が26.3%と最も多いが、通勤（15.8%）及び通学（15.8%）目的の利用も多い。

【課題】

→利用者は比較的維持している傾向にあり、かつ現行の運行体制の維持のニーズが高いため、当面は、現在の運行を続けつつ利用の拡大を図っていく必要がある。

路線

小森

便平均利用者数推移

乗降調査路線 ●小森

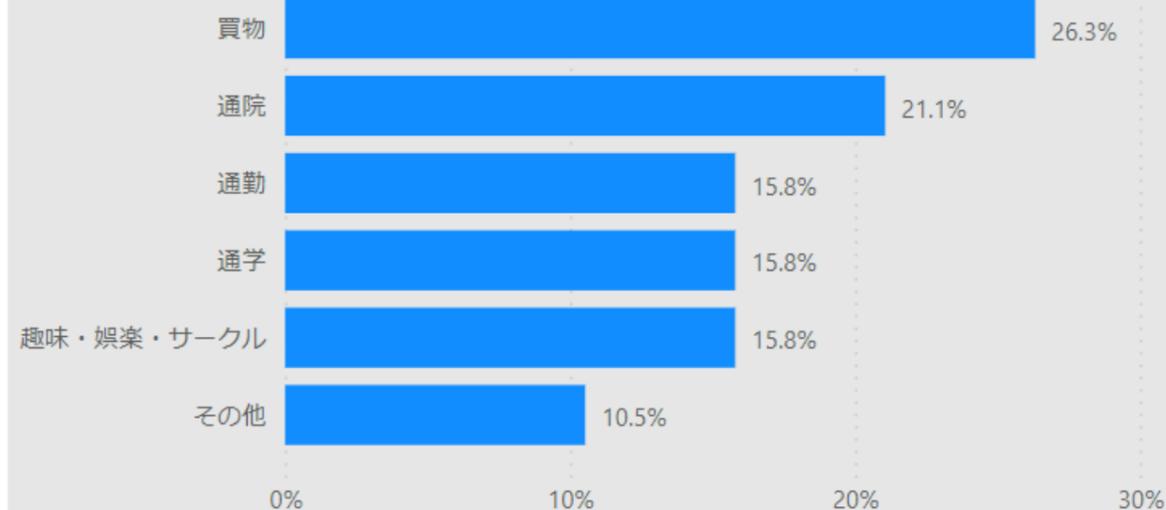


停留所名

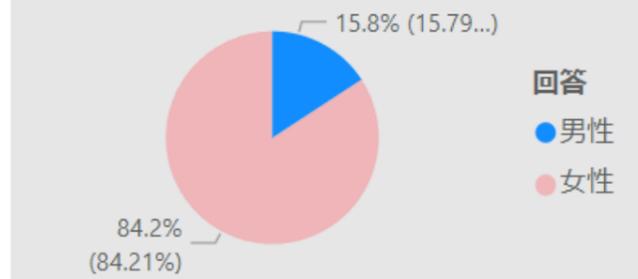
乗車（日平均）

市民交流プラザ・エール前	10.92
プラント3前	3.56
滑川駅前	3.41
サンコーポラス上小泉前	2.23
柴	1.45
明文堂書店口	1.44
中滑川駅前	1.15
本江	1.00
合計	36.99

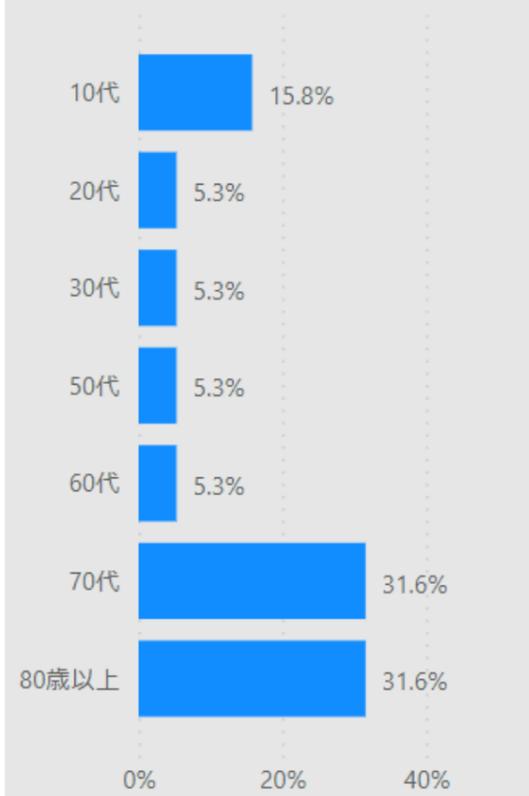
移動の目的



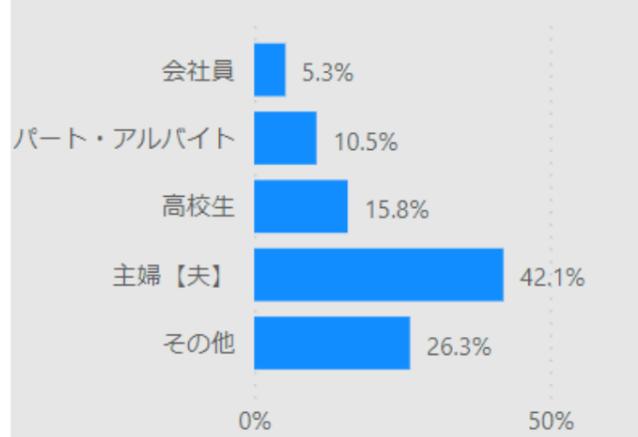
性別



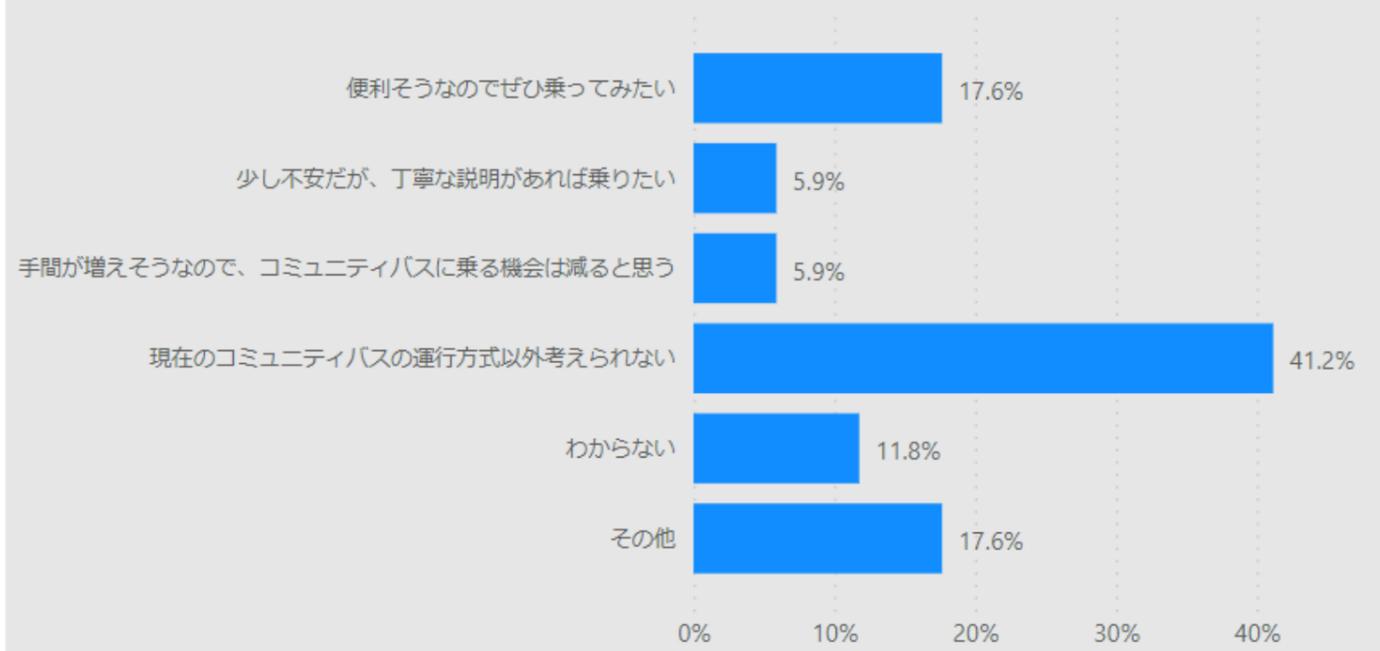
年齢



職業



オンデマンド方式の運行



【現況】

- ・1便あたりの利用者数は平成29年度（2017年度）には6.4人/便だったものが、令和3年度（2021年度）には4.7人/便まで落ち込んでいる。
- ・市民交流プラザ・エール前の利用が多い。
- ・10歳代の利用が29.4%と最も多い。次いで80歳以上の利用が23.5%となっている。
- ・買物目的が29.4%、通勤目的が29.4%で並び、通学目的（17.6%）も多い。

【課題】

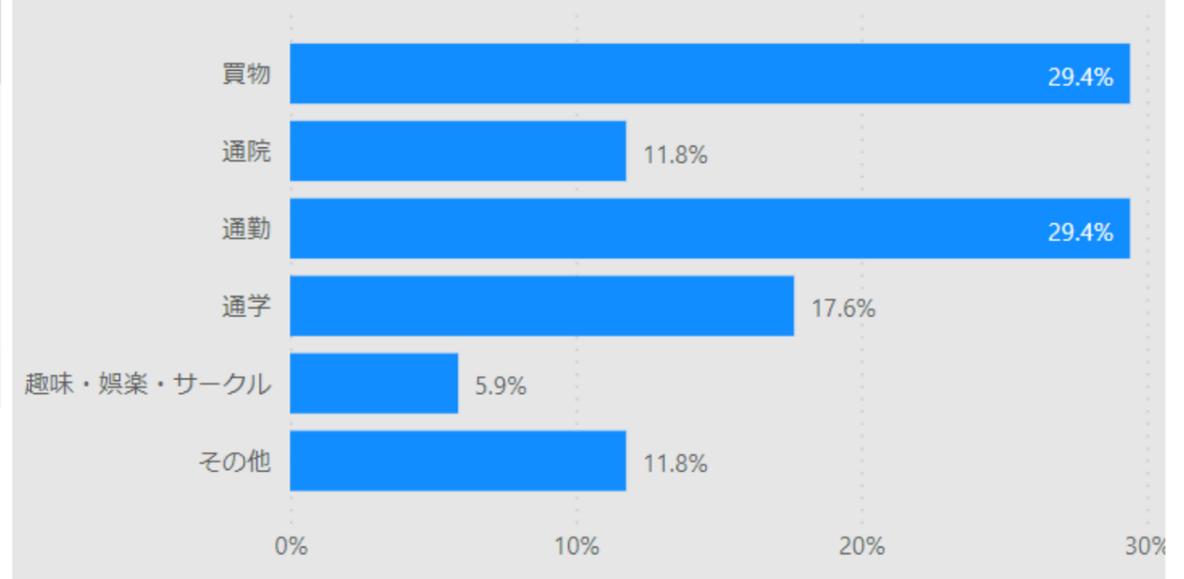
→利用者が減少している。利用者層としては比較的若年の利用が多く、通勤・通学時の利便性の確保が必要。

路線 ▼

栗山 ▼

停留所名	乗車（日平均）
市民交流プラザ・エール前	9.71
滑川駅前	3.07
北野公民館前	2.16
四ツ屋東	1.90
杉本	1.43
栗山北	1.42
北野中部	0.84
富士フィルム前	0.82
合計	29.43

移動の目的

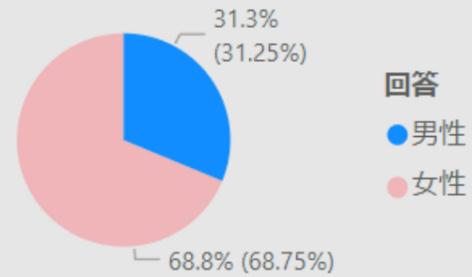


便平均利用者数推移

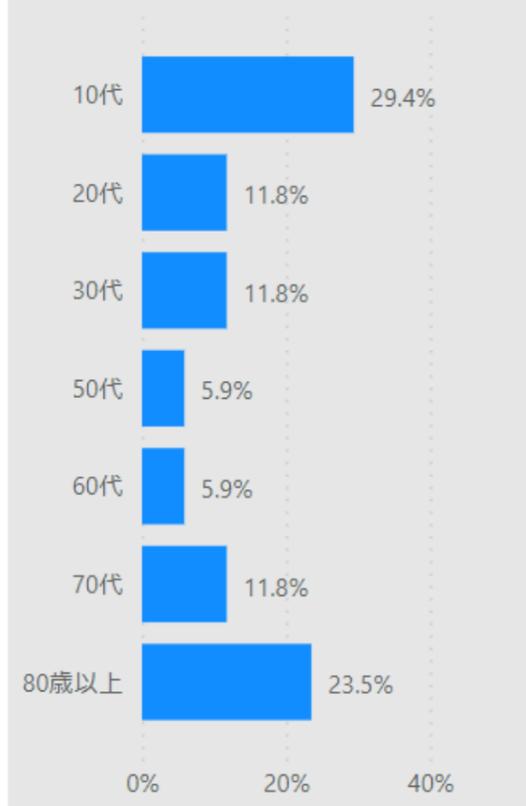
乗降調査路線 ● 栗山



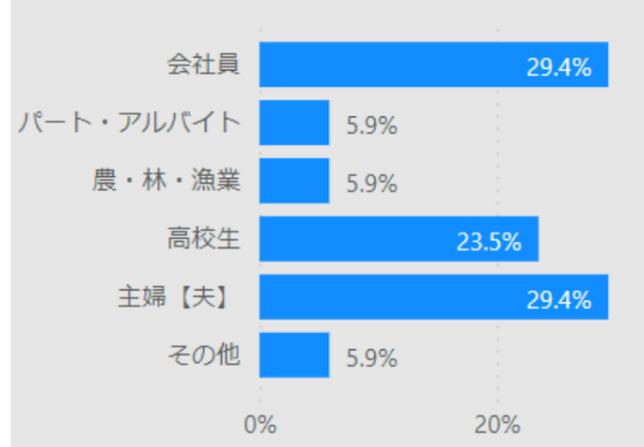
性別



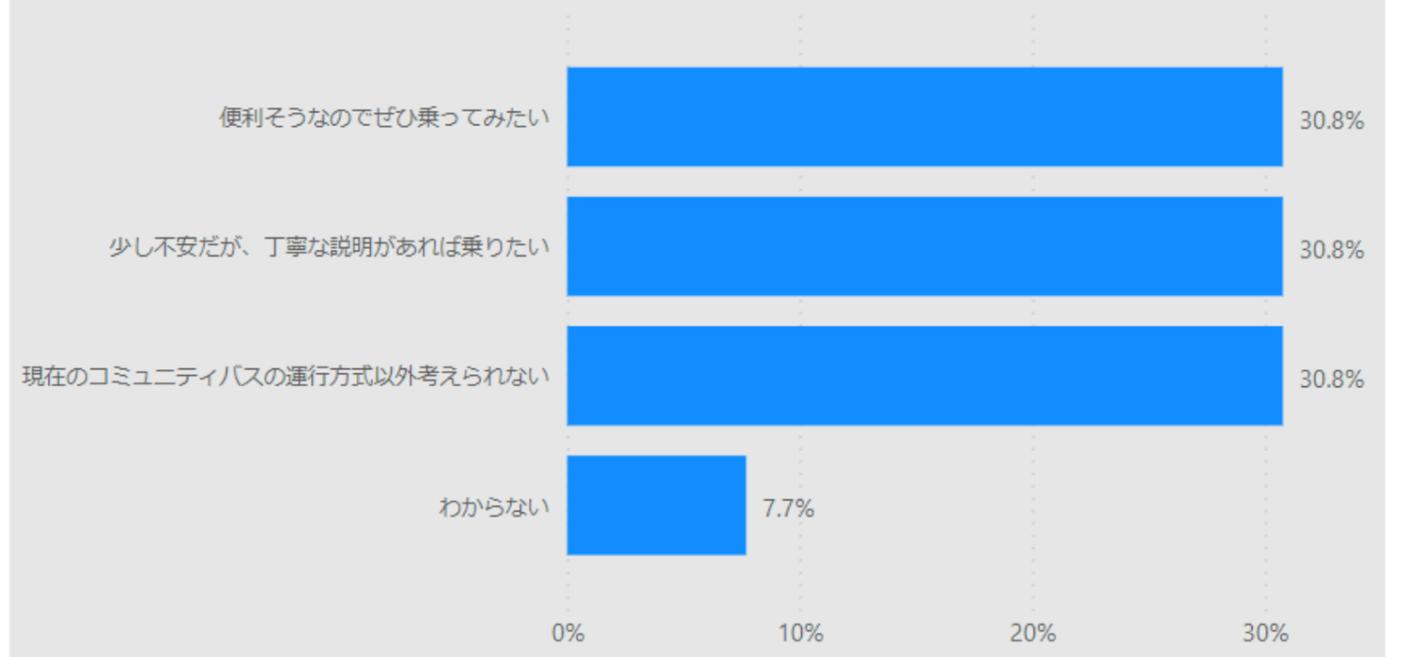
年齢



職業



オンデマンド方式の運行



【現況】

- ・1便あたりの利用者数は平成29年度（2017年度）には7.9人/便だったものが、令和3年度（2021年度）には5.8人/便まで落ち込んでいる。
- ・市民交流プラザ・エール前の利用が多い。
- ・80歳以上の利用が60.0%と、利用者層は高齢の方が多くなっている。
- ・買物目的が70.0%と最も多い。

【課題】

→利用者が減少しておりかつ高齢化していることから、需要の維持・回復のためには、前期高齢者等の新規需要の獲得が必要。なお、オンデマンド方式の意向は低く、現行の運行体制の維持のニーズが高い。

路線 ▼

市街地循環 ▼

便平均利用者数推移

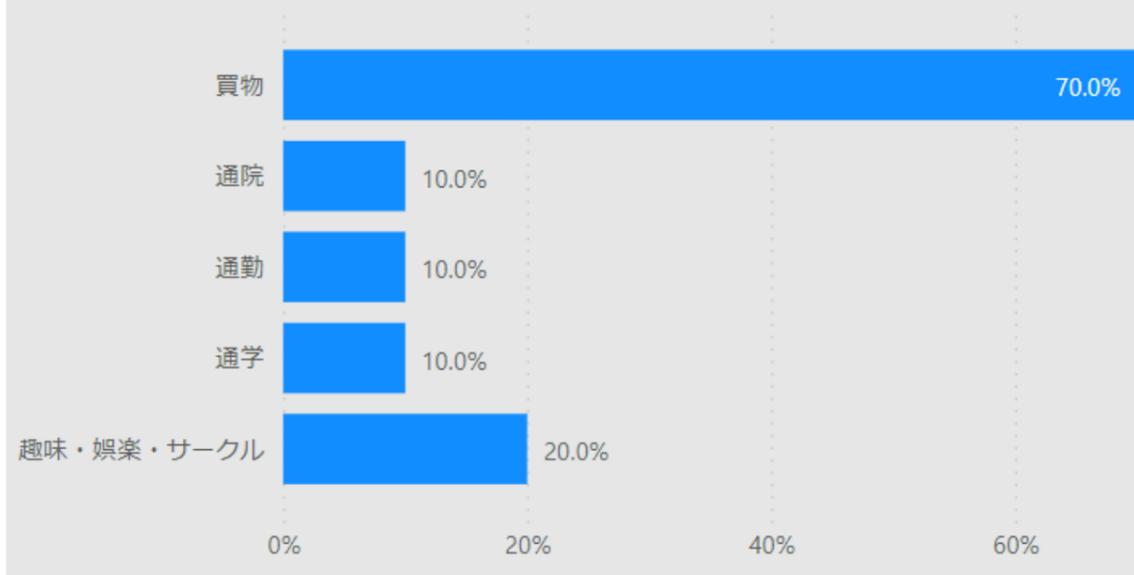
乗降調査路線 ● 市街地循環



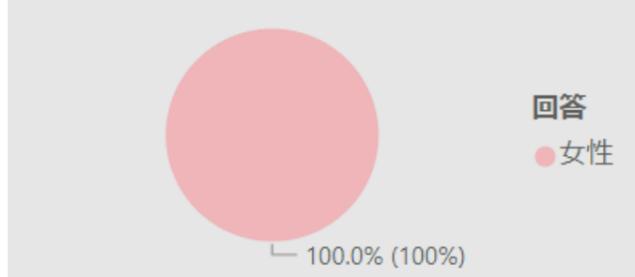
停留所名 乗車（日平均）

市民交流プラザ・エール前	9.91
滑川駅前	3.51
緑町公民館前	1.13
加島町3区	1.12
橋場	1.06
幸町会館前	0.96
西滑川駅前	0.90
加島町消防分団前	0.84
合計	26.01

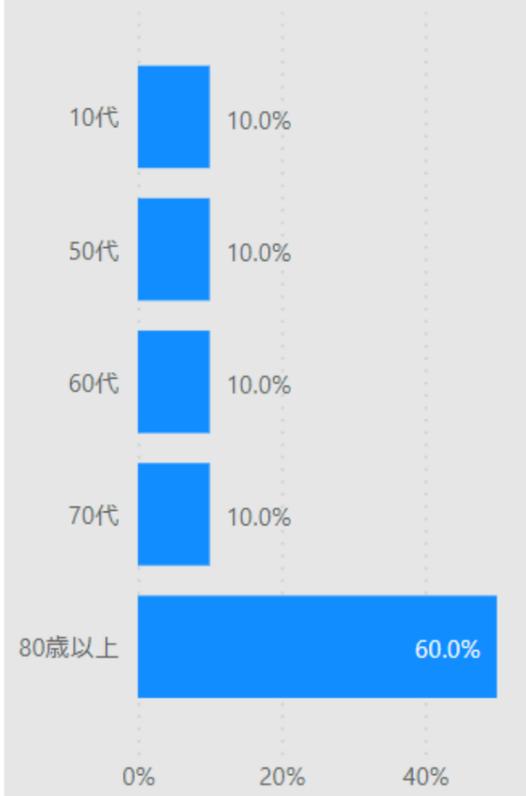
移動の目的



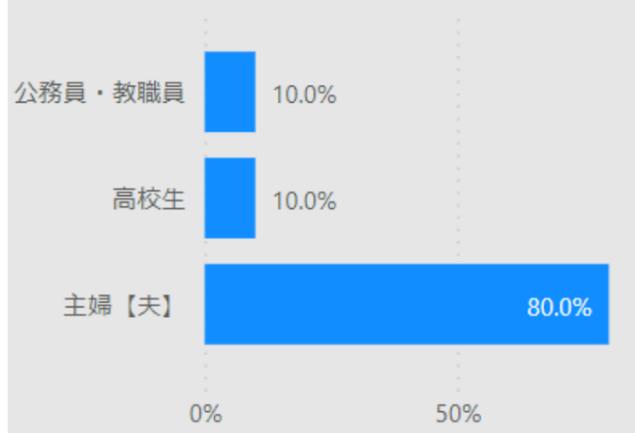
性別



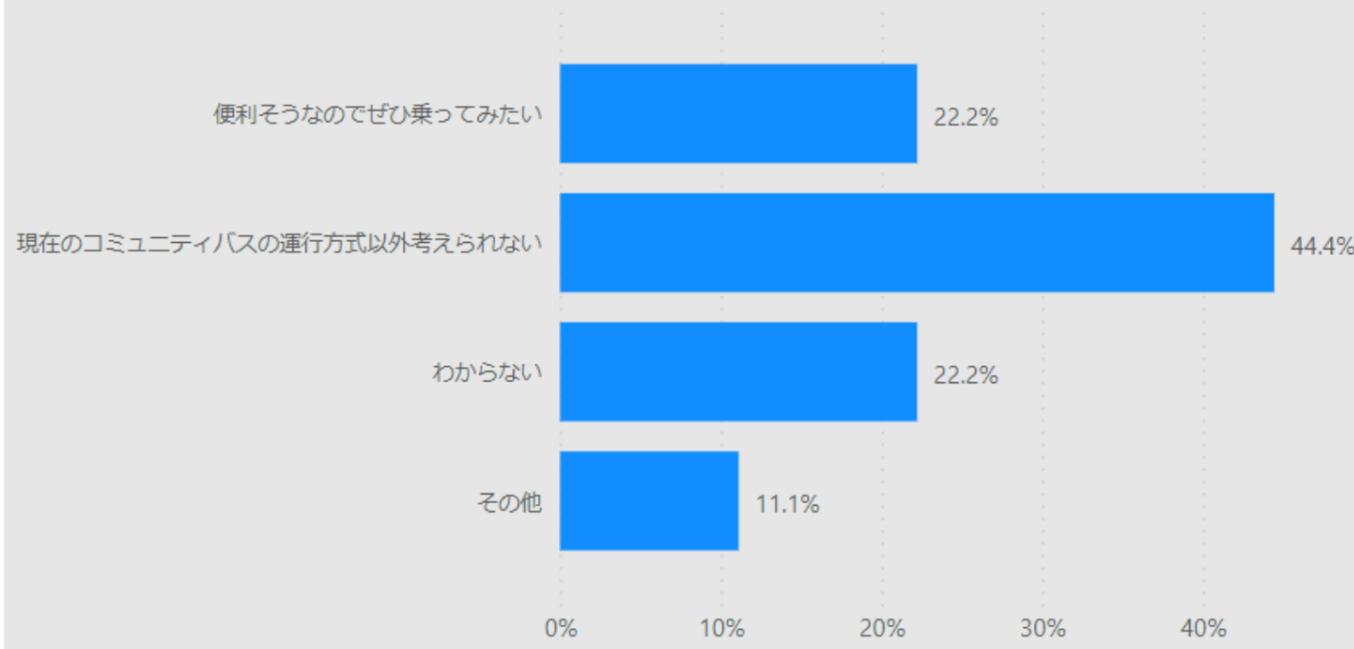
年齢



職業



オンデマンド方式の運行



【現況】

- ・1便あたりの利用者数は平成29年度（2017年度）には8.5人/便だったものが、令和2年度（2020年度）には7.3人/便まで落ち込んだが、その後令和3年度（2021年度）には7.9人/便まで回復している。
- ・市民交流プラザ・エール前の利用が多い。
- ・70歳代の利用が28.6%と多いが、比較的それ以外の年代の利用も見られる。
- ・買物目的が31.8%、趣味・娯楽・サークル等目的が31.8%で並んでいる。

【課題】

→利用者は比較的維持している傾向にある。また、ルート近辺は近年、転入増による若年人口も多いことから、若年層の利用拡大に向けた通勤・通学時の利便性の確保が必要。

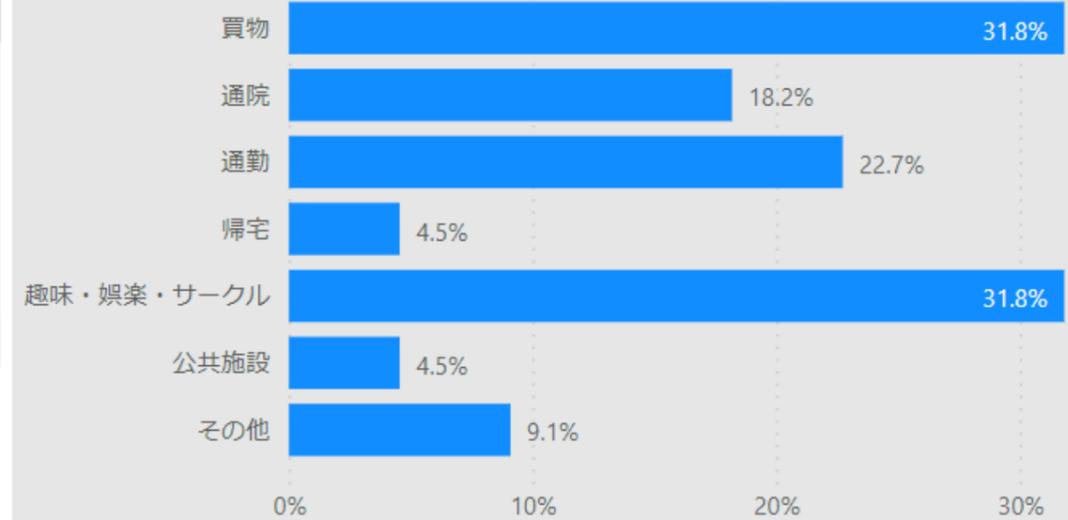
路線 ▼

寺町 ▼

停留所名 ▼ 乗車（日平均） ▲

市民交流プラザ・エール前	9.27
プラント3前	2.85
滑川駅前	2.58
南部小学校前	2.00
明文堂書店口	1.42
パスタ前	1.05
上梅沢ニュータウン	0.82
上小泉中吉川	0.80
合計	30.01

移動の目的

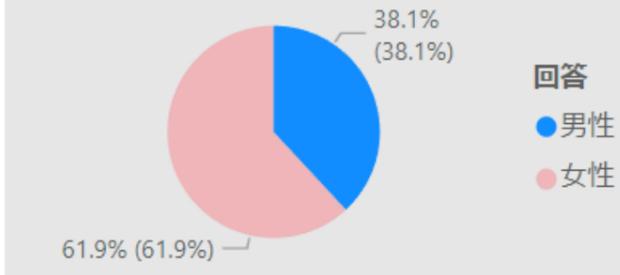


便平均利用者数推移

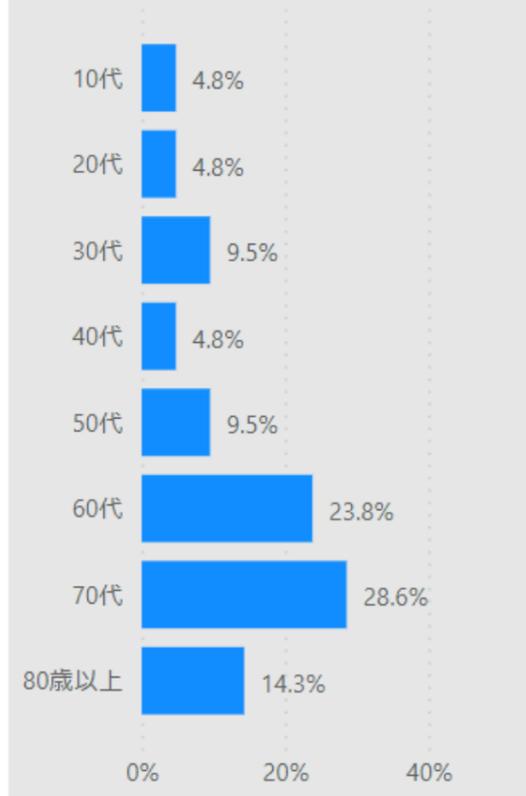
乗降調査路線 ● 寺町



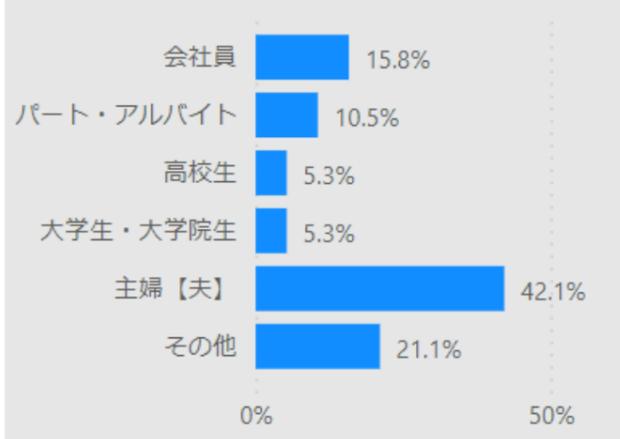
性別



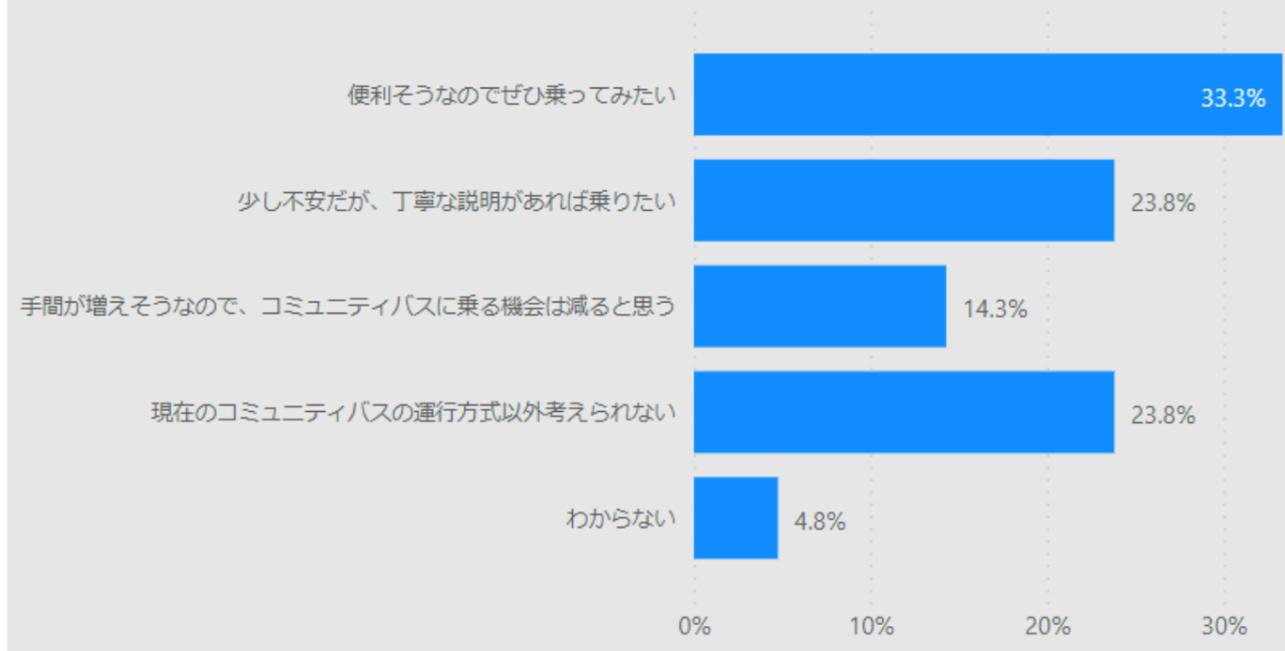
年齢



職業



オンデマンド方式の運行



【現況】

- ・1便あたりの利用者数は平成29年度（2017年度）には6.1人/便だったものが、令和3年度（2021年度）には3.7人/便まで落ち込んでいる。
- ・市民交流プラザ・エール前の利用が多い。
- ・70歳代・80歳代以上の利用が71.5%と、利用者層は高齢の方が多くなっている。
- ・買物目的が42.9%と最も多い。
- ・オンデマンド方式の意向については、「乗ってみたい」が28.6%とやや高いが、半数が「わからない」としている。

【課題】

→利用者が減少しかつ高齢化しており、全ルート中1便あたりの平均利用者数は最も少ない。循環路線であることから定時定路線での運行を効率的に行えていない面もあるため、運行方式の再編も含めた需要回復策の検討が必要。

路線

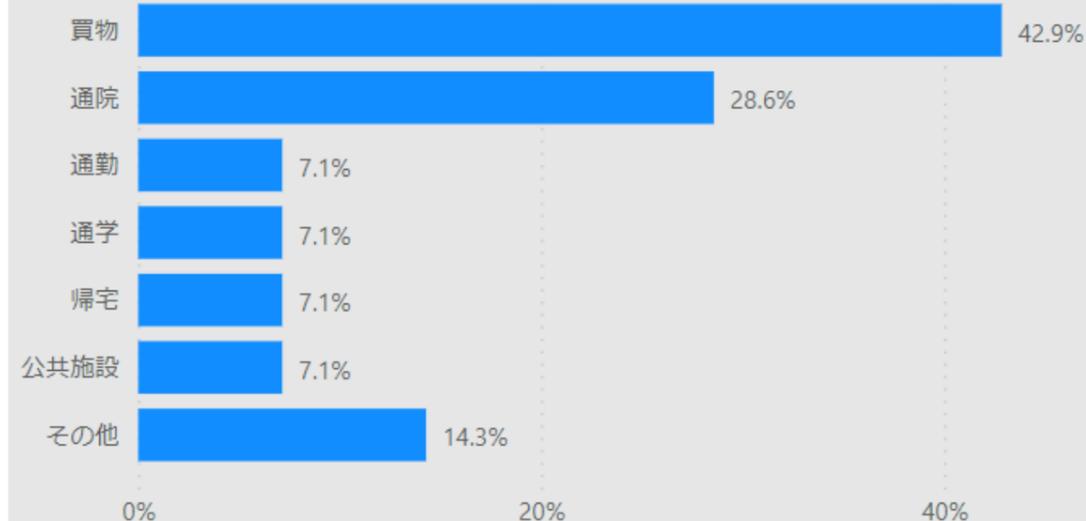
北部循環

停留所名

乗車（日平均）

市民交流プラザ・エール前	7.58
あいのかぜ	1.61
滑川駅前	1.47
荒俣公民館前	0.84
笠木	0.66
藤栄公民館口	0.56
大島公民館前	0.55
追分会館前	0.54
合計	18.09

移動の目的

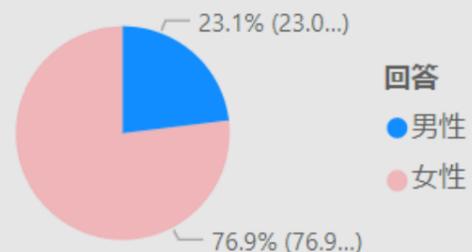


便平均利用者数推移

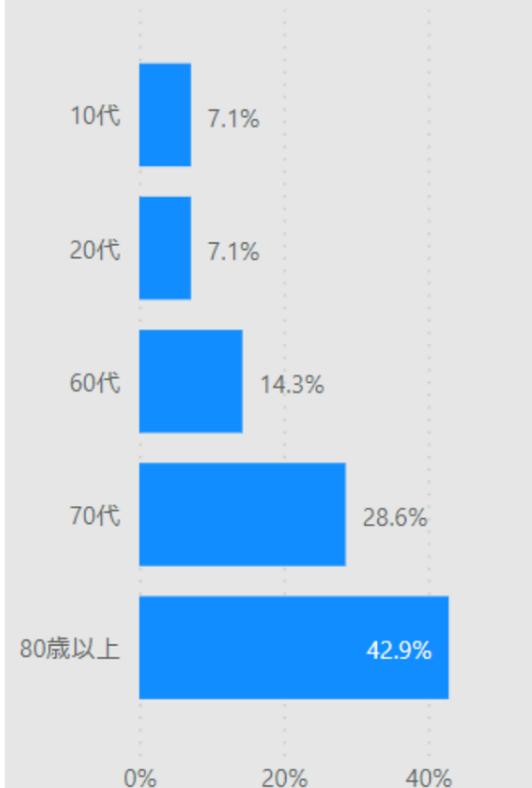
乗降調査路線 ● 北部循環



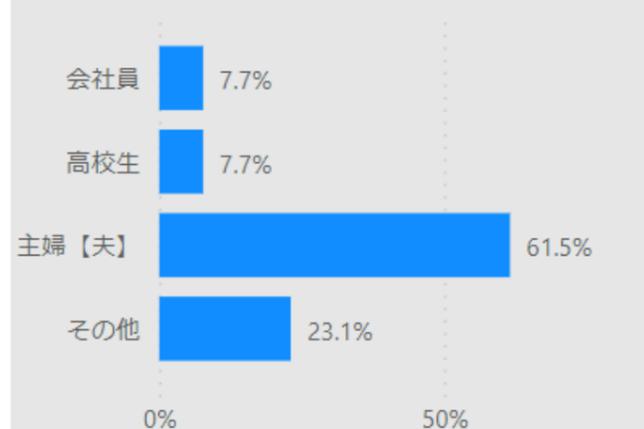
性別



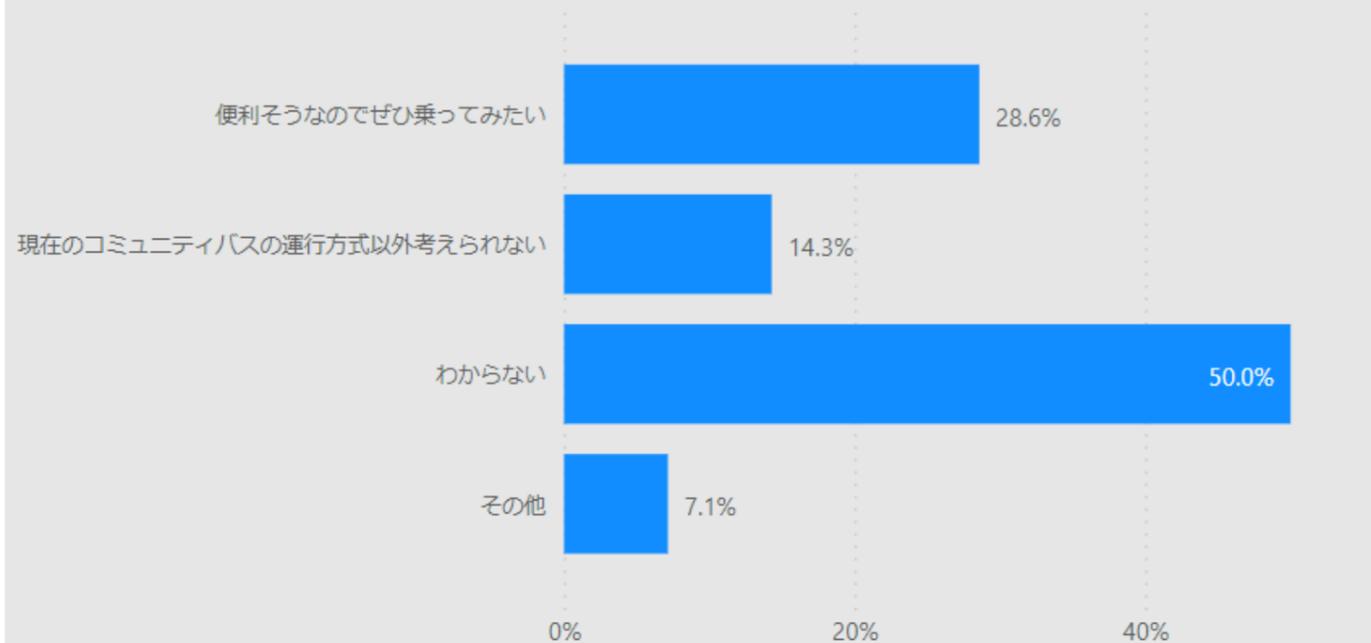
年齢



職業



オンデマンド方式の運行



○令和4年度滑川市地域公共交通会議について

1) 委員名簿

選出区分	団体・役職名	氏名	その他
学識経験者	富山国際大学名誉教授	長尾 治明	座長
住民又は利用者の代表	滑川市自治会連合会 会長	澤田 隆之	
	悠友クラブ滑川 会長	柿澤 清喜	
	滑川市小中学校PTA連合会 副会長	堀 さおり	
	滑川市民生・児童委員協議会 会長	砂子 良治	
	滑川市観光協会 会長	早川 祐一	
	滑川商工会議所 専務理事	杉田 隆之	
一般乗合旅客自動車 運送事業者の代表者	富山地方鉄道株式会社 自動車部運行管理課 課長代理	大野木 貴吉	
一般貸切(乗用)旅客 自動車運送事業者の代表者	株式会社佐々井タクシー 代表取締役	高川 妙子	
一般旅客自動車運送事業者 の事業用自動車の運転者 が組織する団体の代表者	富山県交通運輸産業労働組合協議会 議長	石橋 剛	
鉄道事業者の代表者	あいの風とやま鉄道株式会社 総務企画部企画課 課長	田中 博	
	富山地方鉄道株式会社 鉄軌道部運転管理課 課長	伊東 信男	
国土交通省北陸信越運輸局 富山運輸支局長又はその指名する者	北陸信越運輸局富山運輸支局 首席運輸企画専門官 (輸送・監査担当)	廣井 和幸	
	北陸信越運輸局富山運輸支局 首席運輸企画専門官 (企画調整担当)	山倉 澄雄	
富山県滑川警察署の職員	滑川警察署地域交通課 課長	若林 修	
富山県の職員	富山県交通政策局 交通戦略企画課 課長	有田 翔伍	
	富山県新川土木センター 工務第一課 課長	川端 哲也	
滑川市の職員	滑川市副市長	柿沢 昌宏	会長
	滑川市産業民生部長	黒川 茂樹	

2) 滑川市地域公共交通会議事務局要領

(趣旨)

第1条 この要領は、滑川市地域公共交通会議設置要綱第9条の規定に基づき、滑川市地域公共交通会議（以下「交通会議」という。）の事務局に関し、必要な事項を定めるものとする。

(事務局)

第2条 交通会議の庶務を処理するため、滑川市産業民生部生活環境課に事務局を置く。

2 事務局に事務局長及び事務局員を置き、事務局長には滑川市産業民生部生活環境課長、事務局員には生活環境課員をもって充てる。

(所掌事務)

第3条 事務局は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 事務局の運営に関すること
- (2) 物品の購入その他交通会議運営に必要な契約の締結に関すること
- (3) 現金等の出納に関すること
- (4) 前各号に掲げるもののほか、軽微な事項に関すること

(公印の取扱い)

第4条 交通会議の公印の種類は会議印として、公印の名称、形状、書体、寸法、用途、個数及び管理者は別表のとおりとする。

(その他)

第5条 この要領に定めるもののほか必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規定は、令和4年8月31日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

別表（第4条関係）

名称	形状	書体	寸法 (ミリメートル)	用途	個数	管理者
滑川市 地域公 共交通 会議印		明朝	24×24	会長名をも って発する 文書	1	事務局長

3) 滑川市地域公共交通会議財務事務取扱要領

(趣旨)

第1条 この要領は、滑川市地域公共交通会議設置要綱(以下「要綱」という。)第8条の規定に基づき、滑川市地域公共交通会議(以下「交通会議」という。)の収入支出に関する事項に関し、必要な事項を定めるものとする。

(予算)

第2条 交通会議の予算は、滑川市及び他の団体等からの負担金、国・県からの補助金、繰越金及びその他の収入をもって収入とする。また、交通会議の運営及び事業に係る経費をもって支出とする。

2 交通会議の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終了する。

3 交通会議の会長(以下「会長」という。)は、毎会計年度の予算を調整し、交通会議の承認を受けなければならない。

4 会長は、会計年度の途中において既定の予算に補正をする必要が生じたときは、前項と同様に予算を調整し、交通会議の承認を受けなければならない。

(予算区分)

第3条 収入支出予算の区分は、別表のとおりとする。

2 会計年度の途中において特別な理由があるときは、別表に定める以外の区分を定めることができる。

(予算の流用等)

第4条 会長は、支出予算の流用又は予備費を充用したときは、直近の交通会議に報告しなければならない。

(出納及び現金等の保管)

第5条 交通会議の出納は、会長が行う。

2 交通会議に属する現金等は、銀行その他の金融機関に預け入れなければならない。

(交通会議出納員)

第6条 会長は、事務局長に出納員を命じ、会計事務を委任することができる。

2 会計事務に携わる事務局長は、現金の出納、保管その他の必要な事務の手続き等について適正に処理しなければならない。

(予算の執行)

第7条 交通会議の予算に係る収入及び支出の手続きは、出納員が行う。

2 出納員は、次に定める簿冊を備え、出納の管理を行うものとする。

(1) 予算整理簿

(2) 前号に掲げるもののほか、必要な簿冊

(決算等)

第8条 会長は、毎会計年度終了後、速やかに交通会議の決算を調整し、交通会議の承認を得なければならない。

2 会長は、前項の承認を得るにあたり、要綱第5条の規定により指名した監事の監査を受け、その結果を添えなければならない。

(その他)

第9条 この要領に定めるもののほか、交通会議の財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規定は、令和4年8月31日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

別表（第3条関係）

（1）収入予算の区分

科目	内訳
負担金	市負担金
補助金	国補助金
	県補助金
繰越金	繰越金
諸収入	雑入

（2）支出予算の区分

科目	内訳
地域公共交通会議開催費	報償費
	消耗品費
	郵便料
地域公共交通計画作成費	消耗品費
	印刷製本費
	郵便料
	委託料